

意思伝達装置

伝^{でん}の心^{しん}

取扱説明書

—簡易版—

株式会社 日立ケーイーシステムズ

はじめに

このたびは、意思伝達装置「伝の心」をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。「伝の心」はシステム装置、プリンターなどの周辺機器からなる製品の商品名です。システム装置には、意思伝達装置ソフトウェアや周辺機器を使えるようにするためのソフトウェアが入っています。

本取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。「安全にお使いいただくために」を守っていただくとともに、各機器に添付されている取扱説明書もご参照ください。

重要なお知らせ

■ 保証について

無償保証期間は、本システム装置に同梱されている保証書に記載されている期間とします。

故障が発生した場合は、販売会社へご連絡ください。

なお、つぎに該当する場合は、保証の範囲から除外させていただきます。

- お客様の不適切な取扱い、使用による場合。
- 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- 納入者以外の改造または修理による場合。
- その他、天災、災害など納入者の責にあらざる場合。

ここで言う保証は納入品単体を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。また、保証は日本国内においてのみ有効です。(Effective only Japan)

■ お断り

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用する事を禁止します。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は日本国内のみに使用してください。(For Japanese Domestic Use Only)

■ 商標と技術について

- 「伝の心」は株式会社 日立製作所の登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。
- LINE、コミュニケーションアプリ「LINE (ライン)」は、LINE 株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- 音声合成機能は、株式会社 日立製作所の音声合成技術を使用しています。
- 電子メール機能には、下記技術を使用しています。

ComponentOne Studio Copyright (C) 2004 GrapeCity inc.

Secure Mail for .NET Copyright (C) 2003-2013 Dart Communications

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくため下記の内容をよく読み、十分理解してください。この項目は、いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。



警告

これを無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

これを無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

本製品は日常生活のコミュニケーションを支援するものです。ナースコールなど生命維持に関わる用途や医療補助具等としての用途に使用しないでください。万一事故などが発生した場合には、当社は一切の責任を負いかねます。



本製品を他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼす場合があります。ご使用前に隣接する機器に影響がないことをご確認ください。

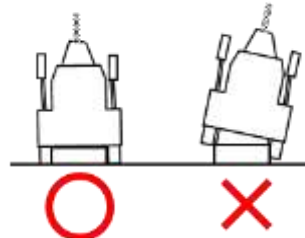


お納めしたシステム品以外は使用しないでください。お納めしたシステム品以外を使用しますと、火災・感電・故障等の原因となります。

各機器に表示された電源条件以外では使用しないでください。火災・感電・故障等の原因となります。

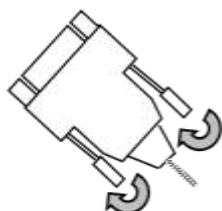
各機器を接続または取り外す場合は、各機器の電源スイッチを切ってから行ってください。感電・故障等の原因となります。

各コネクタは挿入方向を確認して正しく挿入してください。挿入を誤ると発熱・破損等の原因となります。



各コネクタの挿入後はネジをしっかりと締めてください。挿入が緩いと発熱・故障等の原因となります。

各機器に水、コーヒー等の液体をこぼさないでください。火災・感電・故障等の原因となります。



また、USBコネクタにはロックする機構が無いので、しっかりと差し込んでください。



警告

万一、各機器から異常な発熱・煙・異臭などの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切ってください。異常な状態で使用を続けると、火災・感電等の原因となります。



各機器を過度の熱を発生するものに近づけないでください。



注意

「伝の心」を終了させる場合、「伝の心」トップ画面のメインメニューの「終了」操作で終了させてください。直接システム装置の電源ボタンを押して終了させると、ファイルまたはハードウェアが破壊される場合があります。ただし、ホームページの閲覧または電子メールで回線が接続中に万が一回復不能なエラーが発生した場合、回線が切断されず接続中の場合もありますのでその時は、直接システム装置の電源ボタンを押して一度終了させてください。

各機器を床等に落下しないよう安定した状態でご使用ください。



コネクタを着脱する場合は、コネクタを持って、挿入位置を確認して正しく行ってください



落としたり、ぶつけたり強い衝撃を与えないでください。



1時間以上の連続使用は疲労を強めます。休憩を入れてください。長くお使い頂くために、一日の使用時間は8時間を目安にしてください。



各機器に付属している取扱説明書をよく読み理解してご使用ください。



参照

補足説明・詳細説明等の参照項目、参照頁について示しています。



制限

使用上の制限事項について示しています。



補足

補足事項について示しています。

USB メモリについて

警告

小さなお子様の手が届かないところで保管・使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。	濡れた手で本製品に触れないでください。感電・故障の原因となります。
本製品は、「伝の心」ユーザーデータのバックアップ用としてご用意させて頂いております。その故障や誤作動が直接人命を脅かしたり人体に危害を及ぼす恐れのある機器には、絶対に使用しないでください。万一事故などが発生した場合には、当社は一切の責任を負いかねます。	次の場所で使用・保管をしないでください。感電、火災の原因となったり、USB メモリや伝の心に悪影響を及ぼすことがあります。 ・ 静電気が発生するところ。 ・ 電氣的ノイズが発生するところ。 ・ 温度・湿度が各機器のマニュアルが定めた使用環境を超えるところ。 ・ 結露するところ。 ・ 腐食性があるところ。
本製品を水に濡らしたら、すぐに水をふき取り、十分に乾燥させてからご使用ください。水がついたまま使用された場合、感電・故障の原因となります。	

注意

フラッシュメモリ内のデータは、次のような場合に、データが消失・破損する恐れがあります。 ・ 誤った使い方をしたとき。 ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき。 ・ 故障したとき。 ・ 本 USB メモリへのアクセス中に本 USB メモリを取り出したり、機器の電源を OFF にした場合。 ・ 天災による被害を受けたとき。 上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。	本 USB メモリは「伝の心」に常時挿したままで、ご使用ください。修理等で取り外した場合は、下記の事項に注意して取り付けてください。 ・ 本 USB メモリにホコリ・ゴミが付着している状態で、取り付けないでください。 ・ 本 USB メモリを正しい向きに、奥までしっかりと差し込んでください。誤った向きに差し込んだり、差し込みが不十分な場合、正常に動作しません。
本 USB メモリは精密機器です。折り曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。	静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
本 USB メモリには、防水性能はありません。水にぬらしたり、湿気の多い場所で使用したりしないでください。	ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、故障する可能性があります。

購入品の確認

ご使用になる前に、次の点をご確認ください。もし、不具合がありましたら、お買い求め先にご連絡ください。

- 形式が注文したものであるか？
- 輸送中に破損したところはないか？
- 不足品はないか？（梱包箱を開け、同梱チェックリストにより確認）

マニュアルの構成

マニュアルには、紙のマニュアル（冊子）と電子マニュアルがあります。

紙マニュアル

3冊のマニュアルが入っています。



【伝の心取扱説明書-簡易版-】

本書です。伝の心の設置・配線について説明しています。また、メニューの簡単な説明も記載しています。はじめに読みましょう。



【リモコン登録スタートガイド】

リモコンの登録・追加・削除について説明しています。リモコン操作を初めてご使用になる場合は、必ず読みましょう。

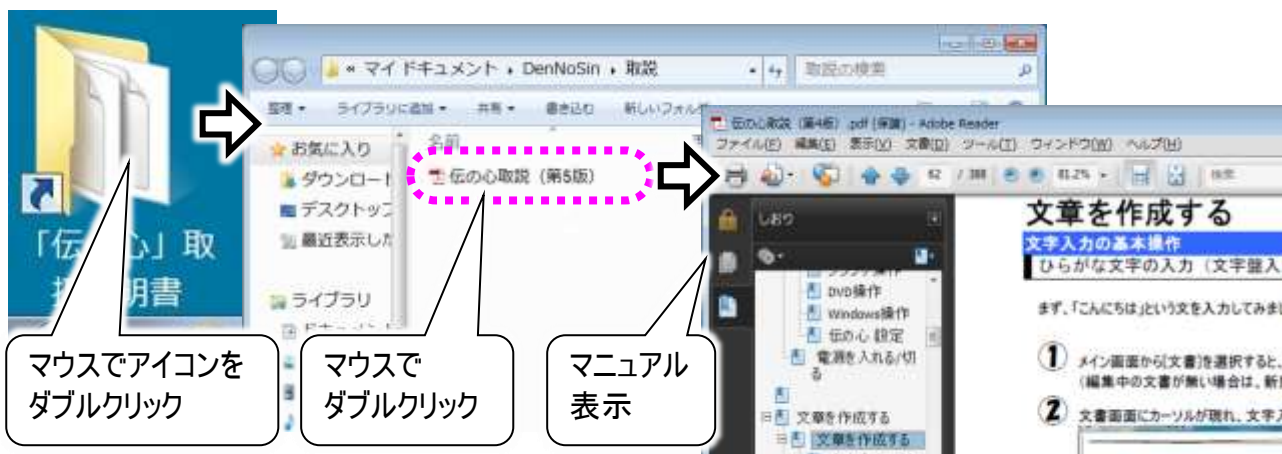


【メール・インターネット設定ガイド】

伝の心のメール設定について説明しています。メールやインターネットをご使用になる場合は、必ず読みましょう。

電子マニュアル

デスクトップのショートカットアイコン「伝の心」取扱説明書を開くと、マニュアルが入っているフォルダが開きます。紙マニュアルには記載されていない詳しい説明が参照できます。



目次

はじめに.....	2
安全にお使いいただくために.....	3
購入品の確認.....	6
マニュアルの構成.....	6
紙マニュアル.....	6
電子マニュアル.....	6
目次.....	7
伝の心を準備する—電源を入れるまで—	9
作業の流れ.....	10
各部の名称と働き.....	11
外観図.....	11
名称説明.....	11
接続する.....	12
バッテリーの接続.....	12
マウス／キーボードの接続.....	12
ディスプレイの接続.....	12
リモコンの接続.....	12
スイッチの接続.....	13
プリンターの接続（プリンター有の機種のみ）.....	13
電源コードの接続.....	14
伝の心を知ろう—はじめて使うときはここから—	15
伝の心で出来る事.....	16
基本的な操作方法.....	18
操作用語の説明.....	18
マウスの操作.....	21
メニュー／パネル選択の基本操作.....	23
1点スイッチ入力（自動スキャン入力）.....	23
2点スイッチ入力（手動スキャン入力）.....	27
メニュー一覧.....	31
日常使用文.....	32
会話.....	35
文書.....	37
リモコン.....	50
メール.....	52
ブラウザ操作.....	63
Windows 操作.....	67
伝の心 設定.....	70
文字盤一覧.....	82
電源を入れる/切る.....	90
困ったときには	93
故障かなと思ったときには.....	94
スイッチで操作ができない.....	94
リモコンで機器の操作ができない.....	95
ホームページの閲覧ができない.....	95
メールが送信／受信できない.....	95
メールの移動・削除・閲覧ができない.....	98

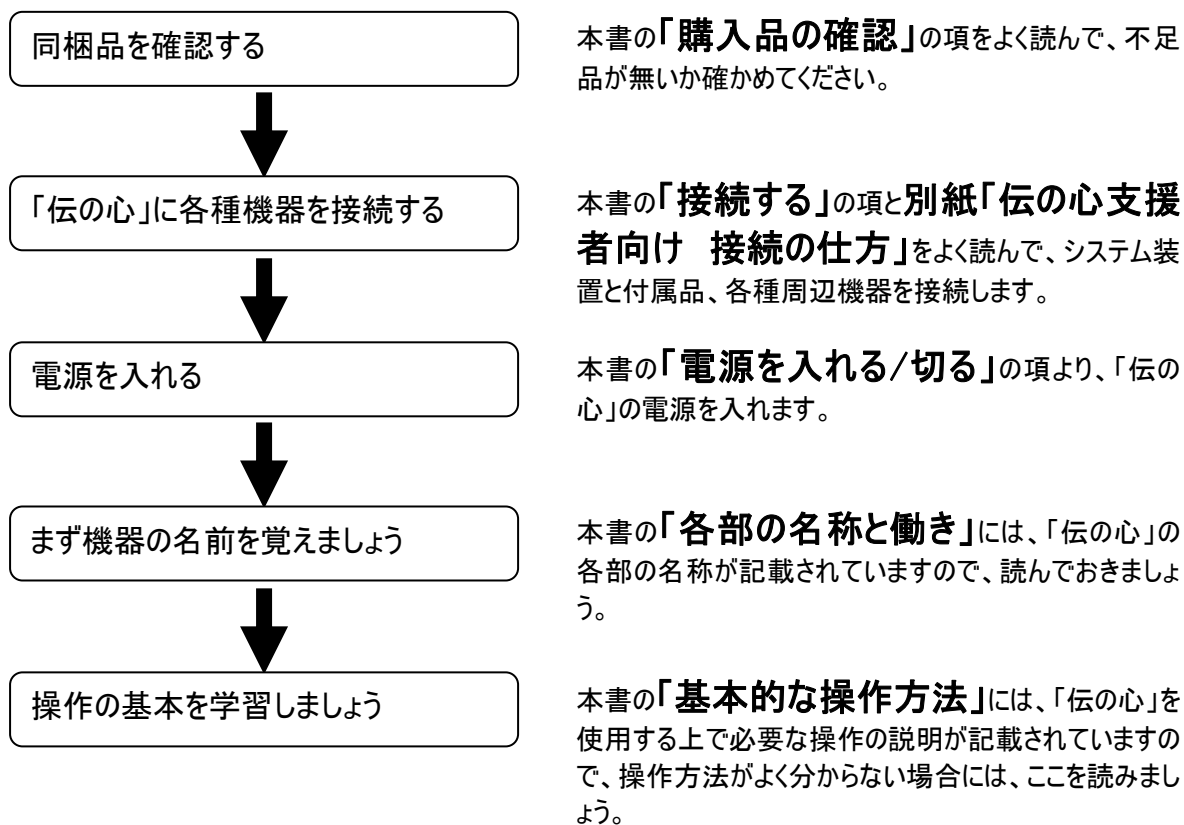
ネットワークに接続できない	98
LINE が起動しない	99
音声がない／音量が大きい、または小さい	100
印刷ができない	100
印刷がかすれる／違う色になる／インクが出ない	102
文字盤で選択した文字が編集域に入力されない	103
予測入力ができない／予測候補が表示されない	104
システム装置の電源が入らない	105
「伝の心」が起動しない	105
「伝の心」の操作ができなくなった	108
「伝の心」を終了できない	110
「伝の心」の終了時にメッセージがでる	110
操作をまちがえてしまった時には.....	111
パネル／メニューの選択操作で、選択をまちがえてしまった	111
パネル／メニューの選択操作（スイッチ入力）で、マウス操作してしまった	111
文書作成（編集パネル）で、間違えて文字列を切り取ってしまった	111
定型句／漢字入力等の候補選択でまちがえた候補を選択してしまった	111
間違えて文書／メールを削除してしまった	111
間違えてフォルダを開けてしまった	112
「支援者用設定」で間違えて「伝の心を非表示にする」設定をしてしまった	112
保守ツールで間違えて伝の心を出荷時の状態に戻してしまった	112
メッセージ画面が操作できない	113
「伝の心」を再起動するには.....	114
その他	115
日常のお手入れ	116
リモコンについて	116
読み上げについて	116
USBメモリについて	117
その他	118
「伝の心」をご購入時の状態に戻す	118
保守について	118
有償部品について	118

伝の心を準備する—電源を入れるまで—

ここでは、開梱してから「伝の心」の電源を入れるまでに行う、「伝の心」の接続方法について説明します。

作業の流れ

購入後、開梱してから「伝の心」の電源を入れるまでには、いくつかのステップがあります。



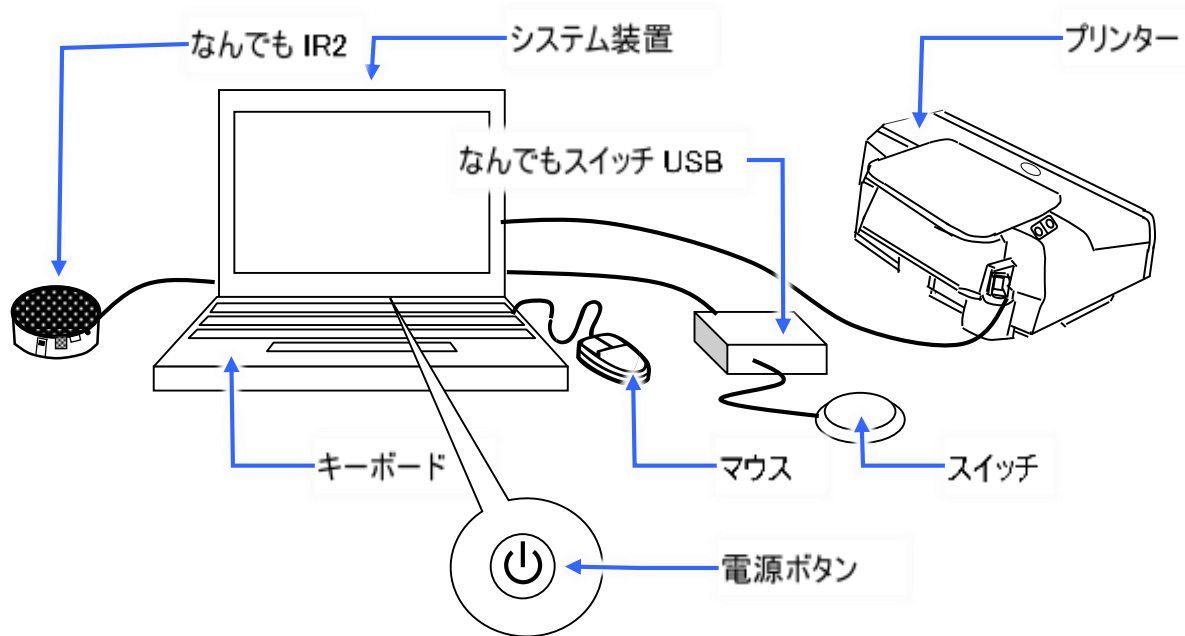
■ 困ったときには

本書の「困ったときには」の章をお読みください。
また各種機器の取扱説明書も併せてお読みください。

各部の名称と働き

外観図

■ ノート型



名称説明

■ システム装置

マウスやキーボードによって行われた操作を処理するところで、データを記憶するところです。

■ 電源ボタン

システム装置に電源を入れて、「伝の心」を使用できるようにします。

電源ボタンの位置はシステム装置によって異なりますので、別紙「支援者向け接続の仕方」を参照ください。

■ スイッチ

「伝の心」のメニューやパネルの選択はこのスイッチの入力によって行われます。

スイッチはご利用者の身体状況に応じて各種あります。

■ なんでもスイッチ USB

システム装置とスイッチを中継する装置です。

■ なんでも IR2

「伝の心」のリモコン操作の機能を実現します。

リモコンで操作する機器の赤外線受光部とこのなんでも IR2 の赤外線送信部の間に障害物が無いように設置してください。

■ マウス

ディスプレイのマウスカーソルを動かしWindowsなどの各種操作を行う装置です。

■ キーボード

文字や数字などのデータをシステム装置に入力するための装置です。

■ プリンター

「伝の心」で作成した文書などを印刷するための装置です。

接続する

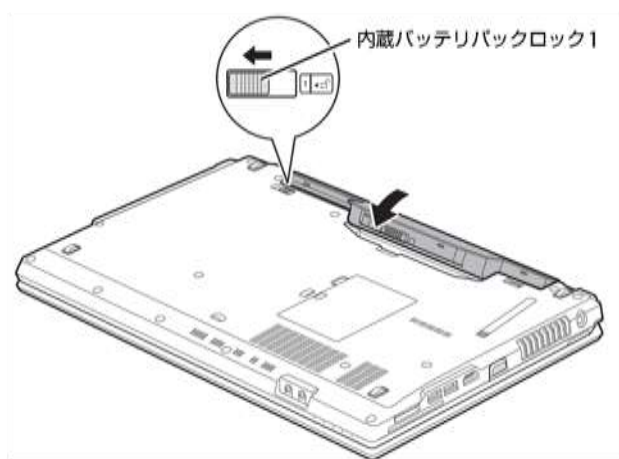
接続の方法は、システム装置によって異なりますので、別紙「支援者向け接続の仕方」を参照しながら、本項目をご覧ください。

本項での説明図も、実際のものとは異なる場合がありますので、ご了承下さい。

バッテリーの接続

■ ノート型

システム装置本体背面に、バッテリーを接続します。



マウス／キーボードの接続

■ ノート型

ノート型は、キーボードの接続の必要はありません。また、マウスの接続も特に必要はありません。

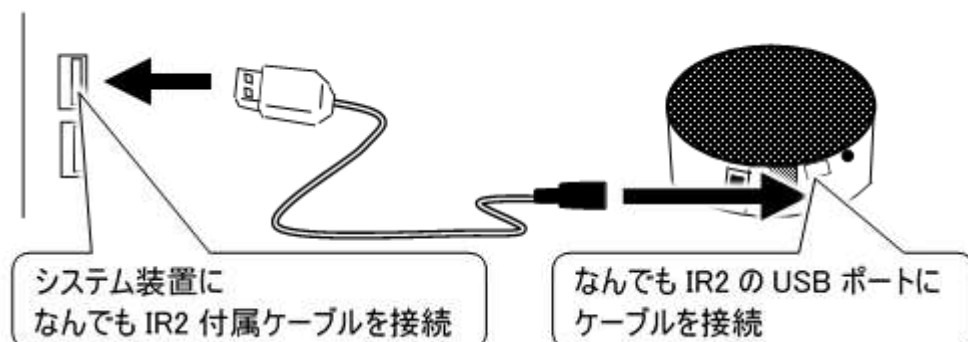
ディスプレイの接続

■ ノート型

ノート型は、ディスプレイの接続の必要はありません。

リモコンの接続

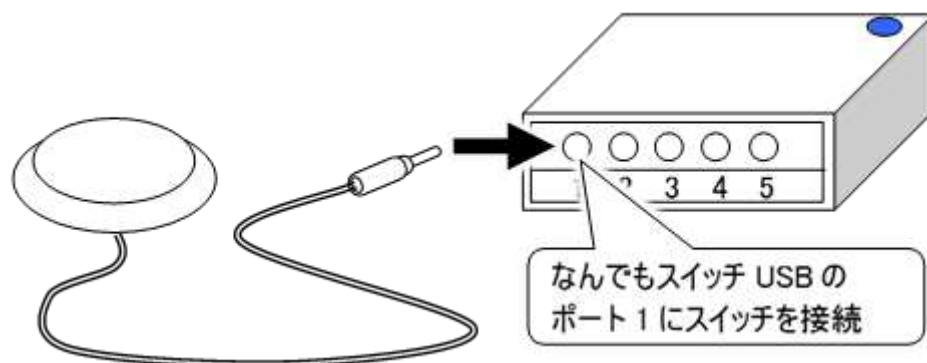
なんでも IR2 とシステム装置を接続します。



スイッチの接続

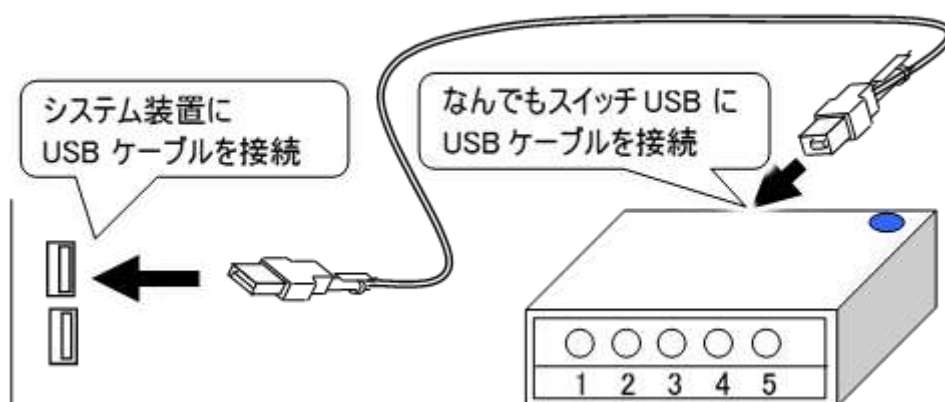
1

スイッチをなんでもスイッチ USB のポート 1 に接続します。



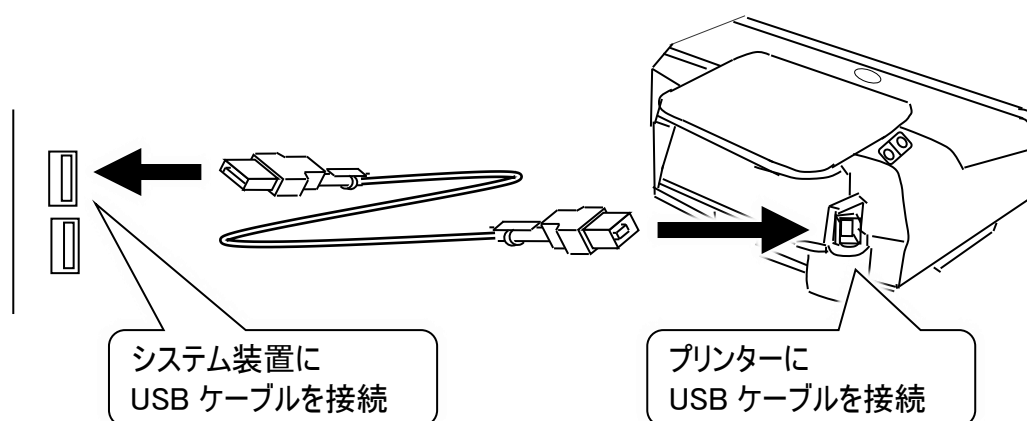
2

システム装置に、なんでもスイッチ USB を接続します。



プリンターの接続（プリンター有の機種のみ）

システム装置に、プリンターを接続します。



電源コードの接続

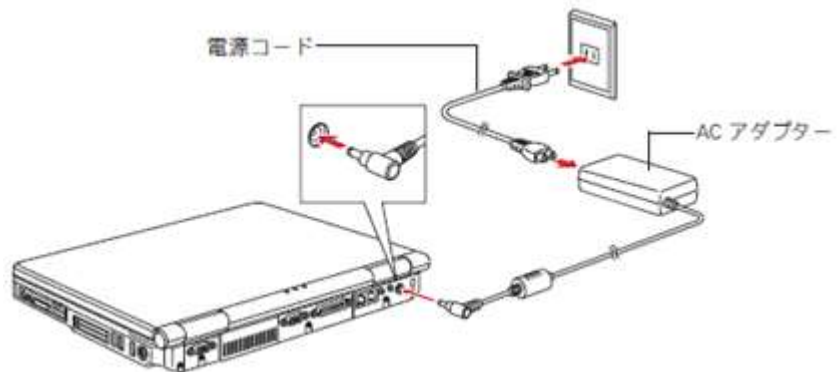
■ ノート型

1

システム装置に AC アダプターを接続し、電源コンセントに差し込みます。

2

プリンターにプリンターの電源コードを接続し、電源コンセントに差し込みます。



伝の心を知ろう—はじめて使うときはここから—

ここでは、「伝の心」の基本的な操作の方法について説明します。
電源の入/切もここで説明します。
初めてご使用になる場合は、必ずお読みください。

伝の心で出来る事

「伝の心」はシステム装置と周辺機器を用いてコミュニケーションを支援するシステムです。各種スイッチ、センサなどを操作し、次の機能を実現します。

① 日常使用文の読み上げ

日常よく使用する文(言葉)を一覧から選択すると、読み上げを行ないます。



② 会話

会話のための文字盤で、入力した文字を読み上げることができます。



③ 文書

画面上の文字盤より文字を選択入力し、文書作成を行います。

作成した文書をハードディスク(システム装置の中にある記憶装置)や USB メモリなどの外部記憶媒体に保存をしたり、読み出しを行ったりします。
また、文書をプリンターで印刷することも可能です。



④ 電子メール

メール(文章)を書いて送信したり、受信したメールを読んだりすることができます。



⑤ ホームページ閲覧

マウスやキーボードの操作なしでホームページの閲覧ができます。



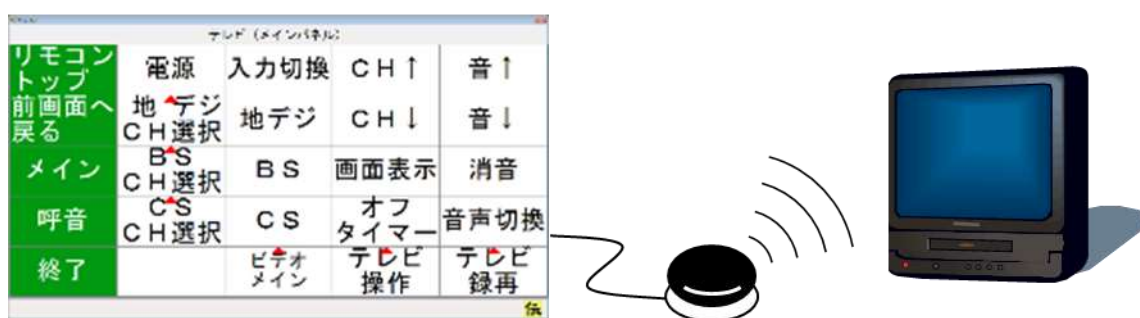
⑥ 呼出

「伝の心」のほとんどの画面から、呼び出し音(ブザー)を鳴らすことができます。少し離れたところにいる相手に注意を促したり、呼び出したりするために用います。



⑦ リモコン操作

専用メニューよりなんでもIR2 を経由し、TV/VTR の電源 ON/OFF、チャンネル切換、音量設定、再生、録画などが行え、生活範囲が広がります。



⑧ デスクトップ画面の操作

「伝の心」以外の市販のソフトウェアの操作を、専用メニューの選択のみで行えます。



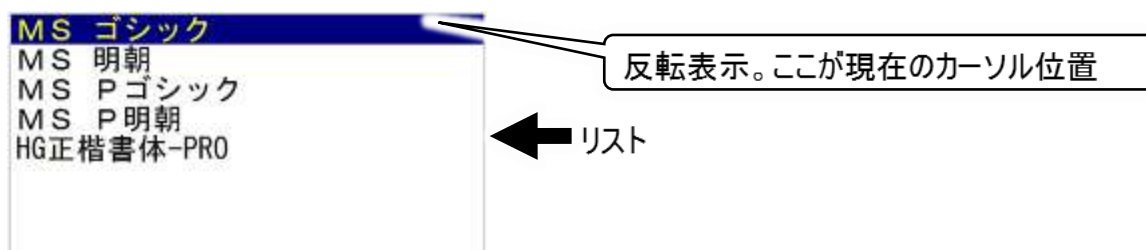
基本的な操作方法

操作用語の説明

ここでは、本取扱説明書で用いられている、「伝の心」の操作用語について説明します。

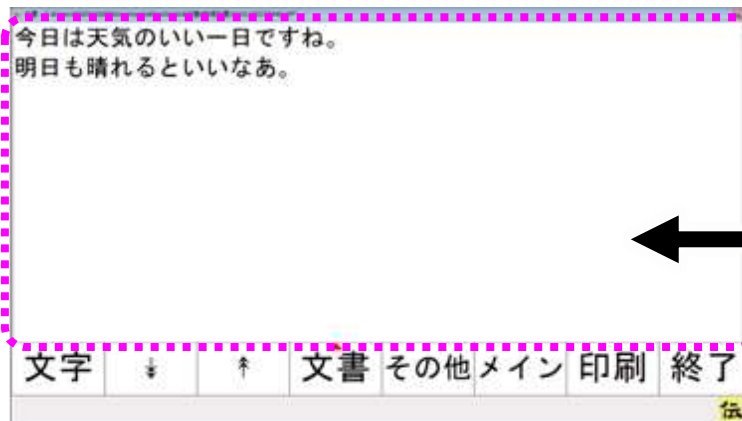


- **画面名称**
「伝の心」の操作や設定を行う画面の名前。
- **ガイダンス行**
現在選択されているメニュー項目の説明等を表示します。
- **メニュー**
「伝の心」の操作や設定を行う画面項目のこと。
- **サブメニュー**
メニュー画面から呼び出されるより詳細な操作や設定を行う画面項目のこと。
この「サブメニュー」からさらに「サブメニュー」が表示されることもあります。
- **パネル**
「メニュー」と同じ機能。
- **サブパネル**
「サブメニュー」と同じ機能。
- **リスト**
「メニュー」や「パネル」等で選択可能な全項目
- **カーソル位置**
テキストを入力した場合は、そのテキストが入力される位置。
リスト選択の場合は、選択可能な項目（項目は反転表示）



- **反転表示**
テキストやリストが選択されているときの表示。
ご購入時の設定では、背景色が青色になり、文字色が黄色になっている状態。

編集域



スキャン／列スキャン

「伝の心」では、メニュー、パネル、リスト等の選択項目は特に断りの無い限り、自動的にカーソル位置が移動していきます。これをスキャンといいます。

選択

スイッチ入力によって、カーソル位置の項目を選択することをいいます。

スキャン周回数

スキャンは左端より始まり、右端に到着すると左端に戻ります。この動作 1 回をスキャン周回数 1 回と数え、スキャンの長さをスキャン周回数で表します。

文字盤

「伝の心」での文字入力は全てこの文字盤で行います。文字入力が必要な場合は画面下に表示されます。

句	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
漢	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を
削	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん
改	え	け	せ	て	ね	へ	め	、	れ	一
川	お	こ	そ	と	の	ほ	も	。	ろ	記
戻	盤	移	編	予	時	頁	削	空	送	顔
⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄

スクロール

「伝の心」の操作画面で、画面内に表示しきれない部分を表示するために、表示内容を上下左右に移動させること。

未確定文字列

文書画面で、文字入力すると、文字の下に破線が表示されます。

文字の下に破線が表示されている状態の文字列を、「未確定文字列」といいます。

こんにちは

文字の下の破線

文字列を漢字やカタカナ等に変換する場合にはこの状態で行います。

変換しない場合は、[改行]の選択で文字入力が確定します。

ファイル

ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROM などの記憶装置で、一連のデータをひと括りにする、データの単位。

■ 保存／上書き保存／名前をつけて保存

「伝の心」で作成した文書やメールで受信した添付ファイルなどのデータは、システム装置の内部に保存することが可能です。

これを「保存」といいます。

また、保存するときは名前をつけて他のデータと区別がつくようにします。これが、「名前をつけて保存」です。

データは名前で管理するので、同じ名前で保存すると、変更前のデータは消滅して新しいデータがその名前で保存されます。これが「上書き保存」です。変更前のデータをとっておきたい場合は、「名前をつけて保存」で保存します。

■ フォルダ

ハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROM などの記憶装置で、ファイルを分類・整理するための保管場所（入れ物）。

■ 拡張子

ファイルの名前（ファイル名）の末尾につけられたファイルの種類を識別するための文字列。

<例>

サンプル.rtf

rtf: 文書ファイル

サンプル.jpg

jpg: 画像ファイル

■ アカウント

使用权のこと。特にメールアカウントとは、メールアドレスを取得したユーザーに与えられる権限であるので、通常はメールアドレスと一対一に対応しています。詳細は、「電子メール」の項で説明しています。

■ テンプレート

ひな形のこと。背景や文字サイズ、またはフォントなどがあらかじめ設定されている文書です。

■ 日常使用文

事前に登録された日常でよく使用する文章です。「伝の心」では、最大 10,125 種類の文章を登録することが可能です。



読み上げを行うメニュー項目です。



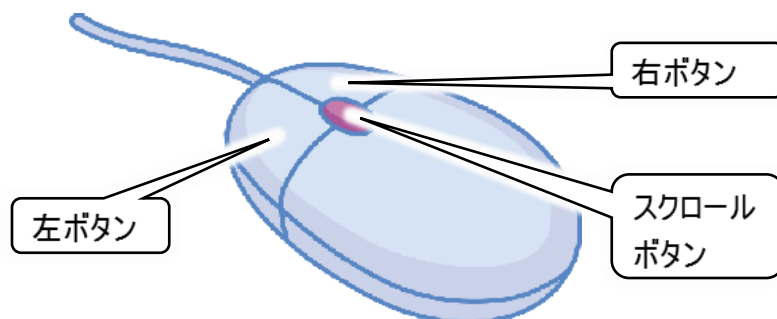
呼び出し音を鳴らすメニュー項目です。



マウスで操作するメニュー項目です。

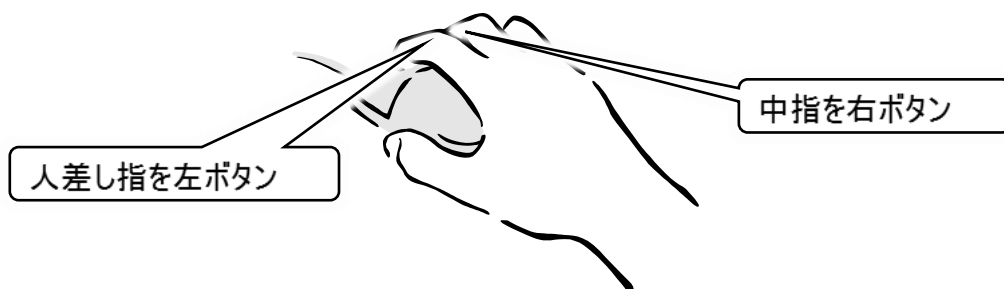
マウスの操作

「伝の心」では支援者用設定において、マウス操作を用います。
マウス操作がはじめての場合は、本項をよく読んで、マウスの使い方を覚えましょう。



■ マウスの握り方

マウスは手のひらで包み込むようにして、人差し指を左ボタン、中指を右ボタンにおいて軽く握ります。



■ マウスの動かし方

マウスを握り、動かすとシステム装置の画面の中で矢印が動きます。この矢印の先を目的の場所へ動かし、左ボタンを押すことでシステム装置操作をすることができます。

■ ボタンの押し方

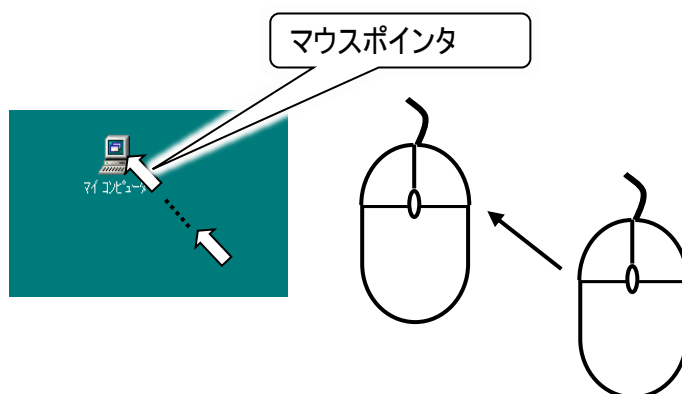
ボタンを押したり、マウスを動かしたりする動作は軽く行くとスムーズにできます。

■ マウス操作

マウス操作には次のものがあります。

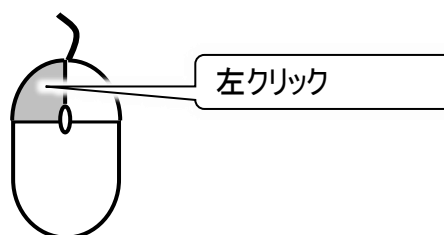
(1) ポイント

画面上のマウスポインタを動かし、目的のところまで移動させることです。マウスポインタの矢印の先端部分を目的のところにあわせるようにします。



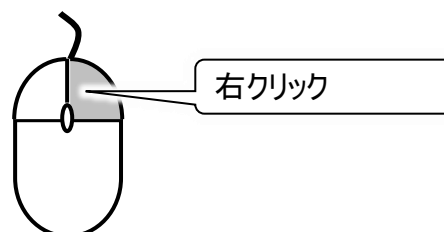
(2) 左クリック

マウスの左ボタンを1回押して離すことを左クリックといいます。



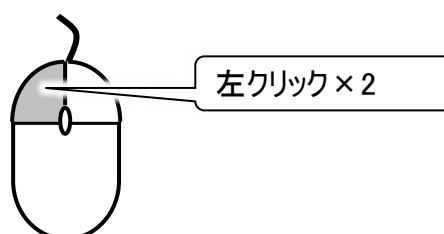
(3) 右クリック

マウスの右ボタンを1回押して離すことを右クリックといいます。



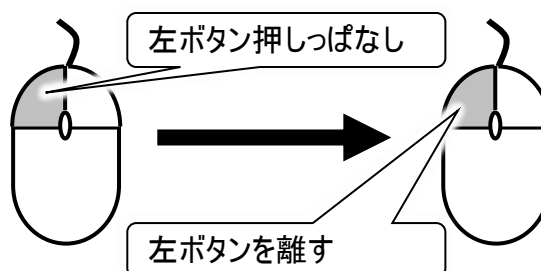
(4) ダブルクリック

マウスの左ボタンを2回続けて押して離すことをダブルクリックといいます。



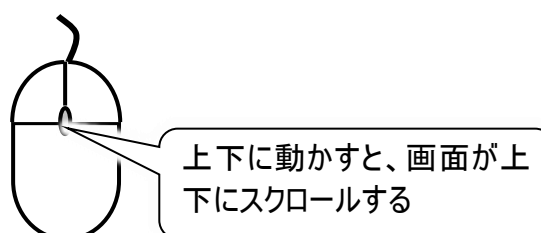
(5) ドラッグ & ドロップ

マウスの左ボタンを押しながらマウスを動かすことをドラッグといいます。
また、目的のところまでマウスを動かした後に、左ボタンを離すことをドロップといいます。



(6) スクロール

スクロールボタンを動かすことにより画面(ウィンドウ)に表示されている表示内容を動かしたりすることができます。ソフトウェアによっては対応していないものがあります。



補足

ポインティングパッドを使用したマウス操作については、ご使用のシステム装置の取扱説明書をご覧ください。

メニュー／パネル選択の基本操作

「伝の心」ではほとんどの操作が、メニューやパネルの選択によって行われます。

この基本操作は、スイッチ1つで操作する自動スキャン、スイッチ2つで操作する手動スキャンの2種類で操作することができます。（ご購入時の設定は、スイッチ1つで操作する自動スキャンとなっています。）



制限

- ・ **支援者用設定画面**を除く、すべての画面では、マウス操作（クリックやダブルクリックなど）は行なわないようにしてください。
- ・ 複数の画面が立ち上がった状態でメニューやパネル（文字盤、日常使用文、リモコンなど）をマウスクリックすると、突然スキャンカーソルが消えてしまう場合があります。これは、マウス操作により他の画面へスキャンカーソルが移動したことが原因です。このような場合は、マウス操作で「戻る」などを選択し、現在表示されている画面を一度終了させてください。



参照

自動スキャン/手動スキャンの設定について

『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「スイッチの設定を行う」に、スイッチの設定方法を記載しています。

1 点スイッチ入力（自動スキャン入力）

選択項目は自動的にスキャンされていくので、選択したい項目にカーソルがきたときに、スイッチ入力によってその項目を選択します。

■ 列スキャン時のカーソルの移動／選択

スキャン方向：右方向の場合を例にカーソル移動と選択の方法を説明します。



補足

列スキャンの周回数について

ご購入時は2回に設定されていますが、変更可能です。詳しくは『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「スキャン周回数の設定」を参照ください。

(1) メニューが1行の場合

【カーソル移動】

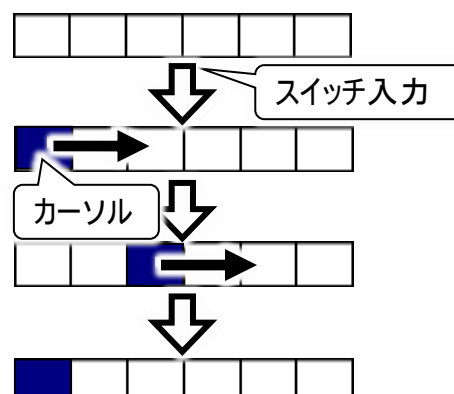
スキャン停止中の時はカーソルを表示しない

左から1列目にカーソルを表示する

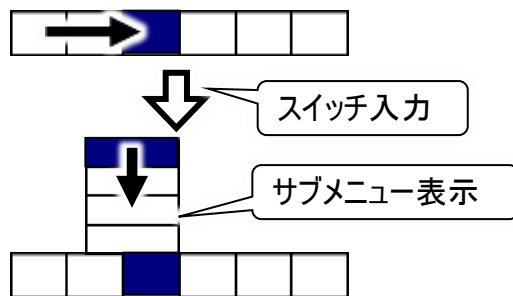
右方向にカーソルが移動を始める

設定されたスキャン周回数スキャンすると停止、
暫くするとカーソルは非表示になる

【メニューの選択】



カーソル移動中に選択したい項目でスイッチ入力する
サブメニューがなければメニューの選択はこれで完了

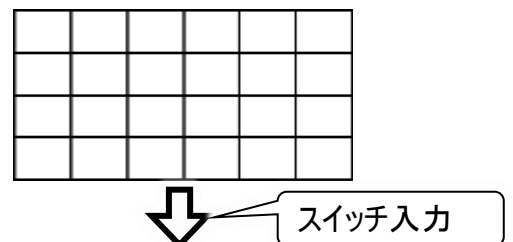


サブメニューがあれば表示され、行スキャンへ

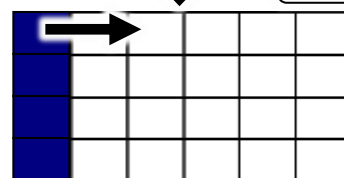
(2) メニューが複数行 (パネル) の場合

【カーソル移動】

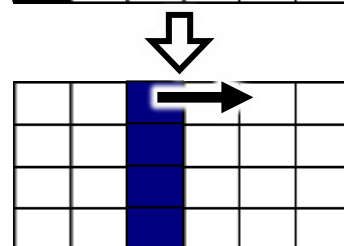
スキャン停止中の時はカーソルを表示しない



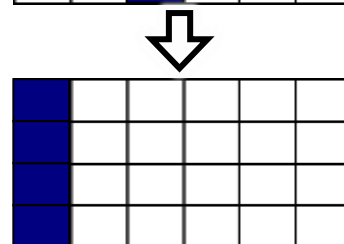
左から1列目にカーソルを表示する



右方向にカーソルが移動を始める

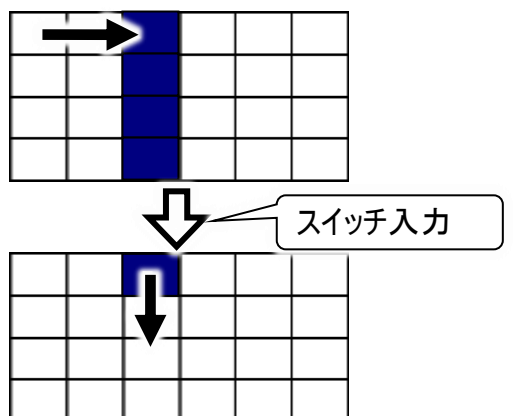


設定されたスキャン周回数スキャンすると停止、
暫くするとカーソルは非表示になる



【メニューの選択】

カーソル移動中に、選択したい項目でスイッチ入力する



選択した列の行スキャンが始まる

■ 行スキャン時のカーソルの移動／選択

スキャン方向：下方向の場合を例にカーソル移動と選択の方法を説明します。

(1) メニューが 1 列の場合

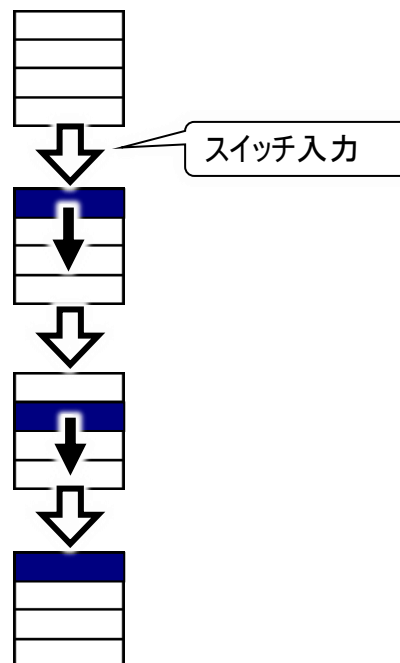
【カーソル移動】

スキャン停止中の時はカーソルを表示しない

上から 1 行目にカーソルを表示する

下方向にカーソルが移動を始める

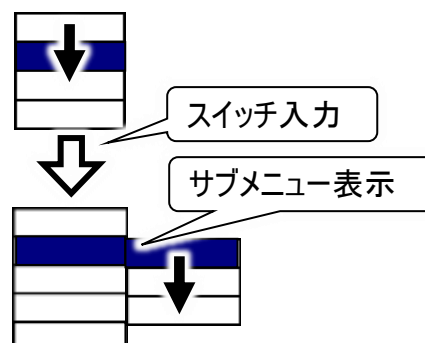
2 周スキャンすると停止、
暫くするとカーソルは非表示になる



【メニューの選択】

カーソル移動中に、選択したい項目でスイッチ入力する
サブメニューが無ければメニューの選択はこれで完了

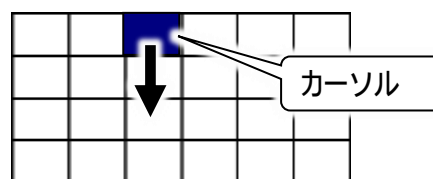
サブメニューがあれば表示され、行スキャンへ
※但し、サブメニューのスキャンは自動的に停止しません



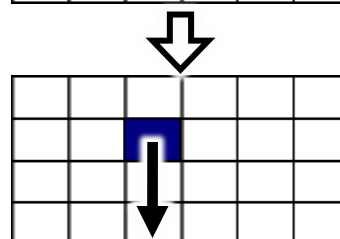
(2) メニューが複数行(パネル)の場合

【カーソル移動】

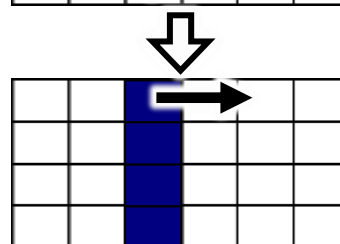
上から1行目にカーソルを表示する



下方方向にカーソルが移動を始める

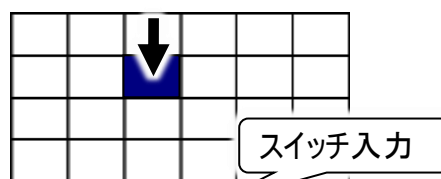


2周スキャンすると停止、
暫くすると列スキャンに戻る

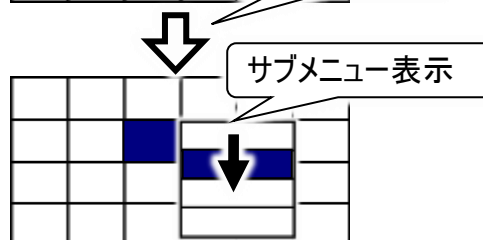


【メニューの選択】

カーソル移動中に、選択したい項目でスイッチ入力する
サブメニューが無ければメニューの選択はこれで完了



サブメニューがあれば表示され、行スキャンへ
※但し、サブメニューのスキャンは自動的に停止しません



2 点スイッチ入力（手動スキャン入力）

スキャンカーソルを送るスイッチと選択/決定を行うスイッチの 2 つを使用して操作を行います。
選択項目を送りスイッチの入力でスキャンさせていき、選択したい項目にカーソルがきたときに、決定スイッチの入力によってその項目を選択します。

■ 列スキャン時のカーソルの移動／選択

スキャン方向: 右方向の場合を例にカーソル移動と選択の方法を説明します。

(1) メニューが 1 行の場合

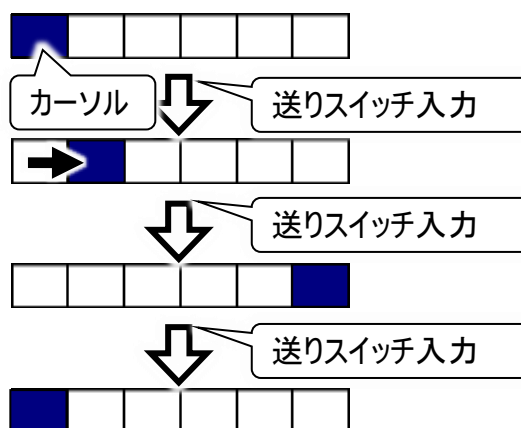
【カーソル移動】

左から1列目にカーソルを表示する

送りスイッチの入力で、右方向にカーソルが
1列移動する

カーソルを移動させたい分、送りスイッチを入力する

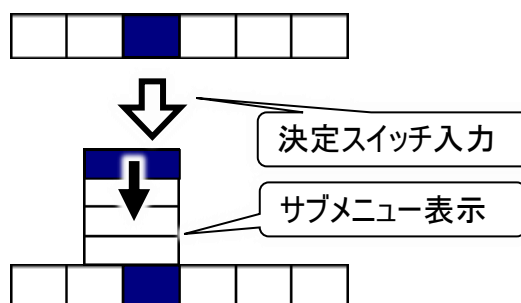
カーソルが右端に達すると、次の入力で左端に移動する



【メニューの選択】

選択したい項目で決定スイッチを入力する
サブメニューがなければメニューの選択はこれで完了

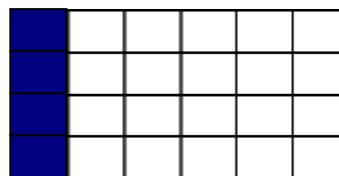
サブメニューがあれば表示され、
行スキャンを送りスイッチで開始する



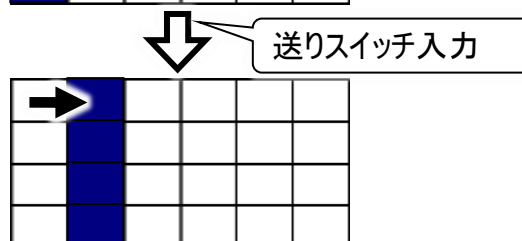
(2) メニューが複数行(パネル)の場合

【カーソル移動】

左から1列目にカーソルを表示する



送りスイッチの入力で、右方向にカーソルが1列移動する



カーソルを移動させたい分、送りスイッチを入力する

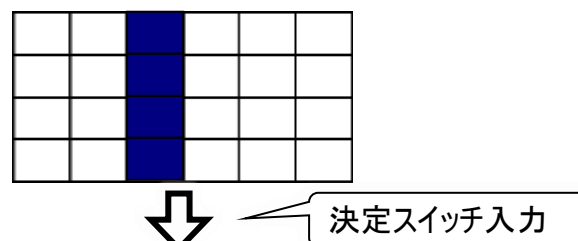


カーソルが右端に達すると、次の入力で左端に移動する

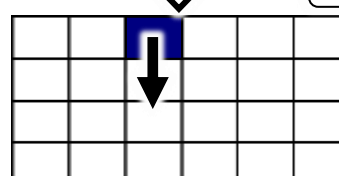


【メニューの選択】

選択したい項目で、決定スイッチを入力する



上から1行目にカーソルが移動するので、行スキャンを送りスイッチで開始する



■ 行スキャン時のカーソルの移動／選択

スキャン方向：下方向の場合を例にカーソル移動と選択の方法を説明します。

(1) メニューが 1 列の場合

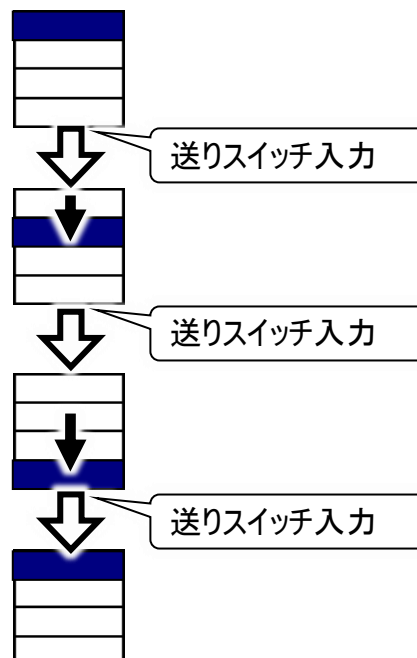
【カーソル移動】

上から 1 行目にカーソルを表示する

送りスイッチの入力で、下方向にカーソルが 1 行移動する

カーソルを移動させたい分、送りスイッチを入力する

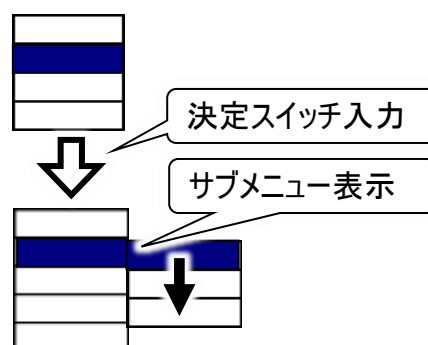
カーソルが下端に達すると、次の入力で上端に移動する



【メニューの選択】

選択したい項目で、決定スイッチを入力する
サブメニューが無ければメニューの選択はこれで完了

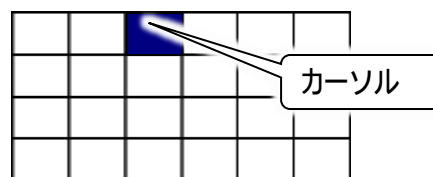
サブメニューがあれば表示され、
行スキャンを送りスイッチで開始する



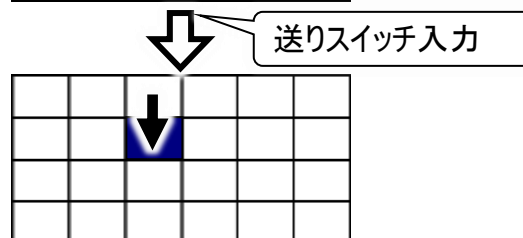
(2) メニューが複数行(パネル)の場合

【カーソル移動】

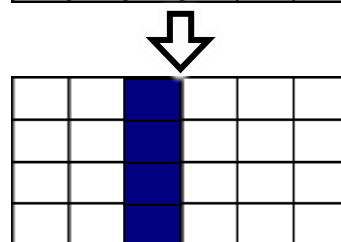
上から1行目にカーソルを表示する



送りスイッチの入力で、下方向にカーソルが1行移動する

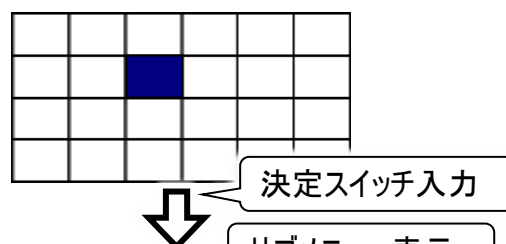


2周スキャンすると列スキャンに戻る

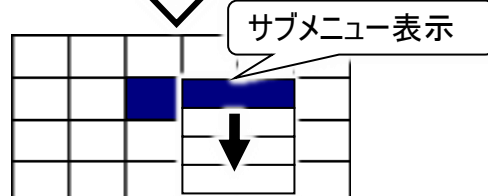


【メニューの選択】

選択したい項目で決定スイッチを入力する
サブメニューが無ければメニューの選択はこれで完了



サブメニューがあれば表示され、
行スキャンを送りスイッチで開始する



補足

列スキャンの周回数について

ご購入時は2回に設定されていますが、変更可能です。詳しくは『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「スキャン周回数の設定」を参照ください。

メニュー一覧

「伝の心」の画面毎に表示されるメニューの説明をします。

メニューの表示項目はお客様で自由に変更できる部分もあります。ここでは、ご購入時の状態での説明となります。



: 読み上げを行うメニュー項目です。



: 呼び出し音を鳴らすメニュー項目です。



: マウスで操作するメニュー項目です。

- 「伝の心」トップ画面: 「伝の心」を起動するとこの画面が表示されます。

▼メインメニュー

The screenshot shows a 3x3 grid menu. The '伝 Ver. XX-XX' label is at the bottom right. Callouts point to the '応用操作' and '終了' items, showing their respective submenus.

メインメニュー	サブメニュー	機能
日常使用文	———	日常使用文画面を表示します。
会話	———	会話画面を表示します。
文書	———	文書画面を表示します。
リモコン	———	リモコン(リモコン操作)画面を表示します。
メール/LINE(注1)	———	メール画面または LINE 操作画面を表示します。
設定	———	設定画面を表示します。
応用操作(注1)	ブラウザ操作(注1)	ホームページ閲覧画面を表示します。
	Windows 操作(注1)	Windows 操作画面を表示します。
呼音	———	呼び出し音を鳴らします。
終了	終了(電源断)	伝の心を終了して、システム装置の電源を切ります。
	バックアップして終了(注1)	伝の心を終了し、ユーザーデータのバックアップを行い、システム装置の電源を切ります。
	再起動(注1)	伝の心を終了して、システム装置の電源を一度切って再度電源を入れなおします。



制限

(注1) ご使用の「伝の心」の設定によっては、表示されません。詳細は、74 ページの「メインメニューの設定」にて説明します。

日常使用文

- 日常使用文画面:「伝の心」トップ画面のメインメニューで[日常使用文]を選択するとこの画面が表示されます。(注 2)

日常使用文 1

吸引	めがねをかける
体位交換	ベッドを昇降
カニューレの位置	目が疲れる
呼吸器を確認	
顔の向きを変える	
耳を綿棒で掻く	あいさつ
本をセット	呼音
カーテンを引く	日常使用文 2
終了	日常使用文 3

▽日常使用文パネル 2

日常使用文 2

下肢	あいさつ
上肢	感情
体幹	体調
顔面	返事
視覚、聴覚、体感	コメント
寝具	程度、方向
家具	呼音
家電製品	日常使用文 1
終了	日常使用文 3

▽日常使用文パネル 3

日常使用文 3

日常サンプル 1	今の時間は？
	音量を上げて
	音量を下げて
	ニュース
	なぞなぞ
	読み上げを止めて
	呼音
	日常使用文 1
終了	日常使用文 2

各パネル共通メニュー	サブメニュー	機能
日常使用文 1	——	日常使用文パネル 1 を表示します。
日常使用文 2	——	日常使用文パネル 2 を表示します。
日常使用文 3	——	日常使用文パネル 3 を表示します。
呼音	——	🔔 呼び出し音を鳴らします。
終了	——	日常使用文画面を閉じます。 次回、日常使用文画面表示時は、この画面から始まります。



補足

(注2) 初めて日常使用文画面を表示したときには、日常使用文パネル 1 を表示しますが、次回からは日常使用文画面で[終了]を選択した画面から始まります。

▽日常使用文パネル1

日常使用文 1	
吸引	めがねをかける
体位交換	ベッドを昇降
カニューレの位置	目が疲れる
呼吸器を確認	
顔の向きを変える	
耳を綿棒で掻く	あいさつ
本をセット	呼音
カーテンを引く	日常使用文 2
終了	日常使用文 3

▽あいさつパネル

日常使用文 1ーあいさつ	
おはよう	こんばんは
こんにちは	元気です
さようなら	
元気でね	
	日常使用文 2
1つ前へ戻る	日常使用文 3

日常使用文パネル1	サブパネル	機能
吸引	———	🔊“吸引してください”
体位交換	———	🔊“体位交換してください”
カニューレの位置	———	🔊“カニューレの位置を変更してください”
呼吸器を確認	———	🔊“呼吸器を確認してください”
顔の向きを変える	———	🔊“顔の向きを変えてください”
耳を綿棒で掻く	———	🔊“耳を綿棒で掻いてください”
本をセット	———	🔊“本をセットしてください”
カーテンを引く	———	🔊“カーテンを引いてください”
メガネをかける	———	🔊“メガネをかけてください”
ベッドを昇降	———	🔊“ベッドを昇降してください”
目が疲れる	———	🔊“目が疲れてきました”
あいさつ	あいさつパネル	あいさつパネルを表示します。

あいさつパネル	サブパネル	機能
おはよう	———	🔊“おはよう”
こんにちは	———	🔊“こんにちは”
こんばんは	———	🔊“こんばんは”
さようなら	———	🔊“さようなら”
元気です	———	🔊“元気です”
元気でね	———	🔊“元気でね”
1つ前へ戻る	———	日常使用文パネル1に戻ります。

▽ 日常使用文パネル 2（各パネルで「日常使用文 2」を選択すると表示）

日常使用文 2	
下肢	あいさつ
上肢	感情
体幹	体調
顔面	返事
視覚、聴覚、体感	コメント
寝具	程度、方向
家具	呼音
家電製品	日常使用文 1
終了	日常使用文 3

日常使用文パネル2	サブパネル	機能
下肢	下肢パネル	下肢パネルを表示します。
上肢	上肢パネル	上肢パネルを表示します。
体幹	体幹パネル	体幹パネルを表示します。
顔面	顔面パネル	顔面パネルを表示します。
視覚、聴覚、体感	視覚、聴覚、体感パネル	視覚、聴覚、体感パネルを表示します。
寝具	寝具パネル	寝具パネルを表示します。
家具	家具パネル	家具パネルを表示します。
家電製品	家電製品パネル	家電製品パネルを表示します。
あいさつ	あいさつパネル	あいさつパネルを表示します。
感情	感情パネル	感情パネルを表示します。
体調	体調パネル	体調パネルを表示します。
返事	返事パネル	返事パネルを表示します。
コメント	コメントパネル	コメントパネルを表示します。
程度、方向	程度、方向パネル	程度、方向パネルを表示します。



参照

日常使用文パネル 2・日常使用文パネル 3 の詳細については、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照ください。

会話

- 会話画面:「伝の心」トップ画面のメインメニューで[会話]を選択するとこの画面が表示されます。



▽ トップメニュー (文字盤で「戻」を選択すると表示)

文字	↑	↓	メイン	呼音	終了
----	---	---	-----	----	----

トップメニュー	サブメニュー	機能
文字	——	会話をするための文字盤を表示します。
↑	——	次のスイッチ入力まで、編集域の表示内容を連続して上にスクロールします。
↓	——	次のスイッチ入力まで、編集域の表示内容を連続して下にスクロールします。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	呼び出し音を鳴らします。
終了	——	会話画面を閉じます。

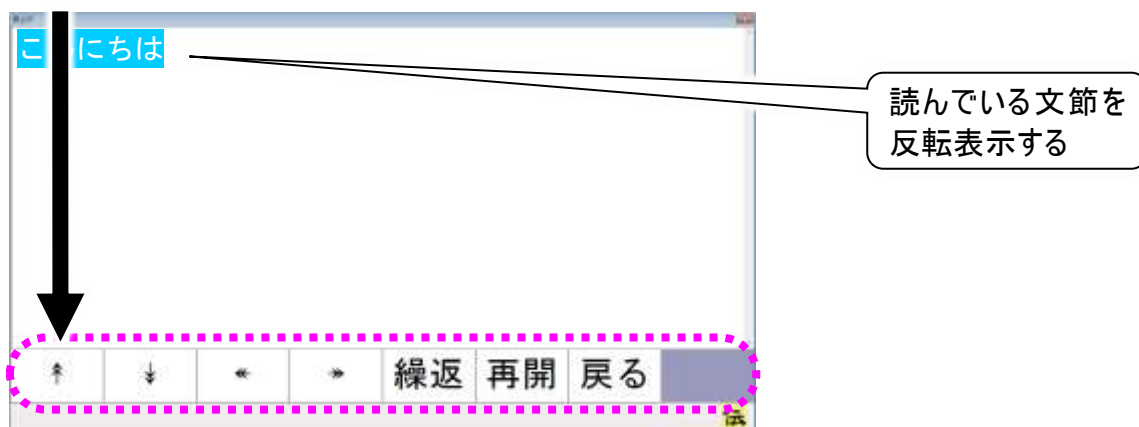


補足

会話画面で入力した会話の内容は、「伝の心」文書の「会話」フォルダに自動的に保存されます。エラー! ブックマークが定義されていません。「エラー! 参照元が見つかりません。」を参照して内容を読み出すこともできます。
 会話ファイルは日付毎に保存されています。
 (例: 2007 年 12 月 1 日の会話ファイルのファイル名は「20071201.log」)

- **読み上げ画面**: 会話画面のトップメニューで[文字]を選択すると開く文字盤で、[🔊]を選択するとこの画面が表示されます。この画面は文書画面・メール画面でも、文字盤で、[🔊]を選択すると表示されます。(※未確定文字がある場合は、表示されません。)

▽読み上げメニュー



読み上げメニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、カーソルを上に移動する。
↓	——	次のスイッチ入力まで、カーソルを下に移動する。
←	——	次のスイッチ入力まで、カーソルを左に移動する。
→	——	次のスイッチ入力まで、カーソルを右に移動する。
繰返	——	テキスト先頭から読み上げを開始する。
再開	——	カーソルのある文節の先頭から読み上げを開始する。
戻る	——	元の画面に戻る。

読み上げの一時停止

読み上げ中にスイッチ入力が行なわれると、読み上げが一時停止します。

読み上げの再開

読み上げが一時停止している状態で、読み上げメニューの選択が可能になりますので、[再開]を選択すると、読み上げを停止した文節の先頭から読み上げを開始します。

任意の位置からの読み上げの開始

読み上げを一時停止し、読み上げメニューの[↑][↓][←][→]を選択してカーソルを移動し、読み上げを開始したい位置に移動させ、[再開]を選択すると、カーソルのある文節の先頭から読み上げを開始します。

最初から読み上げ

読み上げを一時停止し、[繰返]を選択すると、テキスト先頭から読み上げを開始します。

読み上げの中止

読み上げを一時停止し、[戻る]を選択すると、元の画面に戻ります。
また、読み上げが終了した場合は、自動的に元の画面に戻ります。



補足



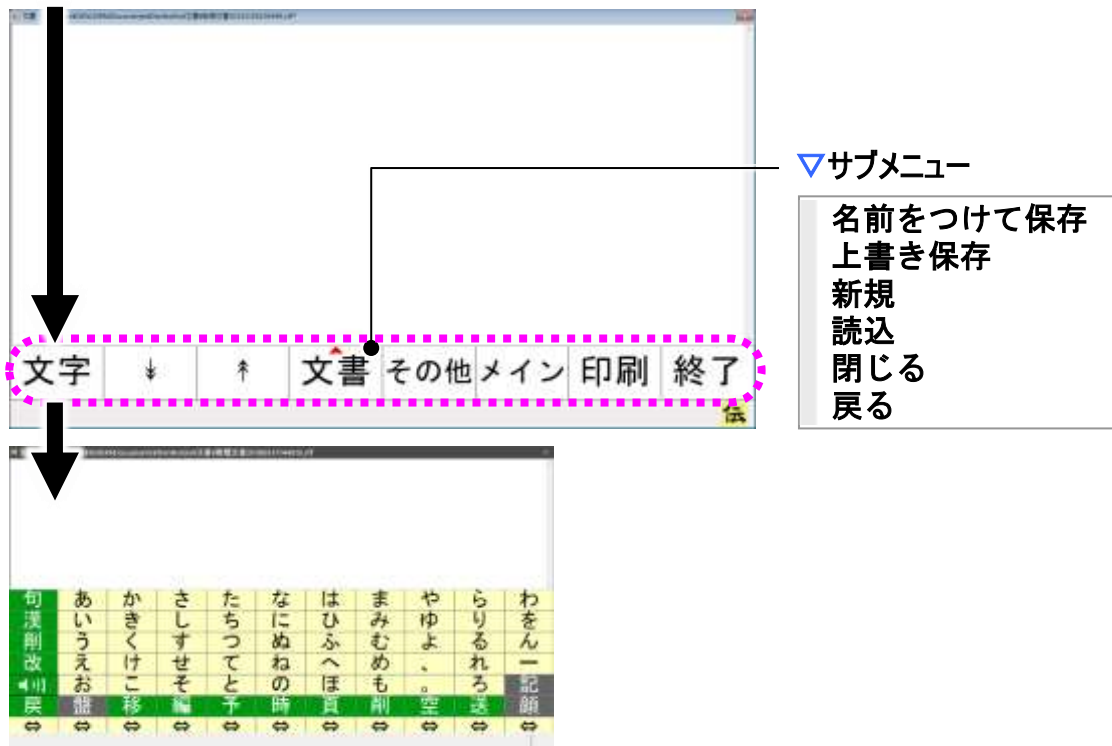
注意

読み上げを行った場合、直前の文書のコピーは取り消されます。(コピー(複写)した内容は、読み上げた文章に置き換わります。)ご注意ください。

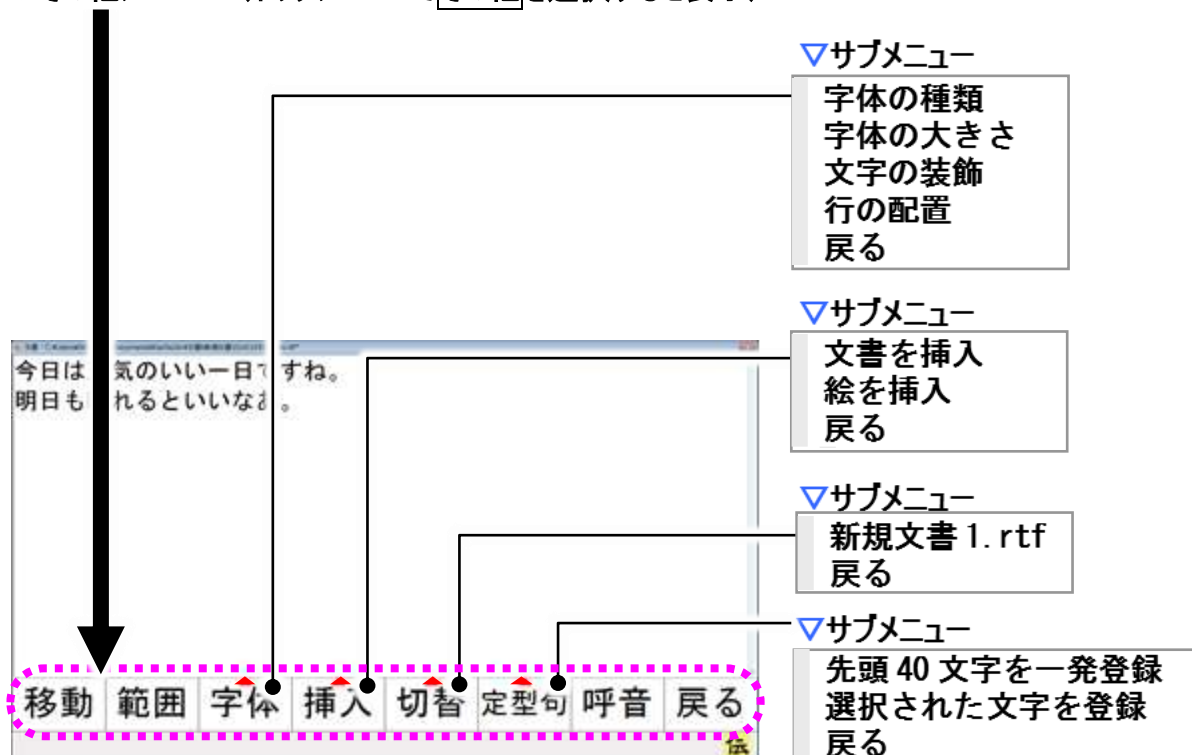
文書

■ 文書画面:「伝の心」トップ画面のメインメニューで[文書]を選択するとこの画面が表示されます。

▽トップメニュー



トップメニュー	サブメニュー	機能
文字	———	今開いている文書を編集するための文字盤を表示します。
↑	———	次のスイッチ入力まで、編集域の表示内容を連続して上にスクロールします。
↓	———	次のスイッチ入力まで、編集域の表示内容を連続して下にスクロールします。
文書	名前をつけて保存	今開いている文書に名前をつけて保存するために、保存ファイル名の指定画面を表示します。
	上書き保存	今開いている文書を上書き保存します。
	新規	新しい文書の編集ができるようにします。
	読込	既に保存されている文書を読み込むために、文書ファイルの選択画面を表示します。
	閉じる	[新規][読込]で開いていた文書を閉じます。
	戻る	サブメニューを閉じます。
その他	———	その他メニューに切り替えます。
メイン	———	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
印刷	———	印刷画面を表示します。
終了	———	文書画面を閉じます。

▽その他メニュー（トップメニューでその他を選択すると表示）

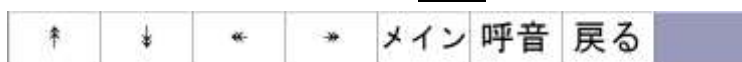
その他メニュー	サブメニュー	機能
移動	———	移動メニューに切り替えます。
範囲	———	範囲選択メニューに切り替えます。
字体	字体の種類	フォント選択画面を表示します。
	字体の大きさ	文字の大きさ変更メニューに切り替えます。
	文字の装飾	文字の装飾メニューに切り替えます。
	行の配置	行の配置変更メニューに切り替えます。
	戻る	サブメニューを閉じます。
挿入	文書を挿入	文書ファイルの選択画面を表示します。
	絵を挿入	画像ファイルの選択画面を表示します。
	戻る	サブメニューを閉じます。
切替	(注 3)	編集域を選択した文書に切り替えます。
	戻る	サブメニューを閉じます。
定型句	先頭 40 文字を一発登録	表示されている文書の先頭 40 文字を定型句として、定型句登録画面を表示します。
	選択された文字を登録	選択されている範囲の文字列を定型句として、定型句登録画面を表示します。
	戻る	サブメニューを閉じます。
呼音	———	🔔呼び出し音を鳴らします。
戻る	———	文書画面トップメニューに戻ります。



補足

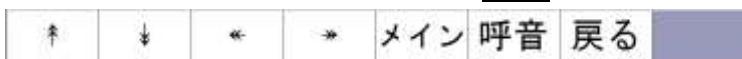
(注3) 現在編集集中の文書名がリストに表示されます。

▼移動メニュー（その他メニューで移動を選択すると表示）



移動メニュー	サブメニュー	機能
↑	———	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して上へ移動します。
↓	———	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して下へ移動します。
←←	———	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して左へ移動します。
→→	———	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して右へ移動します。
メイン	———	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	———	呼び出し音を鳴らします。
戻る	———	文書画面その他メニューに戻ります。

▼範囲選択メニュー（その他メニューで範囲を選択すると表示）



範囲選択メニュー	サブメニュー	機能
↑	———	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して上へ移動して、範囲選択します。
↓	———	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して下へ移動して、範囲選択します。
←←	———	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して左へ移動して、範囲選択します。
→→	———	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して右へ移動して、範囲選択します。
メイン	———	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	———	呼び出し音を鳴らします。
戻る	———	文書画面その他メニューに戻ります。

▼文字の大きさ変更メニュー（その他メニューで「**字体**」→「文字の大きさ」を選択すると表示）

範全	範解	大きく	小さく	メイン	呼音	戻る	
----	----	-----	-----	-----	----	----	--

文字の大きさ変更メニュー	サブメニュー	機能
範全	———	文書全体を範囲選択します。
範解	———	範囲選択を解除します。
大きく	———	次のスイッチ入力まで、選択した文字列を連続して大きくします。
小さく	———	次のスイッチ入力まで、選択した文字列を連続して小さくします。
メイン	———	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	———	 呼び出し音を鳴らします。
戻る	———	文書画面その他メニューに戻ります。

▼文字の装飾メニュー（その他メニューで「**字体**」→「文字の装飾」を選択すると表示）

太字	斜体	下線	取消線	字色	メイン	呼音	戻る
----	----	----	-----	----	-----	----	----

文字の装飾メニュー	サブメニュー	機能
太字	———	選択した文字列を太字にします。
斜体	———	選択した文字列を斜体にします。
下線	———	選択した文字列に下線をつけます。
取消線	———	選択した文字列に取り消し線をつけます。
字色	———	色選択画面を表示します。
メイン	———	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	———	 呼び出し音を鳴らします。
戻る	———	文書画面その他メニューに戻ります。

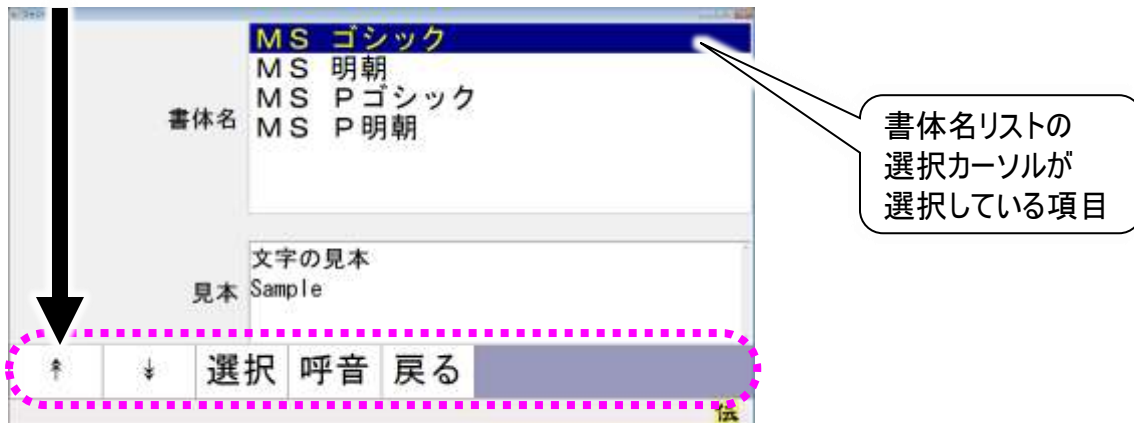
▼行の配置変更メニュー（その他メニューで「**字体**」→「行の配置」を選択すると表示）

右寄	中寄	左寄	メイン	呼音	戻る	
----	----	----	-----	----	----	--

行の配置変更メニュー	サブメニュー	機能
右寄	———	選択した文字列の段落を、右寄せにします。
中寄	———	選択した文字列の段落を、中寄せにします。
左寄	———	選択した文字列の段落を、左寄せにします。
メイン	———	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	———	 呼び出し音を鳴らします。
戻る	———	文書画面その他メニューに戻ります。

- **フォント選択画面**: 文書画面のその他メニューで[字体]-[字体の種類]を選択するとこの画面が表示されます。

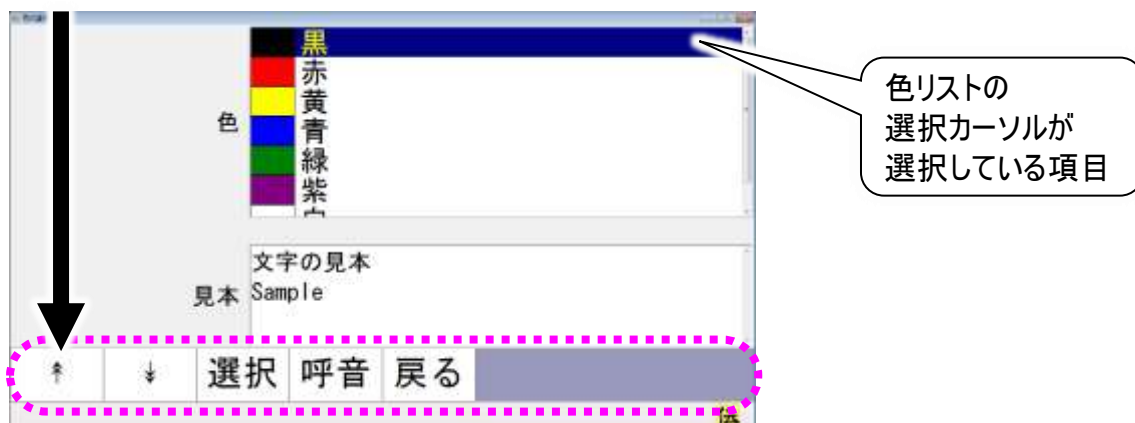
▼ **フォント選択メニュー**



フォント選択メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、書体名リストの選択カーソルを連続して上へ移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、書体名リストの選択カーソルを連続して下へ移動します。
選択	——	書体名リストの選択カーソルが選択している項目(フォント)を、編集域の範囲選択している文字列に反映して、前画面に戻ります。
呼音	——	🔔 呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	文書画面その他メニューに戻ります。

- 色選択画面: 文書画面の文字の装飾メニューで[字色]を選択するとこの画面が表示されます。

▽色選択メニュー



色選択メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、色リストの選択カーソルを連続して上へ移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、色リストの選択カーソルを連続して下へ移動します。
選択	——	色リストの選択カーソルが選択している項目(色)を、編集域の範囲選択している文字列に反映して、前画面に戻ります。
呼音	——	🔔 呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	文書画面文字の装飾メニューに戻ります。

- 画像ファイルの選択画面：文書画面のその他メニューで[挿入]―[絵を挿入]を選択するとこの画面が表示されます。

▽ファイル選択メニュー



ファイル選択メニュー		サブメニュー	機能
↑	↓	——	次のスイッチ入力まで、「フォルダ／ファイル選択リスト」のカーソルを連続して上または下に移動します。
選択		——	「フォルダ／ファイル選択リスト」で選択されている画像ファイルを読み込みます。選択しているのがフォルダや“上位フォルダへ”の場合、選択したフォルダに移動し、「フォルダ／ファイル選択リスト」の内容を更新します。
並替(注 4)		名前昇順	「フォルダ／ファイル選択リスト」を、ファイル名をキーにして、昇順で並び替えます。
		名前降順	「フォルダ／ファイル選択リスト」を、ファイル名をキーにして、降順で並び替えます。
		日付昇順	「フォルダ／ファイル選択リスト」を、ファイル更新日付をキーにして、昇順で並び替えます。
		日付降順	「フォルダ／ファイル選択リスト」を、ファイル更新日付をキーにして、降順で並び替えます。
削除		——	画像ファイルは削除できませんので、ここでは何も行いません。
呼音		——	呼び出し音を鳴らします。
戻る		——	文書画面その他メニューに戻ります。



補足

ファイルとフォルダの違い

フォルダはフォルダ名の左端にが表示されています。

ファイルはファイル名の左端にが表示されています。

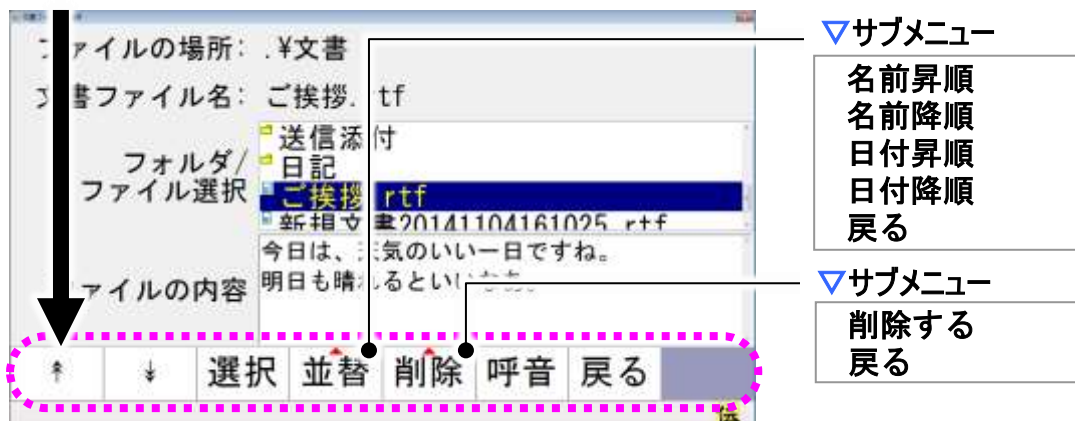


注意

文書に挿入する画像ファイルは、あまり大きいサイズだと、読み込みや保存に時間が掛かったり、読み込みや保存ができなくなったりすることがあります。画像ファイルの大きさの目安としては、1024×768ピクセル程度です。また1024×768ピクセル程度の画像ファイルでも、5個以上挿入すると、読み込みや保存ができなくなることがあります。ご注意ください。

- **文書ファイルの選択画面**: 文書画面のトップメニューで[文書]-[読込]を選択するとこの画面が表示されます。

▽ファイル選択メニュー



ファイル選択メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、「フォルダ／ファイル選択リスト」のカーソルを連続して上に移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、「フォルダ／ファイル選択リスト」のカーソルを連続して下に移動します。
選択	——	「フォルダ／ファイル選択リスト」で選択されている文書ファイルを読み込みます。選択しているのがフォルダや“上位フォルダへ”の場合、選択したフォルダに移動し、「フォルダ／ファイル選択リスト」の内容を更新します。
並替(注 4)	名前昇順	「フォルダ／ファイル選択リスト」を、ファイル名をキーにして、昇順で並び替えます。
	名前降順	「フォルダ／ファイル選択リスト」を、ファイル名をキーにして、降順で並び替えます。
	日付昇順	「フォルダ／ファイル選択リスト」を、ファイル更新日付をキーにして、昇順で並び替えます。
	日付降順	「フォルダ／ファイル選択リスト」を、ファイル更新日付をキーにして、降順で並び替えます。
削除(注 5)	削除する	削除確認画面を表示し、「はい」が選択されたらファイルを削除します。
呼音	——	呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	文書画面その他メニューに戻ります。



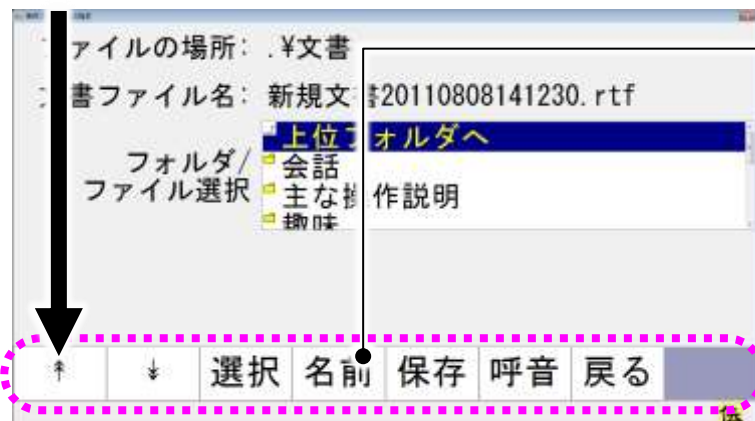
補足

(注4) 並び替えるのはファイルのみです。フォルダの並び替えは行いません。

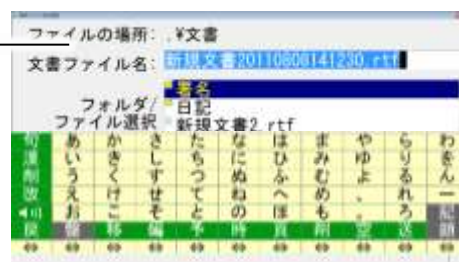
(注5) 削除した文書は、「ごみ箱」へ移動します。ただし、フロッピーディスクまたはUSB メモリ等の外部メモリから削除を行った場合は、「ごみ箱」へ移動せずに削除されますのでご注意ください。

- **保存ファイルの指定画面**: 文書画面のその他メニューで[文書]-[名前をつけて保存]を選択するとこの画面が表示されます。

▽ **ファイル指定メニュー**



▽ **保存ファイル名の編集画面**



ファイル指定メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、「フォルダ／ファイル選択リスト」のカーソルを連続して上に移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、「フォルダ／ファイル選択リスト」のカーソルを連続して下に移動します。
選択	——	「フォルダ／ファイル選択リスト」で選択されている文書ファイル名で保存します。選択しているのがフォルダや“上位フォルダへ”の場合、選択したフォルダに移動し、「フォルダ／ファイル選択リスト」の内容を更新します。
名前	——	文字盤を表示し、ファイル名編集画面に切り替えます。
保存	——	“ファイルの場所”+“文書ファイル名”で保存します。
呼音	——	🔊 呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	文書画面その他メニューに戻ります。



補足

ファイルの上書き

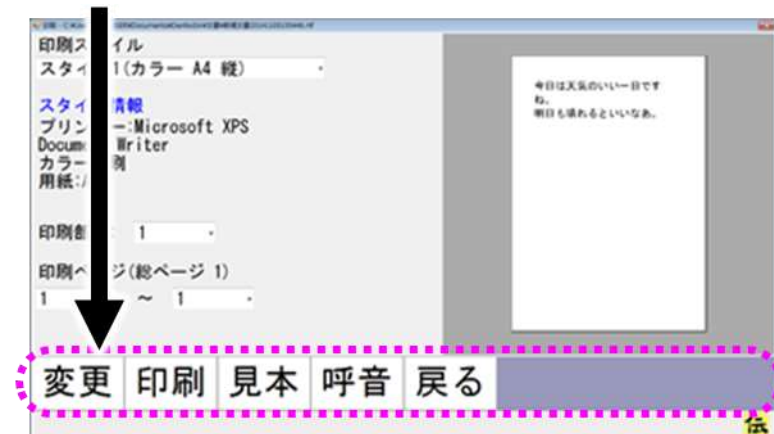
ファイルを選択して[選択]を選択すると、上書き確認のメッセージが表示されます。上書き保存については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照してください。

新しいフォルダの作成

文書画面からはできません。フォルダの作成については、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照してください。

- 印刷画面：文書画面のトップメニューで[印刷]を選択するとこの画面が表示されます。

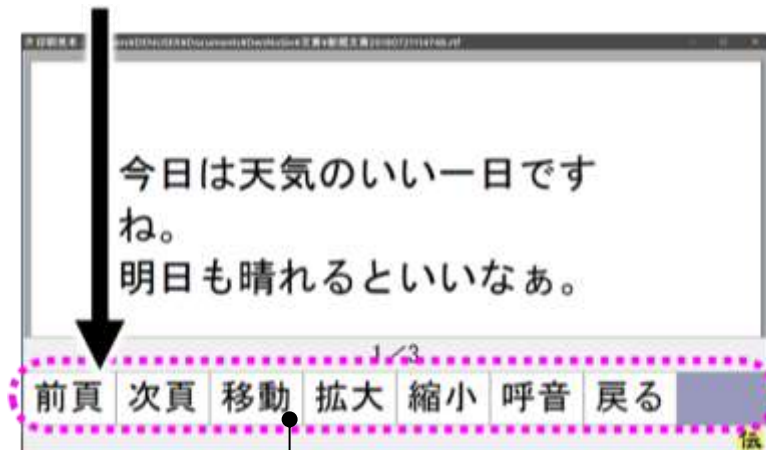
▽印刷メニュー



印刷メニュー	サブメニュー	機能
変更	——	“印刷スタイル”→“印刷部数”→“印刷ページ”開始→“印刷ページ”終了の順番に設定項目間をスキャン移動します。スイッチを入力し、項目を選択すると、選択項目内をスキャンします。
印刷	——	“印刷スタイル”で“印刷部数”の数だけ、“印刷ページ”を、印刷します。
見本	——	印刷見本画面を表示します。
呼音	——	🔔呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	文書画面トップメニューに戻ります。

- 印刷見本画面: 印刷画面の印刷メニューで[見本]を選択するとこの画面が表示されます。

▽印刷見本メニュー



▽移動メニュー

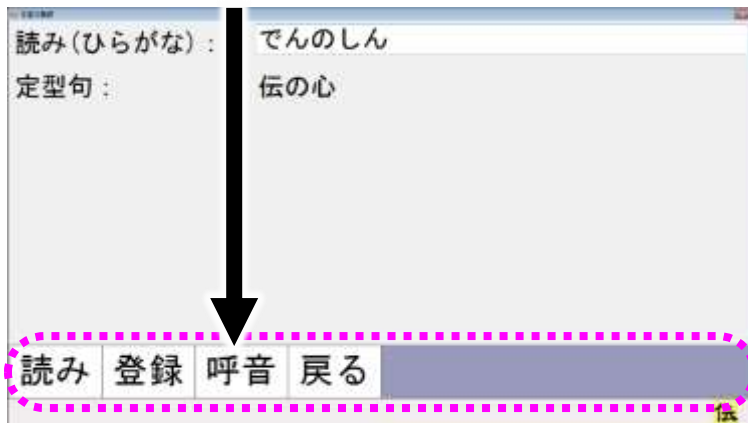


印刷見本メニュー	サブメニュー	機能
前頁	———	前の頁に移動します。先頭のページでは何もしません。
次頁	———	次の頁に移動します。最終ページでは何もしません。
移動	———	メニューを移動メニューに切り替えます。
拡大	———	プレビュー領域”を拡大表示します。
縮小	———	プレビュー領域”を縮小表示します。
呼音	———	 呼び出し音を鳴らします。
戻る	———	印刷画面に戻ります。

移動メニュー	サブメニュー	機能
頁右	———	プレビュー領域を右にスクロールさせます。
頁左	———	プレビュー領域を左にスクロールさせます。
頁下	———	プレビュー領域を下にスクロールさせます。
頁上	———	プレビュー領域を上スクロールさせます。
呼音	———	 呼び出し音を鳴らします。
戻る	———	印刷見本メニューに戻ります。

- **定型句登録画面**: 文書画面のトップメニューで[定型句]-[先頭 40 文字を一発登録]または[定型句]-[選択された文字を登録]を選択するとこの画面が表示されます。

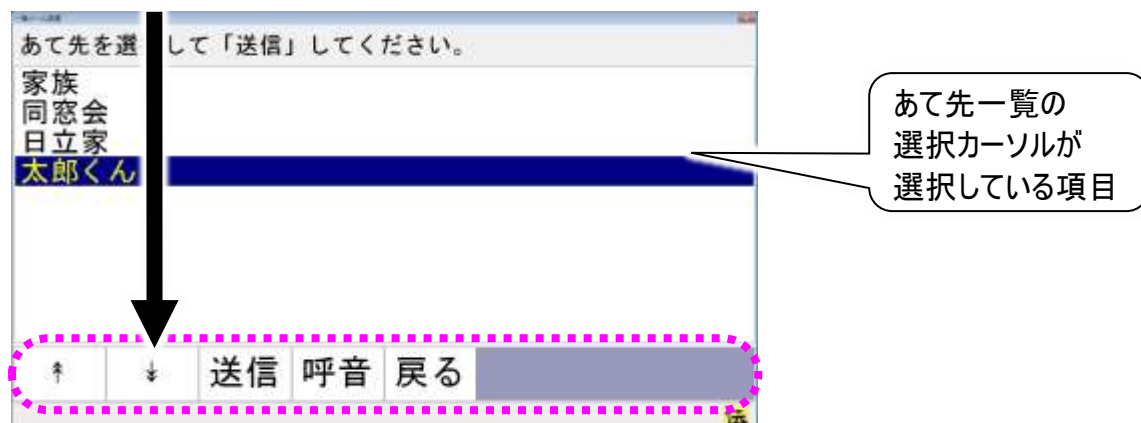
▼ **定型句登録メニュー**



定型句登録メニュー	サブメニュー	機能
読み	——	文字盤が表示され、「読み」が編集可能になります。
登録	——	「定型句」に表示された文字が定型句として登録され、前画面に戻ります。
呼音	——	🔔 呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	印刷画面に戻ります。

- 一発メール送信画面：文書画面のトップメニューで[文字]を選択すると開く文字盤で、[送]を選択するとこの画面が表示されます。

▼一発メール送信メニュー



一発メール送信メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、あて先一覧の選択カーソルを連続して上に移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、あて先一覧の選択カーソルを連続して下に移動します。
送信	——	現在表示している文書をメール本文として送信します。
呼音	——	呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	文字盤に戻ります。



補足

正常に送信されたメールは、電子メール機能の「送信箱」内に送信済みメールとして保存されます。送信できなかったとき(送信エラー発生時など)は、「送信箱」には保存されませんので、必要な場合は、文書保存をするようにしてください。

※電子メール機能の「送信箱」の表示内容の更新は、電子メール機能にて送受信を行ったときに行います。「送信済み」フォルダに一発メールで送ったメールがない場合は、電子メールのトップメニューから[接続]を選択して、送受信を行ってみてください。

表示内容の更新が行われて、「送信済み」フォルダに一発メールで送ったメールが表示されます。



制限

メールの装飾や画像

一発メール送信では、文字色や行の配置などの文字の装飾はすべて取り消されて送信されます。また、貼り付けた画像も送れません。(「伝の心」メール機能に準じます。)

メールの件名

文書の1行目がメールの件名として送信されます。



参照

詳細については、『伝の心メール・インターネット設定説明書』の「編集集中の文書を電子メールで送信する」を参照ください。

リモコン

- リモコン画面:「伝の心」トップ画面のメインメニューで[リモコン]を選択すると、この画面が表示されます。(注 6)

▼トップメニュー



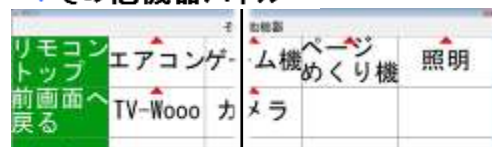
▼テレビメインパネル



▼ビデオパネル



▼その他機器パネル



▼簡単ビデオパネル



▼簡単テレビパネル



トップメニュー	サブメニュー	機能
テレビ	——	テレビメインパネルを表示します。(注 7)
ビデオ(DVD/BD)	——	ビデオパネルを表示します。(注 7)
簡単テレビ	——	簡単テレビパネルを表示します。(注 7)
簡単ビデオ	——	簡単ビデオパネルを表示します。(注 7)
その他機器	——	その他機器パネルを表示します。(注 7)
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	🔔 呼び出し音を鳴らします。
終了	——	リモコン画面を閉じます。



制限

機器のリモコン操作を行なう前に、あらかじめ「支援者用設定」で使用するリモコン機器の選択、リモコンデータの転送等を行なってください。



補足

(注6) 初めてリモコン画面を表示したときには、トップメニューを表示しますが、次回からはリモコン画面で[終了]を選択した画面から始まります。



参照

(注7) テレビ、ビデオ、その他機器パネルの詳細は、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照ください。



参照

リモコンの設定、登録は『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』または『伝の心リモコン登録スタートガイド』を参照ください。

▽その他機器パネル(リモコン画面で**その他機器**を選択すると表示)



その他機器パネル	サブメニュー	機能
エアコン	———	エアコンメインパネルを表示します。(注 8)
ゲーム機	———	ゲーム機パネルを表示します。(注 8)
ページめくり機	———	ページめくり機パネルを表示します。(注 8)
照明	———	照明パネルを表示します。(注 8)
DVD	———	DVD パネルを表示します。(注 8)
カメラ	———	ビデオカメラメインパネルを表示します。(注 8)
地デジチューナ	———	地デジチューナメインパネルを表示します。(注 8)
リモコントップ	———	リモコンアプリケーション画面のトップメニューを表示します。
前画面へ戻る	———	一つ前の画面に戻ります。(ここではトップメニューへ)
メイン	———	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	———	呼び出し音を鳴らします。
終了	———	リモコン画面を閉じます。 次回、リモコン画面表示時は、この画面から始まります。



参照

(注8) パネルの詳細は『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照ください。

メール

■ メール画面:「伝の心」トップ画面のメインメニューで[メール]を選択するとこの画面が表示されます。

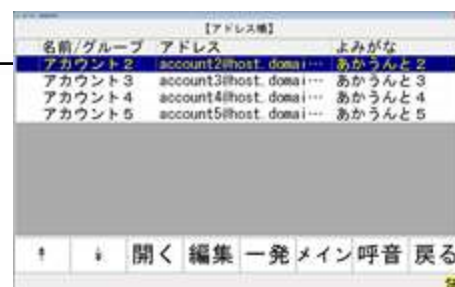
▽トップメニュー



▽アカウント切替画面



▽アドレス帳画面



▽受信箱画面



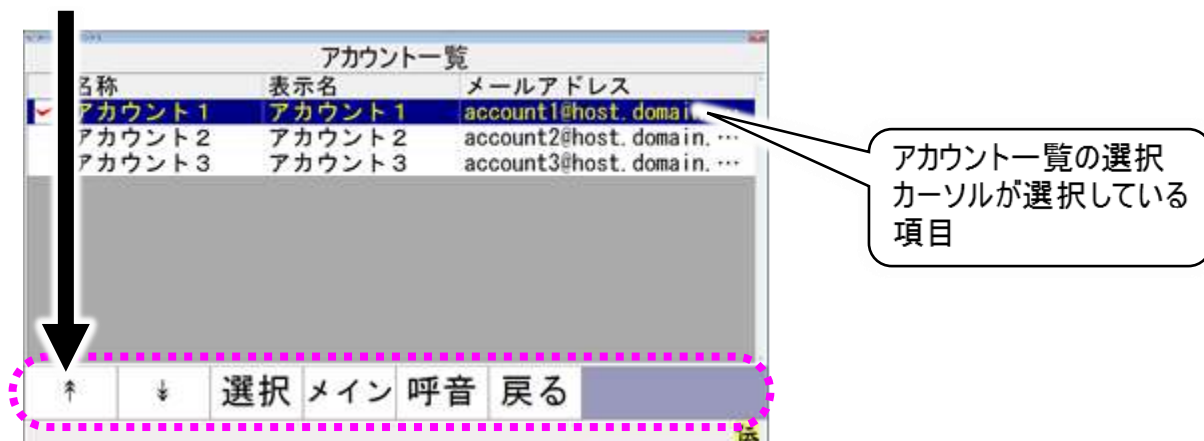
▽送信箱画面



トップメニュー	サブメニュー	機能
アカウント切替	——	アカウント切替画面を表示します。
受箱	——	受信箱画面を表示します。
送箱	——	送信箱画面を表示します。
接続	——	メールの送受信を行います。
アド帳	——	アドレス帳画面を表示します。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	🔔呼び出し音を鳴らします。
終了	——	メール画面を閉じます。

- アカウント切替画面: メール画面で[アカウント切替] を選択するとこの画面が表示されます。

▼アカウント切替メニュー



アカウント切替メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、アカウント一覧の選択カーソルを連続して上に移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、アカウント一覧の選択カーソルを連続して下に移動します。
選択	——	アカウント一覧の選択カーソルが選択している項目(アカウント)を操作対象のアカウントとして切り換えます。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	🔔呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	メール画面に戻ります。

- 受信箱画面: メール画面で[受信] を選択するとこの画面が表示されます。

▽受信箱メニュー



▽整理メニュー



受信箱メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、受信メール一覧の選択カーソルを連続して上に移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、受信メール一覧の選択カーソルを連続して下に移動します。
開く(注 9)	——	受信メール一覧の選択カーソルが選択している項目(受信メール)の内容を表示します。
整理	——	整理メニューに切り替えます。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	🔔呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	メール画面に戻ります。

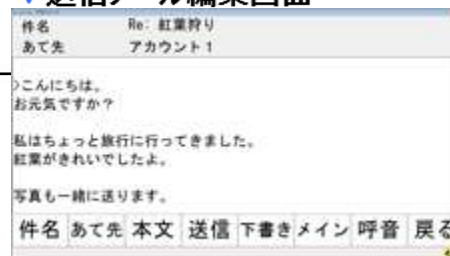
整理メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、受信メール一覧の選択カーソルを連続して上に移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、受信メール一覧の選択カーソルを連続して下に移動します。
移動(注 10)	——	選択した項目の左端にチェックマークを付加します。
フォルダ作成	——	現在表示しているフォルダ内にサブフォルダを作成するために、フォルダ名入力画面を表示します。
削除	——	現在選択しているファイル(フォルダ)をごみ箱に移動します。ファイル(フォルダ)が「ごみ箱」にある場合は完全に削除します。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	🔔呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	受信箱画面受信箱メニューに戻ります。

- 受信メール画面: 受信箱画面で[開く] を選択するとこの画面が表示されます。

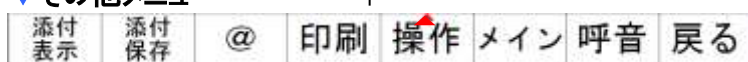
▽受信メールメニュー



▽送信メール編集画面



▽その他メニュー



受信メールメニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、受信メールの内容を上方向にスクロール表示します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、受信メールの内容を下方向にスクロール表示します。
返信	——	表示しているメールを元に、返信メールを作成し送信メールの編集画面を表示します。
その他	——	その他メニューに切り替えます
読上	——	受信メールの内容を読み上げます。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	🔔呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	受信箱画面に戻ります。



補足

(注9) 選択している項目がフォルダの場合はそのフォルダの内容を受信メール一覧に表示します。

(注10) すでにチェックマークが付いた状態では、移動対象から外したものと処理しチェックマークを外します。

選択した項目がフォルダであった場合、移動先のフォルダを選択したものと、事前にチェックマークを付けたファイルをフォルダに移動します。

チェックマークを付けたファイルが無い場合は、何もしません。

▽その他メニュー（受信メールメニューで**その他**を選択すると表示）



その他メニュー	サブメニュー	機能
添付表示(注 11)		添付画像表示画面を表示します。
添付保存	——	添付ファイルを保存します。
@	——	表示しているメールの送信者のメールアドレスを元に、アドレス編集画面を表示します。
印刷	——	表示しているメールの内容を印刷します
操作	保存	現在表示している受信メールを保存します。
	削除	現在表示している受信メールを削除します。
	戻る	サブメニューを閉じます。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	受信メール画面受信メールメニューに戻ります。

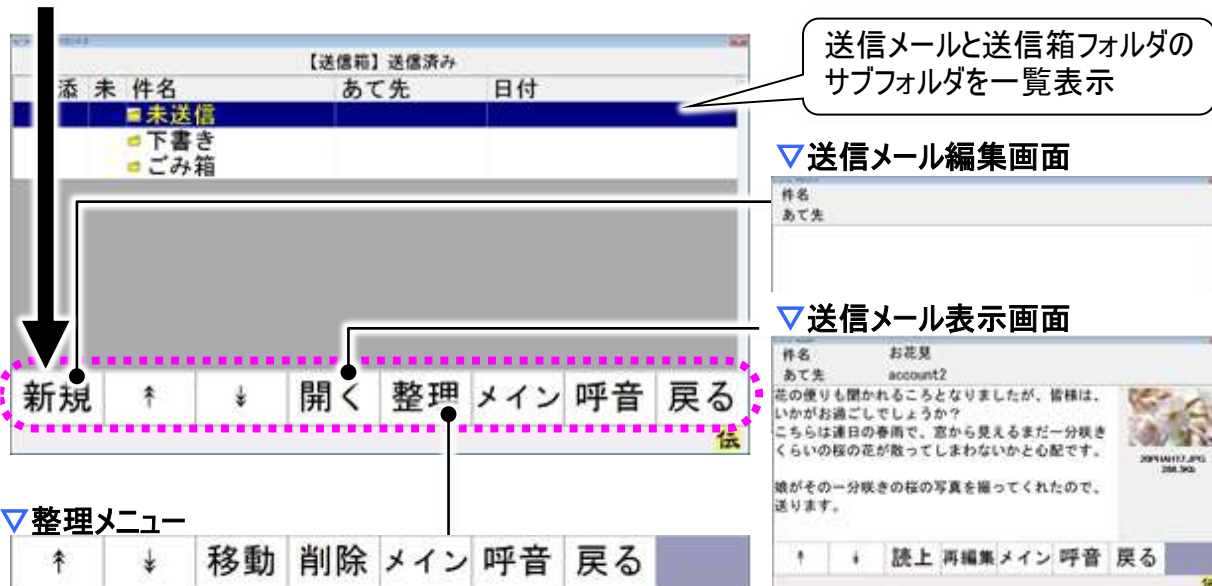


参照

(注11) 添付画像表示画面から、表示している画像ファイルを印刷できます。画像ファイルの印刷の詳細については、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照ください。

- 送信箱画面: メール画面で[送箱] を選択するとこの画面が表示されます。

▽送信箱メニュー



▽送信メール編集画面

▽送信メール表示画面

▽整理メニュー

送信箱メニュー	サブメニュー	機能
新規	——	送信メール編集画面を表示します。
↑	↓	次のスイッチ入力まで、送信メール一覧の選択カーソルを連続して上または下に移動します。
開く(注 12)	——	選択カーソルがフォルダを選択している場合は、フォルダ内の項目を送信メール一覧に表示します。
整理	——	整理メニューに切り替えます。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	🔔呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	メール画面に戻ります。

整理メニュー	サブメニュー	機能
↑	↓	次のスイッチ入力まで、送信メール一覧の選択カーソルを連続して上または下に移動します。
移動(注 13)	——	選択した項目の左端にチェックマークを付加します。
削除	——	現在選択しているファイル(フォルダ)をごみ箱に移動します。ファイル(フォルダ)が「ごみ箱」にある場合は完全に削除します。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	🔔呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	送信箱画面送信箱メニューに戻ります。



補足

(注12) 選択カーソルがメールを選択している場合は、送信メール表示画面を表示し、メールの内容を表示します。

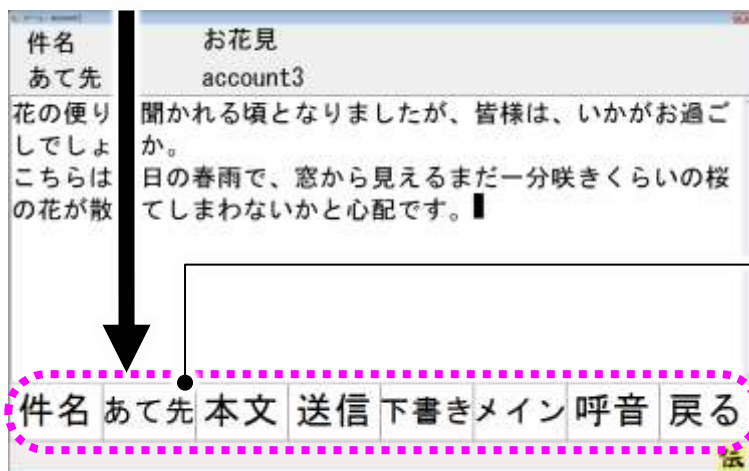
(注13) すでにチェックマークが付いた状態では、移動対象から外したものと処理しチェックマークを外します。

選択した項目がフォルダであった場合、移動先のフォルダを選択したものと

して、事前にチェックマークを付けたファイルをフォルダに移動します。
チェックマークを付けたファイルが無い場合は、何もしません。

■ 送信メール編集画面:送信箱画面で[新規] を選択するとこの画面が表示されます。

▽送信メール編集メニュー



▽あて先選択



送信箱メニュー	サブメニュー	機能
件名	——	文字盤が表示され、「件名」が編集可能になります。
あて先	——	あて先選択画面を表示します。
本文	——	文字盤が表示され、「本文」が編集可能になります。
送信	——	編集中の送信メールを「送信箱」の「未送信」フォルダに保存します。保存されたメールは、メール画面トップメニューの[接続]を選択することで送信されます。
下書き	——	編集中の送信メールを「送信箱」の「下書き」フォルダに保存します。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	 呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	送信箱画面に戻ります。

- あて先選択画面: 送信箱画面で[新規] を選択するとこの画面が表示されます。

▼あて先選択メニュー



▼サブメニュー

TO
CC
BCC
全 TO
全 CC
全 BCC
戻る

▼サブメニュー

1 件
全部
戻る

あて先選択メニュー		サブメニュー	機能
↑	↓	——	次のスイッチ入力まで、あて先一覧の選択カーソルを連続して上または下に移動します。
選択		全 TO (注 14)	あて先一覧に表示されている全てのアドレスをあて先(TO)にします。ただし、フォルダは選択しません。
		全 CC (注 14)	あて先一覧に表示されている全てのアドレスをあて先(CC)にします。ただし、フォルダは、選択はしません。
		全 BCC (注 14)	あて先一覧に表示されている全てのアドレスをあて先(BCC)にします。ただし、フォルダは、選択はしません。
		TO	選択カーソルが選択しているアドレスをあて先(TO)にします。フォルダの場合は、選択はしません。
		CC	選択カーソルが選択しているアドレスをあて先(CC)にします。フォルダの場合は、選択はしません。
		BCC	選択カーソルが選択しているアドレスをあて先(BCC)にします。フォルダの場合は、選択はしません。
解除		一件	選択カーソルが選択しているアドレスをあて先から解除します。
		全部	あて先一覧に表示されている全てのアドレスをあて先から解除します。ただし、フォルダ内は解除しません。
開く		——	選択カーソルがフォルダを選択している場合は、フォルダ内の項目をあて先一覧に表示します。
メイン		——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音		——	🔔呼び出し音を鳴らします。
戻る		——	送信メール編集画面に戻ります。



制限

あて先には、必ず「TO」を最低 1 アドレスは指定してください。「TO」の指定がないと送信できません。

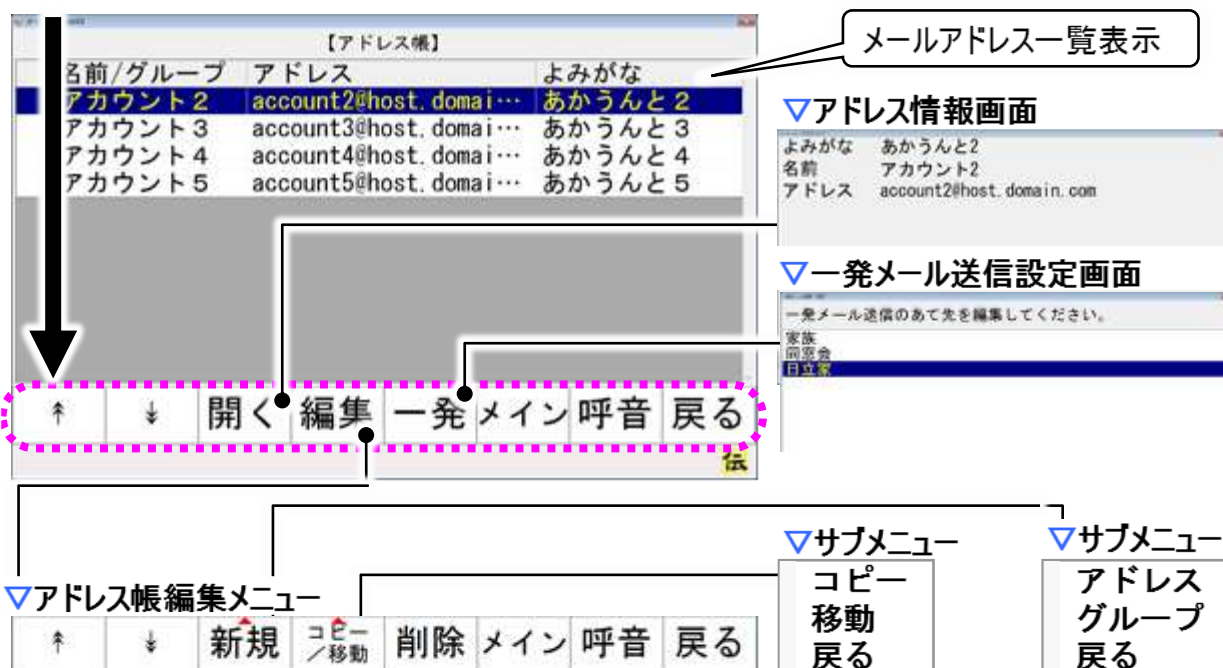


制限

(注14)ご使用の「伝の心」の設定によっては、表示されません。詳細については、『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照ください。

- アドレス帳画面: メール画面で[アド帳] を選択するとこの画面が表示されます。

▽アドレス帳メニュー



アドレス帳メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、アドレス一覧の選択カーソルを連続して上に移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、アドレス一覧の選択カーソルを連続して下に移動します。
開く	——	アドレス情報画面を表示し、選択中の項目(アドレス)のアドレス情報を表示します。 選択カーソルがグループを選択している場合は、そのグループに登録されているアドレス一覧を表示します。
編集	——	アドレス帳編集メニューに切り替えます。
一発	——	一発メール送信設定画面を表示します。
戻る	——	メール画面に戻ります。

アドレス帳編集メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、アドレス一覧の選択カーソルを連続して上に移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、アドレス一覧の選択カーソルを連続して下に移動します。
新規	アドレス	項目が空欄のアドレス編集画面を表示します。
	グループ	アドレスグループ名入力画面を表示します。
コピー/移動	コピー	アドレスコピーメニューに切り替えます。
	移動	アドレス移動メニューに切り替えます。
削除	——	選択中の項目(アドレス)の削除を行います。
戻る	——	アドレス帳メニューに戻ります。

▼アドレスコピーメニュー（アドレス帳編集メニューメニューで「コピー」を選択すると表示）

↑	↓	コピー	メイン	呼音	戻る	
---	---	-----	-----	----	----	--

アドレスコピーメニュー	サブメニュー	機能
↑	———	次のスイッチ入力まで、アドレス一覧の選択カーソルを連続して上に移動します。
↓	———	次のスイッチ入力まで、アドレス一覧の選択カーソルを連続して下に移動します。
コピー（注 15）	———	選択した項目の左端にチェックマークを付加します。
メイン	———	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	———	 呼び出し音を鳴らします。
戻る	———	アドレス帳編集メニューに戻ります。

▼アドレス移動メニュー（アドレス帳編集メニューメニューで「移動」を選択すると表示）

↑	↓	移動	メイン	呼音	戻る	
---	---	----	-----	----	----	--

アドレス移動メニュー	サブメニュー	機能
↑	———	次のスイッチ入力まで、アドレス一覧の選択カーソルを連続して上に移動します。
↓	———	次のスイッチ入力まで、アドレス一覧の選択カーソルを連続して下に移動します。
移動（注 15）	———	選択した項目の左端にチェックマークを付加します。
メイン	———	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	———	 呼び出し音を鳴らします。
戻る	———	アドレス帳編集メニューに戻ります。



補足

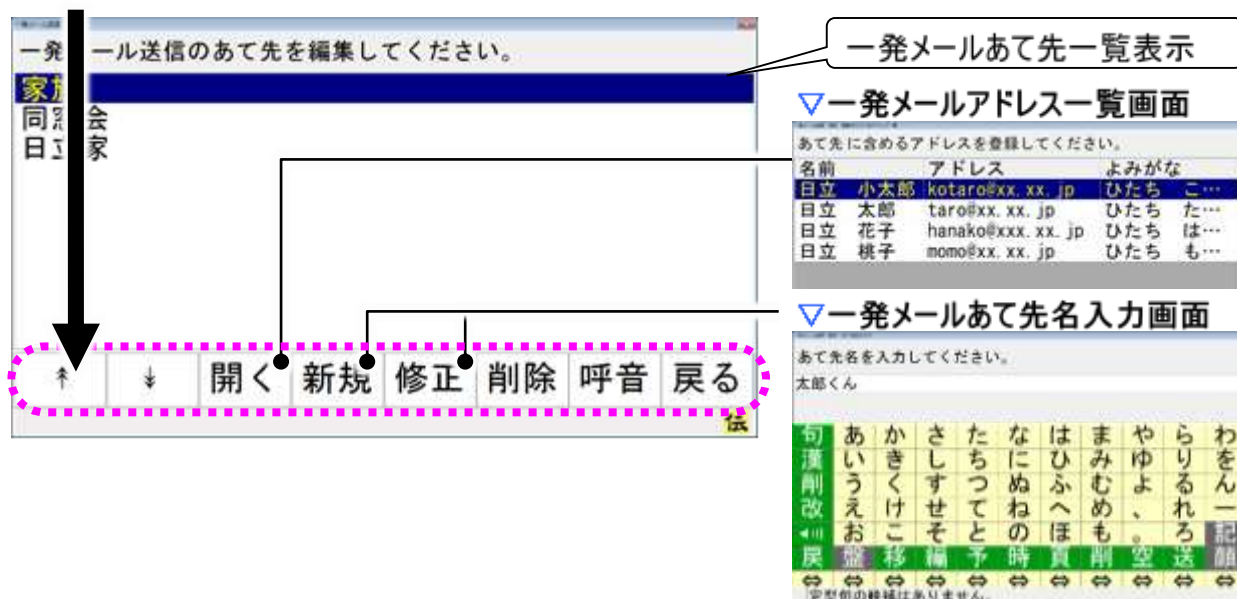
（注15）すでにチェックマークが付いた状態では、コピー/移動対象から外したものと
して処理しチェックマークを外します。

選択した項目がフォルダであった場合、コピー/移動先のフォルダを選択した
ものとして、事前にチェックマークを付けたファイルをフォルダにコピー/移動
します。

チェックマークを付けたファイルが無い場合は、何もしません。

- 一発メール送信設定画面: アドレス帳画面で[一発]を選択するとこの画面が表示されます。

▽一発メール送信設定メニュー



一発メール送信設定メニュー	サブメニュー	機能
↑	——	次のスイッチ入力まで、あて先一覧の選択カーソルを連続して上に移動します。
↓	——	次のスイッチ入力まで、あて先一覧の選択カーソルを連続して下に移動します。
開く	——	一発メールアドレス一覧画面を表示し、選択カーソルのあるあて先に登録されているメールアドレスの一覧を表示します。
新規	——	一発メールあて先名入力画面を表示します。
修正	——	一発メールあて先名入力画面を表示し、選択カーソルのあるあて先を「あて先名」に表示します。
削除	——	選択カーソルのある一発メールあて先を削除します。
メイン	——	「伝の心」トップ画面へ戻ります。
呼音	——	🔔呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	アドレス帳画面に戻ります。



制限

既定のアカウント

一発メール送信では、「既定」に設定されたアカウント情報に基づいてメールを送信します。
メールの設定で複数のアカウントを登録した場合は、一発メール送信で使用するアカウントを「既定」に設定してください。



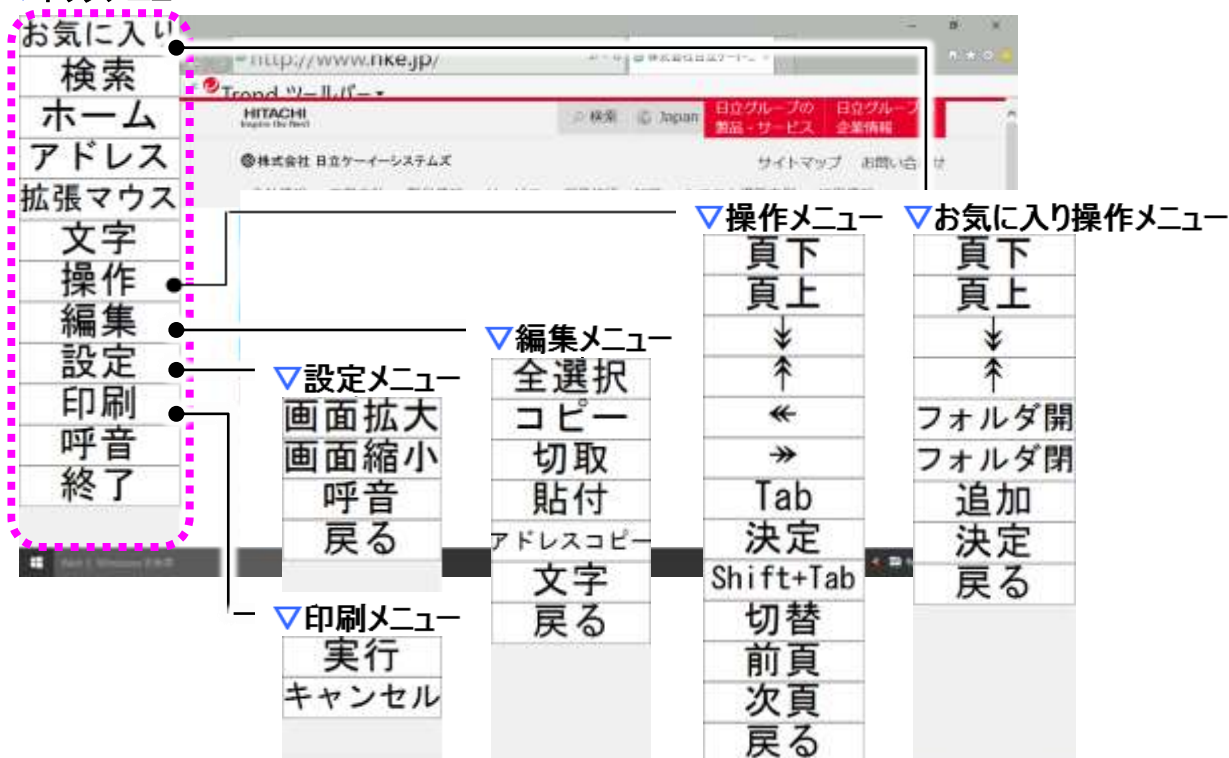
参照

詳細については、『伝の心メール・インターネット設定説明書』の「編集集中の文書を電子メールで送信する」を参照ください。

ブラウザ操作

- ホームページ閲覧画面:「伝の心」トップ画面のメインメニューで[応用操作]-[ブラウザ操作] を選択するとこの画面が表示されます。

▼トップメニュー



トップメニュー	サブメニュー	機能
お気に入り	——	お気に入り操作メニューを表示します。
検索	——	IEの検索入力欄にカーソルを移動し、文字盤を表示します。
ホーム	——	IEの「ホーム」に設定されているページを表示します。
アドレス	——	IEのURL入力欄にカーソルを移動し、文字盤を表示します。
拡張マウス	——	マウス操作盤を表示します。
文字	——	文字盤を表示し、文字入力を行える状態にします。
操作	——	操作メニューを表示します。
編集	——	編集メニューを表示します。
設定	——	設定メニューを表示します。(注16)
印刷	——	印刷画面を表示します。(注16)
呼音	——	🔔呼び出し音を鳴らします。
終了	——	ホームページ閲覧画面を閉じます。



参照

(注16) 設定メニュー・印刷メニューの詳細については、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照ください。



制限

閲覧するホームページによっては、操作ができない場合もあります。初回起動時にその旨を表示した「承諾して起動しますか？」のメッセージ表示がありますので、[はい]を選択するとブラウザ操作が起動します。[いいえ]を選択するとメインメニューに戻りますのでご注意ください。

▽お気に入り操作メニュー（トップメニューで「お気に入り」を選択すると表示）



お気に入り操作メニュー	サブメニュー	機能
頁下	——	お気に入りリストをページ単位で下にスクロールします。
頁上	——	お気に入りリストをページ単位で上にスクロールします。
↓	——	次のスイッチ入力まで、お気に入りリストの項目のカーソルを連続して下に移動します。
↑	——	次のスイッチ入力まで、お気に入りリストの項目のカーソルを連続して上に移動します。
フォルダ開	——	カーソルが閉じたフォルダにある場合、そのフォルダを開きます。 開いたフォルダ上にカーソルがある場合は、そのフォルダ位置の一つ下の項目にカーソルを移動します。
フォルダ閉	——	カーソルが開いたフォルダにある場合は、そのフォルダを閉じます。 閉じたフォルダにある場合、何も動作はしません。
追加	——	現在のページをお気に入りに追加します。
決定	——	カーソル位置のお気に入り項目を開いて、お気に入りリストを閉じます。お気に入り操作メニューはトップメニューに切り替わります。
終了	——	ホームページ閲覧画面を閉じます。

▽操作メニュー（トップメニューで操作を選択すると表示）



操作メニュー		サブメニュー	機能
頁下	頁上	——	次のスイッチ入力まで、現在のページをページ単位で下方向または上方向にスクロールします。
↓	↑	——	次のスイッチ入力まで、カーソルを連続して下方向または上方向に移動します。
←	→	——	次のスイッチ入力まで、カーソルを連続して左方向または右方向に移動します。
Tab		——	次のスイッチ入力まで、ブラウザの選択アイテムを順方向に切り替えていきます。（キーボードのTabキー押下と同じ）
決定		——	文字盤を表示し、文字入力を行える状態にします。
Shift+Tab		——	次のスイッチ入力まで、ブラウザの選択アイテムを逆方向に切り替えていきます。（キーボードのShift+Tabキー押下と同じ）
切替		——	切替メニューを表示します。
前頁		——	表示中のブラウザ画面の、前ページを表示します。
次頁		——	表示中のブラウザ画面の、次ページを表示します。
戻る		——	トップメニューに戻ります。

切替メニュー	サブメニュー	機能
タブ切替	——	IE 画面のタブが複数ある場合、次のスイッチ入力まで、タブを順次切り替えていきます。
タブ閉る	——	現在表示しているタブを閉じます。
Win切替	——	IE 画面が複数ある場合、次のスイッチ入力まで、IE 画面を順次切り替えていきます。
Win閉る	——	現在表示している IE 画面を閉じます。
呼音	——	🔔 呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	操作メニューに戻ります。

▽編集メニュー（トップメニューで編集を選択すると表示）



編集メニュー	サブメニュー	機能
全選択	——	カーソルのあるページ又はテキスト入力欄の内容を、全選択状態にします。
コピー	——	選択状態にあるテキスト等をクリップボードにコピーします。
切取	——	選択状態にあるテキスト等をクリップボードにコピーして、本文から削除します。
貼付	——	クリップボードの内容を、カーソル位置に貼り付けます。
アドレスコピー	——	IE のアドレス欄に表示されている内容を、クリップボードにコピーします。
文字	——	文字盤を表示し、文字入力を行える状態にします。
戻る	——	トップメニューに戻ります。



補足

編集メニューの対象エリア

編集メニューは、アドレスバーやメニューバーよりも下の、コンテンツエリアが対象となります。編集メニュー表示前にアドレス/検索欄にカーソルがある場合は、コンテンツエリアにフォーカスが移動します。

Windows 操作

- Windows 操作画面:「伝の心」トップ画面のメインメニューで[応用操作]—[Windows 操作]を選択するとこの画面が表示されます。

▼トップメニュー

The screenshot shows the Windows operation interface. On the left is a vertical top menu with options: 基本マウス, 拡張マウス, 文字, アイコン, 画面操作, 画面切替, ソフト, LINE, 呼音, 終了. In the center is a sub-menu with options: 外部プログラム-1, 外部プログラム-2, 外部プログラム-3, 戻る. On the right are two panels: the '画面操作メニュー' (Screen Operation Menu) with options like 閉じる, はい, いいえ, 保存する, キャンセル, 最大化, 最小化, 画面移動, カーソル, 戻る; and the 'アイコンスキャンメニュー' (Icon Scan Menu) with options: 実行, ↑, ↓, 戻る.

トップメニュー	サブメニュー	機能
基本マウス	———	マウス操作盤を表示します。(注 18)
拡張マウス	———	マウス操作盤を表示します。(注 18)
文字	———	文字盤を表示し、文字入力を行える状態にします。
アイコン	———	アイコンスキャンメニューに切り替えます。(注 19)
画面操作	———	画面操作メニューを表示します。(注 19)
画面切替	———	現在実行中のアプリケーションを順次選択します。次のスイッチ入力まで動作を継続します。
ソフト	外部プログラム1	登録されているプログラムを起動します。
	外部プログラム2	
	外部プログラム3	
LINE	———	LINE を起動し、LINE 操作画面を表示します。(注 19)
呼音	———	🔊 呼び出し音を鳴らします。
終了	———	Windows 操作画面を閉じます。



参照

(注18) 基本と拡張の違いは、マウス操作盤のサブメニューのみです。
 (注19) 詳細については、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照ください。

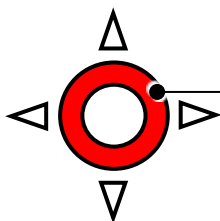


制限

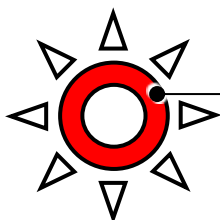
操作するアプリによっては、操作ができない場合もあります。
 初回起動時にその旨を表示した「承諾して起動しますか？」のメッセージ表示がありますので、[はい]を選択すると Windows 操作が起動します。[いいえ]を選択するとメインメニューに戻りますのでご注意ください。

- **マウス操作盤**: Windows 操作画面のメインメニューで[基本マウス]または[拡張マウス]を選択するとこの操作盤が表示されます。
また、ブラウザ操作画面編集メニューで[拡張マウス]を選択してもこの画面が表示されます。

▼マウス操作盤(4方向)



▼マウス操作盤(8方向)



▼サブメニュー(基本マウス)

左クリック
左ダブル
スクロールボタン上(連続)
スクロールボタン下(連続)
右クリック
ドラッグ
低速→高速
移動
戻る

▼サブメニュー(拡張マウス)

左クリック
左ダブル
スクロールボタン上(連続)
スクロールボタン下(連続)
右クリック
ドラッグ
文字盤
頁上
頁下
決定
Shift+左クリック
Ctrl+左クリック
低速→高速
移動
戻る

マウス操作盤	サブメニュー	機能
△ ▷ ▽ ◁	——	次のスイッチ入力まで、マウスカーソルを連続して移動します。 △: 上方向 ▷: 右方向 ▽: 下方向 ◁: 左方向
▽ ◁ △ ▷	——	次のスイッチ入力まで、マウスカーソルを連続して移動します。 ▽: 左上方向 ◁: 右上方向 △: 左下方向 ▷: 右下方向 (注 20)
	左クリック	現在位置で左クリックを行います。
	左ダブル	現在位置で左ダブルクリックを行います。
	スクロールボタン	再度スイッチ入力するまで、スクロールボタンに対応している画面でウィンドウが上にスクロールします。

マウス操作盤	サブメニュー	機能
	上(連続)	
	スクロールボタン 下(連続)	再度スイッチ入力するまで、スクロールボタンに対応している画面でウィンドウが下にスクロールします。
	右クリック	現在位置で右クリックを行います。
	ドラッグ	マウスのドラッグが開始されます。次回[◎]を選択するまでドラッグは続きます。[◎]の選択でドロップになります。
	文字盤	文字盤を表示します。
	頁上	カーソルのある画面の表示内容を上方向にスクロールします。
	頁下	カーソルのある画面の表示内容を下方向にスクロールします。
	Shift+左クリック	現在位置で「Shift」キーを押しながら左クリックを行います。
	Ctrl+左クリック	現在位置で「Ctrl」キーを押しながら左クリックを行います。
	決定	現在位置で「Enter」キーを入力します。
	低速→高速 (高速→低速)	マウスカーソルの移動速度を低速から高速(低速から高速)にします。
	移動	サブメニューを閉じます。
	戻る	マウス操作盤を閉じます。

**制限**

(注20)ご使用の「伝の心」の設定によっては、表示されません。詳細は、76 ページの「マウス操作の設定」にて説明します。

**補足**

マウス操作盤は、実際の表示は黒枠の表示はありませんが、色付きの部分以外は透明なので、説明の都合上、黒枠をつけて示しています。

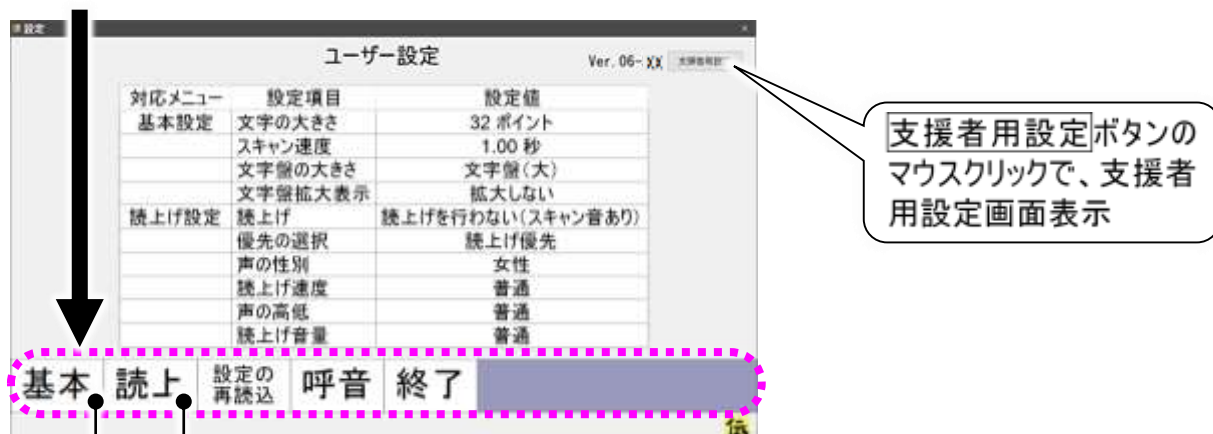
**制限**

マウス操作盤の対象となるアプリによっては、実際のマウス操作と同じ動作を行わない場合があります。

伝の心 設定

- ユーザー設定画面:「伝の心」トップ画面のメインメニューで[設定] を選択するとこの画面が表示されます。

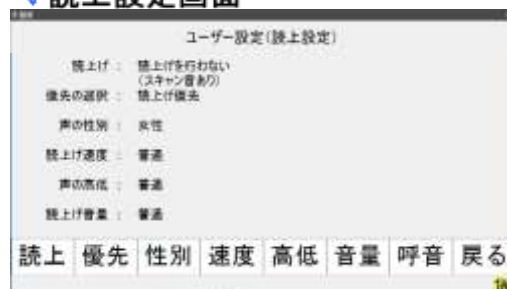
▽トップメニュー



▽基本設定画面



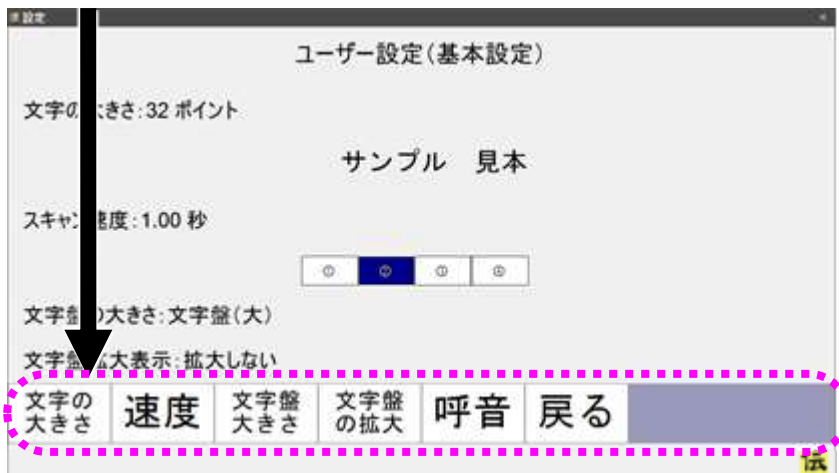
▽読上設定画面



トップメニュー	サブメニュー	機能
基本	——	基本設定画面を表示します。
読上	——	読上設定画面を表示します
設定の再読込	——	編集集中の設定を破棄し、設定ファイルから現在使用中の設定を読み込みます。
呼音	——	🔊呼び出し音を鳴らします。
終了	——	伝の心設定画面を閉じます。

- 基本設定画面: 伝の心設定画面のメインメニューで[基本] を選択するとこの画面が表示されます。

▼ 基本設定メニュー



基本設定メニュー	サブメニュー	機能
文字の大きさ(注21)	——	文字の大きさ選択画面を表示します。 文書の表示文字の大きさを設定できます。
速度(注22)	——	スキャン速度選択画面を表示します。 スキャンカーソルの移動速度を設定できます。
文字盤大きさ(注23)	——	文字盤の大きさ選択画面を表示します。 文字盤の表示サイズを設定できます。
文字盤の拡大 (注24)	——	文字盤の拡大選択画面を表示します。 文字盤の選択文字の一部拡大を設定できます。
呼音	——	🔔 呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	伝の心設定画面に戻ります。



参照

(注21) 詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「文書の表示文字の大きさ」を参照ください。

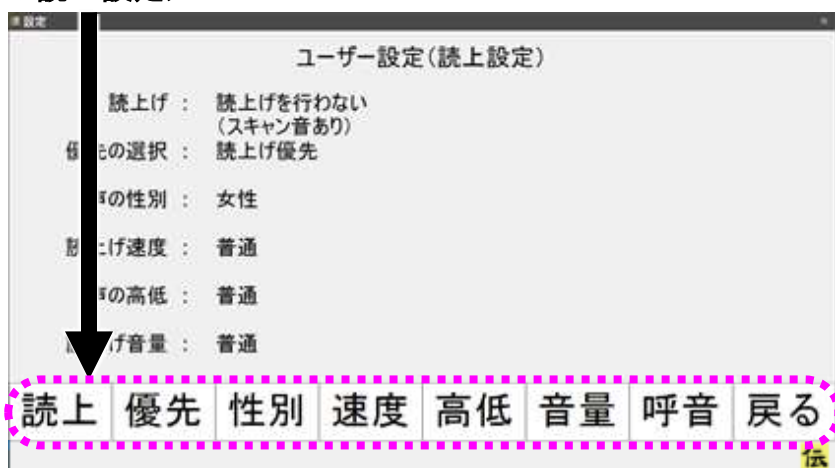
(注22) 詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「文字盤やメニューリストの移動間隔」を参照ください。

(注23) 詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「文字盤の大きさ」を参照ください。

(注24) 詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「文字盤の拡大表示」を参照ください。

- 読上設定画面: 伝の心設定画面のメインメニューで「読上」を選択するとこの画面が表示されます。

▼ 読上設定メニュー



読上設定メニュー	サブメニュー	機能
読上(注25)	——	読上選択画面を表示します。 読み上げの有無を設定できます。
優先(注26)	——	読上方式選択画面を表示します。 読み上げ／スキャン間隔の優先の切替設定ができます。
性別(注27)	——	声の性別選択画面を表示します。 読み上げる音声の性別を設定できます。
速度(注28)	——	読上速度選択画面を表示します。 読み上げの速度を設定できます。
高低(注29)	——	声の高さ選択画面を表示します。 読み上げる音声の高さを設定できます。
音量(注30)	——	読上音量選択画面を表示します。 読み上げる音声の大きさを設定できます。
呼音	——	🔊 呼び出し音を鳴らします。
戻る	——	伝の心設定画面に戻ります。



参照

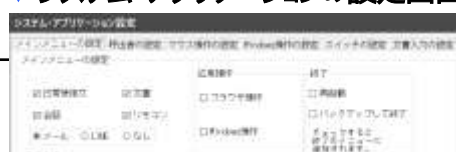
- (注25) 詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「読み上げの設定」を参照ください。
- (注26) 詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「読み上げ優先／スキャン間隔優先の切替」を参照ください。
- (注27) 詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「声の性別」を参照ください。
- (注28) 詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「読み上げ速度」を参照ください。
- (注29) 詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「声の高さ」を参照ください。
- (注30) 詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「声の大きさ」を参照ください。

- 支援者用設定画面：伝の心設定画面で「支援者用設定」ボタンをマウスクリックするとこの画面が表示されます。

▽ボタンメニュー



▽システム・アプリケーションの設定画面



▽保守ツール画面



▽定型句編集画面



▽日常使用文編集画面



▽リモコン設定画面



▽メール設定画面



▽印刷設定画面



ボタンメニュー	サブメニュー	機能
システム・アプリケーション設定	——	🔗 システム・アプリケーション設定画面を表示します。(注 31)
定型句編集	——	🔗 定型句編集画面を表示します(注 31)
日常使用文編集	——	🔗 日常使用文編集画面を表示します。(注 31)
印刷設定	——	🔗 印刷設定画面を表示します。(注 32)
メール設定	——	🔗 メール設定画面を表示します。(注 33)
リモコン設定	——	🔗 リモコン設定画面を表示します。(注 34)
保守ツール	——	🔗 保守ツール画面を表示します。



参照

(注31) 詳細については、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「伝の心を使いやすくする②-支援者用設定-」を参照ください。

(注32) 詳細については、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「文章をプリンタで印刷する」を参照ください。

(注33) 詳細については、『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照ください。

(注34) 詳細については、『伝の心リモコン登録スタートガイド』を参照ください。

- システム・アプリケーション設定画面：支援者用設定画面で「システム・アプリケーション設定」ボタンをマウスクリックするとこの画面が表示されます。

▼メインメニューの設定（「メインメニューの設定」タブを選択すると表示）

システム・アプリケーション設定

メインメニューの設定

呼出音の設定

マウス操作の設定

Windows操作の設定

スイッチの設定

文書入力の設定

バックアップの設定

☒ 日常使用文
☒ 文書

☒ 会話
☒ リモコン

☒ メール
☐ LINE

表示方法

☐ メインメニューを1列で表示します。

応用操作

☐ ブラウザ操作

☐ Windows操作

終了

☐ 再起動

☐ バックアップして終了

チェックすると終了のメニューに追加されます。

起動の設定

☒ メインメニューから起動

☐ 最後に使用した機能から起動

☐ 指定した機能から起動

日常使用文

出荷時設定

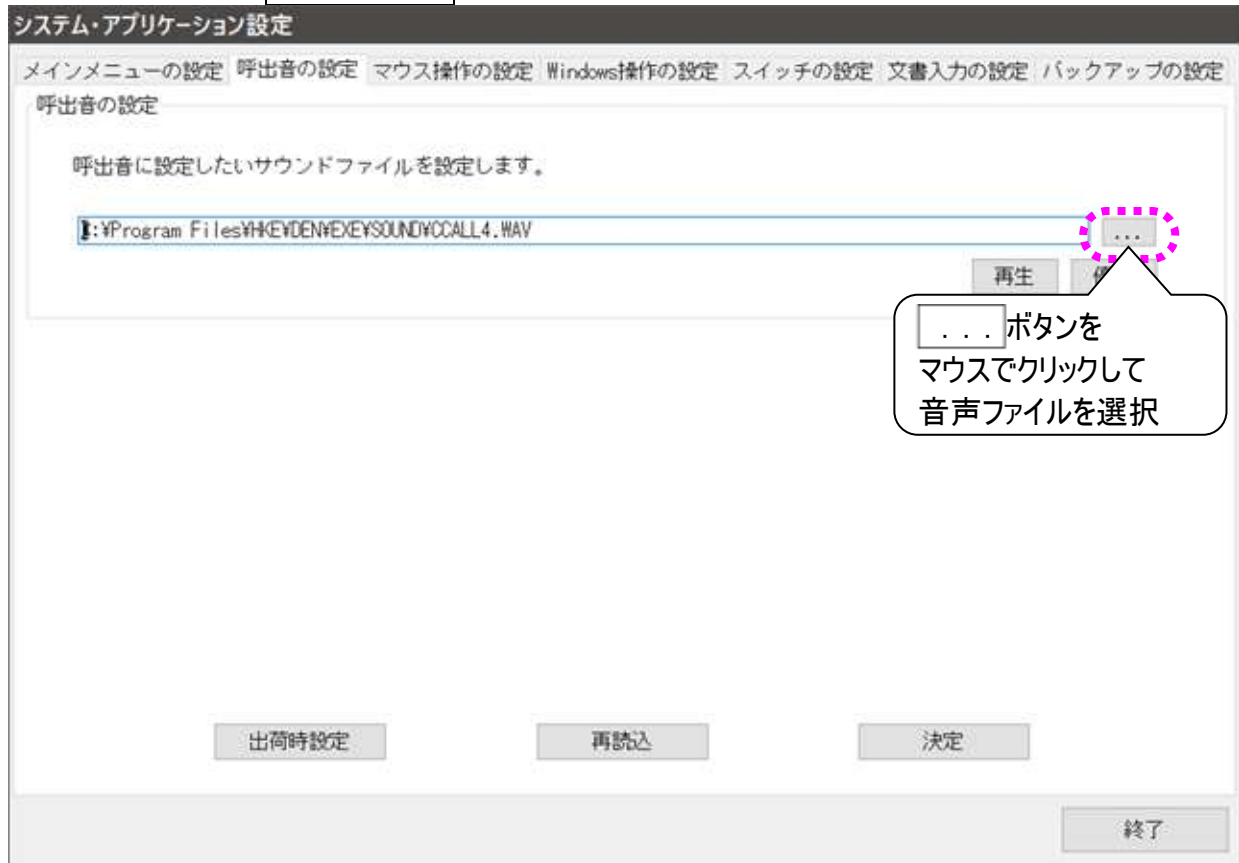
再読み込み

決定

終了

項目	サブメニュー	機能
メインメニューの設定	———	チェック ☒ を入れた項目がメインメニューに表示されます。
表示方法	———	チェック ☒ を入れると、メインメニューを縦 1 列で表示します。
起動の設定	———	「伝の心」起動時に最初に表示される画面選択することができます。

▽呼出音の設定（呼出音の設定タブを選択すると表示）



項目	サブメニュー	機能
呼出音の設定	——	「伝の心」メニューの[呼音]で再生される音声ファイルの指定ができます。



警告

呼び出し音の機能を、ナースコールなど生命維持に関わる用途や医療補助具等としての用途に使用しないでください。万一事故などが発生した場合には、当社は一切の責任を負いかねます。



注意

無音の呼び出し音について

「C:\Program Files\HKEYDEN\SOUND」フォルダ内には、「null.wav」という無音の呼び出し音も用意されています。呼び出し音の機能を使用しない場合は、この音声ファイルをご使用ください。

（各画面で[呼音]を選択すると「ただいま呼び出し中です」画面は表示されますが、呼び出し音は鳴りません。）

また、間違えて「null.wav」を選択すると、呼び出し音は鳴りませんのでご注意ください。



補足

日常使用文の呼び出し音について

日常使用文画面での[呼音]は、日常使用文設定画面で個別に設定可能です。逆に、ここで呼出し音の設定を行っても、日常使用文画面での[呼音]は変更されません。

日常使用文画面での[呼音]は日常使用文設定画面で設定してください。

▼マウス操作の設定（マウス操作の設定タブを選択すると表示）

システム・アプリケーション設定

メインメニューの設定 呼出音の設定 **マウス操作の設定** Windows操作の設定 スイッチの設定 文書入力の設定 バックアップの設定

マウス移動設定

移動速度 2

加速倍率 3

加速突入距離 100

マウス移動方向設定

☒ 4方向

☐ 8方向

マウスポインタが画面の端まで移動したら

☐ 折り返す

☒ 停止する

出荷時設定 再読込 決定

終了

[移動速度]はマウス操作盤の初期移動速度
[加速突入距離]移動したら、
[移動速度] × [加速倍率]の速度に変更

[4方向]: 上・下・左・右
[8方向]: 上・下・左・右・右上・右下・左上・左下

[折り返す]または[停止する]を選択

▽ Windows 操作の設定 (Windows 操作の設定タブを選択すると表示)

システム・アプリケーション設定

メインメニューの設定 呼出音の設定 マウス操作の設定 **Windows操作の設定** スイッチの設定 文書入力の設定 バックアップの設定

外部起動プログラム 1

表示名称 ☐ 伝の心を非表示にする

実行ファイルパス ...

外部起動プログラム 2

表示名称 ☐ 伝の心を非表示にする

実行ファイルパス ...

外部起動プログラム 3

表示名称 ☐ 伝の心を非表示にする

実行ファイルパス ...

出荷時設定 再読込 決定

終了

メニューに表示する名前を入力

... ボタンをマウスでクリックして、登録するプログラムを選択

項目	サブメニュー	機能
外部起動プログラム1	——	「Windows 操作」画面のトップメニュー[ソフト]で表示されるサブメニューの一番上の項目の設定ができます。
外部起動プログラム2	——	「Windows 操作」画面のトップメニュー[ソフト]で表示されるサブメニューの真ん中の項目の設定ができます。
外部起動プログラム3	——	「Windows 操作」画面のトップメニュー[ソフト]で表示されるサブメニューの一番下の項目の設定ができます。



注意

[伝の心を非表示にする]設定について

[伝の心を非表示にする]にチェックを入れると、ウィンドウズ操作画面のトップメニューの[ソフト]にて呼び出した際に、ウィンドウズ操作メニューを非表示にします。呼び出したアプリが終了しないと、ウィンドウズ操作メニューが表示できません。またその間スイッチでの操作はできませんのでご注意ください。

この設定は、「伝の心」のスイッチ以外でウィンドウズ操作を行うアプリを[ソフト]に登録した場合などにご利用ください。

▼スイッチの設定（スイッチの設定タブを選択すると表示）

システム・アプリケーション設定

メインメニューの設定 呼出音の設定 マウス操作の設定 Windows操作の設定 **スイッチの設定** 文書入力の設定 バックアップの設定

スイッチ入力監視時間の設定

スイッチ入力無効時間 0.00 (秒)

スイッチ押し続け監視 10 (秒)

横方向スキャン周回数

周回数 2 (回)

スイッチ入力点数の設定

スイッチ入力点数 1 (2点スイッチの場合、手動スキャンでスイッチが2個必要です)

スイッチ機能の割り当て 「決定」スイッチ 「送り」スイッチ

1 2

外部出力の設定

外部出力の有無を設定します。(全角,半角問わず10文字)出力時間を設定します。(100~6000ms) 呼音連動有無を設定します。

☐ 外部出力1 [2] 3000 連動なし

☐ 外部出力2 [3] 3000

☐ 外部出力3 [4] 3000

出荷時設定 再読込 決定

終了

項目	サブメニュー	機能
スイッチ入力無効時間	——	設定した時間内に何回スイッチを押しても 1 回と数えます。
スイッチ押し続け監視	——	設定した時間内スイッチを押し続けると警告音が鳴ります。
横方向スキャン周回数	——	設定した回数、列スキャンを繰り返します。
スイッチ入力点数		1 点スイッチによる自動スキャン入力か、2 点スイッチによる手動スキャン入力か、選択できます。
スイッチ機能の割り当て	決定スイッチ	2 点スイッチによる手動スキャンの場合、選択・決定を行うスイッチのポート番号です。
	送りスイッチ	2 点スイッチによる手動スキャンの場合、スキャンを次に送るスイッチのポート番号です。
外部出力の設定		チェック☑を入れた項目がメインメニューの応用操作サブメニューに表示されます。



補足

スイッチ抜けの監視について

「伝の心」では、なんでもスイッチが認識できない場合、スイッチが押し続けの場合と同様に、警告音を鳴らすように設定されています。

 注意	外部出力の設定について なんでもスイッチをなんでもスイッチプラスに変更すると、スイッチ接続ポート(入力ポート)を外部出力ポートに変更することができます。なんでもスイッチプラスのディップスイッチの設定で、出力ポートを増減可能です。詳細については、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照ください。
 制限	外部装置の設定 呼び鈴などの外部装置はお客様でご用意願います。外部装置をご使用になる場合は、それぞれの機器について設定が必要な場合があります。呼び鈴などの外部装置の不明点は、ご購入先にお問い合わせください。また、外部装置の動作を保証するものではありませんので、ご注意願います。

▼ 文書入力の設定（**文書入力の設定**タブを選択すると表示）

システム・アプリケーション設定

メインメニューの設定 呼出音の設定 マウス操作の設定 Windows操作の設定 スイッチの設定 **文書入力の設定** バックアップの設定

文書入力の設定

☒ 定型句入力を使用する

定型句編集は、支援者用設定の定型句編集で行ってください。

☐ 予測入力を使用する

予測入力の詳細設定はMicrosoftのIMEで行ってください。
※予測入力と定型句入力を両方使用すると、候補リストの表示が重なる事があります。

定型句候補リスト表示の設定

☒ 定型句候補リストを文字盤 右上部に表示する

出荷時設定 再読み込み 決定

終了

項目	サブメニュー	機能
定型句入力を使用する	———	チェック☑を入れると、文字盤に[句]の表示が有効になり、[句]の選択により、定型句入力画面を表示可能です。 (※ご購入時は、チェック☑が入っています。)
予測入力を使用する	———	チェック☑を入れると、文字盤に[予]の表示が有効になり、[予]の選択により、予測入力パネルを表示可能です。 (※ご購入時は、チェック☑が入っていません。)
定型句候補リストを文字盤左上部に表示する	———	チェック☑を入れると、文書画面で文字盤を表示した場合、[句]の表示が文字盤にある時、定型句候補リストを文字盤左上部に表示します。 (※ご購入時は、チェック☑が入っています。)



注意

予測入力と定型句入力について

予測候補リストと定型句リストは同時に表示すると、互いにリストを隠し合います。予測入力と定型句入力を同時に使用する場合はご注意ください。



補足

予測入力の詳細設定について

Microsoft IME の詳細設定にて行えます。104 ページの「予測入力ができない／予測候補が表示されない」を参照してください。

▽バックアップの設定（バックアップの設定タブを選択すると表示）

システム・アプリケーション設定

メインメニューの設定 呼出音の設定 マウス操作の設定 Windows操作の設定 スイッチの設定 文書入力の設定 **バックアップの設定**

ユーザーデータのバックアップ

バックアップはシステム終了時に次の指定された間隔で行います。

☐ 毎回行う
☐ 一日一回行う
☒ 一週間に一回行う
☐ 行わない

バックアップは、指定されたメディアに行います。

☒ 内蔵HDD
☐ USBメモリ(別途用意)
 バックアップ回数 回(2~20回)

会話ログ

会話のログ取得を設定します。

☒ 行う
☐ 行わない

出荷時設定 再読込 決定

終了

項目	サブメニュー	機能
ユーザーデータのバックアップ	——	「伝の心」終了時、選択した設定でユーザーデータをバックアップします。
会話ログ	——	会話のログの保存を行うか行わないかを選択します。 (出荷時は会話のログの保存を行う設定になっています。)



補足

バックアップ先ドライブについて

出荷時設定のバックアップ先は、Cドライブです。バックアップ先を「USBメモリ」に設定した場合は、書込み可能なリムーバブルメディアが装着されているドライブの内、アルファベット順で最初のものになります。



制限

伝の心のユーザーデータをバックアップする機能は、バックアップメディアのデータを保証するものではありません。バックアップメディアに記録されたデータの破壊、消失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



制限

バックアップデータがUSBメモリの容量よりも大きくなった場合は、別途容量の大きいUSBメモリをご購入ください。但し、お客様がご購入されたUSBメモリに関する保証は、いかなる場合もその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



制限

DVDにバックアップされたデータをリストアすると、ユーザーデータの属性が「読み取り専用」になってしまうので、DVDにユーザーデータをバックアップしないでください。

文字盤一覧

「伝の心」の文字盤は「伝の心」各画面から共通に呼び出せます。ここでは、その機能の一覧を記載します。

■ ひらがな文字盤（各文字盤で **盤** → **ひらがな文字盤** を選択すると表示）

■ カタカナ文字盤（各文字盤で **盤** → **カタカナ文字盤** を選択すると表示）

句	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
漢	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を
削	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん
改	え	け	せ	て	ね	へ	め	、	れ	ー
川	お	こ	そ	と	の	ほ	も	。	ろ	記
戻	盤	移	編	予	時	頁	削	空	送	顔
⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄

句	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
漢	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ
削	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン
改	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	、	レ	ー
川	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	。	ロ	記
戻	盤	移	編	予	時	頁	削	空		全
⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄

ボタン 表示名	サブメニュー	機能
句	———	未確定文字列が存在し、定型句候補が存在する場合、 定型句入力画面を表示します。(注 35)(注 42) 未確定文字列なし、定型句候補なしの場合は、何もしません。
漢	———	文字盤を漢字変換パネルへ切り替えます。(注 36)
予	———	文字盤を予測入力パネルへ切り替えます。(注 37)
削	一文字削除 右(Del)	カーソルの右側の文字を1文字削除します。(Delete キー相当)
	一文字削除 左(BS)	カーソルの左側の文字を1文字削除します。(BS キー相当)
	連続削除 右(Del)	カーソルの右側の文字を次のスイッチ入力まで連続して削除します。(Delete キー相当)
	連続削除 左(BS)	カーソルの左側の文字を次のスイッチ入力まで連続して削除します。(BS キー相当)
	全文削除	編集集中の文書を全部削除します。
	元に戻す	編集操作の一つ前の状態に戻ります。
改	改行	改行を行います。次の文字から行を変えたい時に使います。未 確定文字列がある場合は確定を行います。
	改行2回	改行を2回行います。 未確定文字列がある場合は確定+改行を行います。

ボタン 表示名	サブメニュー	機能
	——	入力中の未確定文字列を読み上げます。未確定文字列がない場合は、文字盤を読み上げ画面へ切り替え、確定文字列の読み上げが行われます。(注 38)(注 43)
戻	——	未確定文字列を確定して、文字盤を終了します。
⇄	——	スキャン方向を切り替えます。(反転させる)
盤	会話文字盤	文字盤を会話文字盤へ切り替えます。
	ひらがな文字盤	文字盤をひらがな文字盤へ切り替えます。
	カタカナ文字盤	文字盤をカタカナ文字盤へ切り替えます。
	英字文字盤	文字盤を英字文字盤へ切り替えます。
	インターネット文字盤	文字盤をインターネット文字盤へ切り替えます。
	数字文字盤	文字盤を数字文字盤へ切り替えます。
	記号文字盤	文字盤を記号文字盤へ切り替えます。
	文字盤のサイズ変更	1回選択する毎に、大→中→小の順に文字盤サイズを切り替えます。
	文字盤の移動	文字盤の表示位置を上下に切り替えます。 (ブラウザ操作画面と Windows 操作画面のみで機能します。)
移	——	文字盤を移動パネルに切り替えます。(注 39)
編	——	文字盤を編集パネルへ切り替えます。(注 40)
時	——	日時入力画面を表示します。(注 41) 現在のシステム日時を選択・入力できます。
頁	——	改ページ記号(📄)を入力します。(注 43)
空	空	スペースを 1 個入力します。
	空連続	次のスイッチ入力まで連続してスペースを入力します。
送	——	一発メール送信画面を表示します。(注 42)
全 半	——	全角モード⇄半角モードを切り替えます。
記	? ! ~ ・ .	表示文字を入力します。



参照

(注35) 定型句入力画面の詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照ください。

(注36) 漢字変換パネルは後述の「漢字変換パネル」を参照してください。

(注37) 予測入力パネル後述の「予測入力パネル」を参照してください。

(注38) 読み上げ画面は 36 ページの「読み上げ画面」を参照してください。

(注39) 移動パネルは後述の「移動パネル」を参照してください。

(注40) 編集パネルは後述の「編集パネル」を参照してください。

(注41) 日時入力画面の詳細については『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照ください。

(注42) [送]の機能は、文書画面のみ有効です。49 ページの「一発メール送信画面」を参照ください。



補足

表に記載されていないボタンは全て、ボタン表示文字を入力します。

(注43) ブラウザ操作画面と Windows 操作画面では、[頁]は無効、[読み上げ]は読み上げ画面へ切り替えしません。また[句]、[読み上げ]が無効な場合もあります(※文字の入力対象によって異なります)。

■ インターネット文字盤（各文字盤で「**盤**」→「インターネット文字盤」を選択すると表示）

■ 会話文字盤（各文字盤で「**盤**」→「会話文字盤」を選択すると表示）

句	a	f	k	p	u	@	.co.jp	.com	;	,
削	b	g	l	q	v	http://	.ne.jp	.net	:	.
改	c	h	m	r	w	https://	.go.jp	.org	#	—
㊦	d	i	n	s	x	www.	.ac.jp	.com	/	?
IE	e	j	o	t	y	.jp	.or.jp	.edu	*	!
戻	盤	移	編	削	z	~	^	_	1-5	6-0
⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん
え	け	せ	て	ね	へ	め	、	れ	—
お	こ	そ	と	の	ほ	も	。	ろ	記
戻	盤	㊦	削	時	改	顔	空	1-5	6-0
⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄

ボタン 表示名	サブメニュー					機能
1-5 (注 45)	1	2	3	4	5	表示文字を入力します。
	戻る					サブメニューを閉じます。
6-0 (注 45)	6	7	8	9	0	表示文字を入力します。
	戻る					サブメニューを閉じます。
顔 (注 46)	(*^.*^)					表示文字を入力します。(嬉しい)
	(-_-#)					表示文字を入力します。(青筋)
	(T_T)					表示文字を入力します。(泣き顔)
	(^o^)					表示文字を入力します。(笑顔)
	(;° ▽ °)					表示文字を入力します。(驚き)
	戻る					サブメニューを閉じます。
IE (注 47)	検索					IE 画面の検索欄にカーソルを移動します。(注 44)
	アドレス					IE 画面のアドレス欄にカーソルを移動します。(注 44)
	戻る					サブメニューを閉じます。



補足

(注44)IE＝インターネットエクスプローラ

(注45)インターネット文字盤と会話文字盤にのみあります。

(注46)会話文字盤とひらがな文字盤にのみあります。

(注47)インターネット文字盤のみあり、ブラウザ操作画面の操作時のみ表示されます。



補足

会話文字盤の[空]はブラウザ操作画面で使用できない場合があります、その場合は表示されません。

■ LINE 文字盤(Windows 操作画面で[LINE]を選択すると表示)



ボタン 表示名	サブメニュー	機能
決	——	LINE 操作画面の表示文字を、LINE に転送します。
	↑	LINE の友だちリストを表示します。次のスイッチ入力まで連続して、友だちの選択位置を上または下へ順次カーソル移動していきます。
	↓	
	戻る	サブメニューを閉じます。
	先頭	LINE のトークルームリストを表示し、先頭に表示されたトークルームを選択します。
	↑	LINE のトークルームリストを表示します。次のスイッチ入力まで連続して、トークルームの選択位置を上または下へ順次カーソル移動していきます。
	↓	
	末尾	LINE のトークルームリストを表示し、末尾に表示されたトークルームを選択します。
	戻る	サブメニューを閉じます。
	——	LINE の友だち追加リストを表示します。
	——	基本マウス操作盤を表示して、LINE 文字盤を非表示にします。(基本マウス操作盤を終了させると、LINE 文字盤が表示されます。)
	——	LINE のタイムライン画面を表示します。
	——	LINE のスタンプリストを表示し、基本マウス操作盤を表示します。LINE 文字盤は非表示になります。(基本マウス操作盤を終了させると、LINE 文字盤が表示されます。)



参照

LINE 文字盤の使い方については、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「コミュニケーションアプリ LINE(ライン)を使う」を参照ください。

- 漢字変換パネル（各文字盤で漢を選択すると表示）
- 文節変換パネル（漢字変換パネルで文節変換を選択すると表示）

確定	確定	確定
変換	変換	変換
前候補	前候補	前候補
文節変換	文節変換	文節変換
戻る	戻る	戻る

確定	文節 左へ	確定	文節 左へ
変換	文節 右へ	変換	文節 右へ
前候補	文節 短く	前候補	文節 短く
部分確定	文節 長く	部分確定	文節 長く
戻る	取消	戻る	取消
⇄	⇄	⇄	⇄

ボタン 表示名	サブメニュー	機能
⇄	——	スキャン方向を切り替えます。（反転させる）
確定	——	入力・変換中の未確定文字列を確定し、元の文字盤に戻ります。
変換	——	次の変換候補を表示します。次のスイッチ入力まで連続して、次の変換候補へ順次カーソル移動していきます。
前候補	——	前の変換候補を表示します。次のスイッチ入力まで連続して、前の変換候補へ順次カーソル移動していきます。
文節変換	——	文節変換パネルを表示します。
戻る	——	元の文字盤へ戻ります。
文節 左へ	——	変換対象を示す注目文節を前（左）の文節に移動します。
文節 右へ	——	変換対象を示す注目文節を次（右）の文節に移動します。
文節 短く	——	変換対象を示す注目文節を（右側から）短くします。
文節 長く	——	変換対象を示す注目文節を（右側へ）長くします。
取消	——	変換操作を取り消します。
部分確定	——	変換対象を示す注目文節のみ確定します。（注 48）



参照

漢字変換パネルの使用例は、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「詳細な漢字変換を行う(文節変換)」を参照ください。



補足

(注48)[部分確定]はブラウザ操作画面で使用できない場合があります、その場合は表示されません。

■ 予測入力パネル機能一覧（各文字盤で「予」を選択すると表示）

確定	確定	確定
次候補	次候補	次候補
前候補	前候補	前候補
候補非表示	候補非表示	候補非表示
戻る	戻る	戻る

ボタン 表示名	サブメニュー	機能
確定	——	選択している予測候補を確定し、元の文字盤に戻ります。
次候補	——	次の予測候補を表示します。次のスイッチ入力まで連続して、次の予測候補へ順次カーソル移動していきます。
前候補	——	前の予測候補を表示します。次のスイッチ入力まで連続して、前の予測候補へ順次カーソル移動していきます。
候補非表示	——	選択している予測候補をリストから非表示にします。
戻る	——	元の文字盤へ戻ります。



参照

予測入力パネルの使用例は、、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「予測入力を使う」に記載されています。



制限

予測入力パネルは、ブラウザ操作画面で使用できません。（文字盤の「予」ボタンが非表示になります。）

■ 移動パネル（各文字盤で「移」を選択すると表示）

←（左）	連続 ←（左）	文書先頭
→（右）	連続 →（右）	←（行末）
↑（上）	連続 ↑（上）	→ （行末）
↓（下）	連続 ↓（下）	文書末尾
戻る		
↔	↔	↔

ボタン 表示名	サブメニュー	機能
↔	——	スキャン方向を切り替えます。（反転させる）
←（左）	——	入力カーソルを左へ移動します。
→（右）	——	入力カーソルを右へ移動します。
↑（上）	——	入力カーソルを上へ移動します。
↓（下）	——	入力カーソルを下へ移動します。
戻る	——	元の文字盤へ戻ります。
連続 ←（左）	——	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して左へ移動します。
連続 →（右）	——	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して右へ移動します。
連続 ↑（上）	——	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して上へ移動します。
連続 ↓（下）	——	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して下へ移動します。
文書先頭	——	入力カーソルを文頭に移動します。
←（行頭）	——	入力カーソルを行頭に移動します。
→ （行末）	——	入力カーソルを行末に移動します。
文書末尾	——	入力カーソルを文末に移動します。



参照

移動パネルの使用例は、『伝の心取扱説明書（電子マニュアル）』の「文字を削除する」を参照ください。

■ 編集パネル（各文字盤で編を選択すると表示）

コピー	範連 ←	←	連続 ←	文書 先
切取り	範連 →	→	連続 →	← (行)
貼付け	範連 ↑	↑	連続 ↑	→ (行)
元に戻	範連 ↓	↓	連続 ↓	文書 末
戻る	範囲 全	範 行頭	範 行末	
↔	↔	↔	↔	↔

ボタン 表示名	サブ メニュー	機能
↔	——	スキャン方向を切り替えます。（反転させる）
コピー	——	選択文字列をクリップボードにコピーします。
切取り	——	選択文字列をクリップボードにコピーし、本文中より削除します。
貼付け	——	クリップボード内の情報を現カーソル位置に貼り付けます。
元に戻	——	編集操作前の状態に戻ります。
戻る	——	元の文字盤へ戻ります。
範連 ←	——	次のスイッチ入力まで、カーソルを連続して左へ移動して、範囲選択します。
範連 →	——	次のスイッチ入力まで、カーソルを連続して右へ移動して、範囲選択します。
範連 ↑	——	次のスイッチ入力まで、カーソルを連続して上へ移動して、範囲選択します。
範連 ↓	——	次のスイッチ入力まで、カーソルを連続して下へ移動して、範囲選択します。
範囲 全	——	文書全体を範囲選択します。
←	——	入力カーソルを左へ移動します。
→	——	入力カーソルを右へ移動します。
↑	——	入力カーソルを上へ移動します。
↓	——	入力カーソルを下へ移動します。
範 行頭	——	現カーソル位置から、行頭までを範囲選択します。
連続 ←	——	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して左へ移動します。
連続 →	——	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して右へ移動します。
連続 ↑	——	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して上へ移動します。
連続 ↓	——	次のスイッチ入力まで、入力カーソルを連続して下へ移動します。
範 行末	——	現カーソル位置から、行末までを範囲選択します。
文書 先	——	入力カーソルを文頭に移動します。
←(行)	——	入力カーソルを行頭に移動します。
(行)→	——	入力カーソルを行末に移動します。
文書 末	——	入力カーソルを文末に移動します。



参照

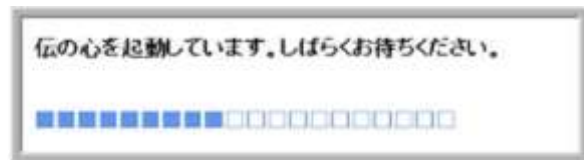
編集パネルの使用例は、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「範囲指定の操作方法」を参照ください。

電源を入れる/切る

■ 電源を入れる

- 1** 周辺機器（プリンターやモニタ）の電源がすべて ON になっていることを確認します。
- 2** 初めて使う場合や、機器の交換を行った場合は、正しく接続されているかご確認ください。
- 3** システム装置の電源ボタンを押します。
ご使用になる「伝の心」の型式によって、電源ボタンの位置は違います。
詳しくは、添付資料（伝の心支援者向け 接続の仕方）をご覧ください。

- 4** システム装置が起動し、伝の心が自動起動します。起動中は右記画面を表示します。



- 5** 伝の心が起動すると、右記「伝の心」トップ画面が表示されます。



制限

ご使用の「伝の心」の設定によっては、表示されないメニューもあります。



補足

メニューの表示/非表示

メニューの表示/非表示の設定は、システム・アプリケーション設定画面にて行います。

システム・アプリケーション設定画面の表示方法は「伝の心」トップ画面にて、[設定]を選択し、伝の心設定画面にて支援者用設定ボタンをマウスクリック、さらに支援者用設定画面にて、システム・アプリケーション設定ボタンをマウスクリックして表示します。（詳細については、『伝の心取扱説明書（電子マニュアル）』を参照ください。）

■ 電源を切る

1

「伝の心」トップ画面にて、[設定
呼音 終了]列を選択し、さらに
[終了]を選択します。



2

サブメニューが表示されるので、
[終了 (電源断)]を選択します。

3

右記確認メッセージが表示される
ので、[はい]を選択します。



4

「伝の心」が終了して、システム装置
の電源が切れます。

ユーザーデータバックアップ中の表示

伝の心終了時、下記のような画面が表示される場合があります。



補足

ユーザデータをバックアップ中です。
しばらくお待ちください。

バックアップ終了後、電源が切れます。



この場合、ユーザーデータのバックアップを行っています。バックアップ終了後に電源が切れますので、暫くお待ちください。

ユーザーデータのバックアップの設定は、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』を参照ください。

電源を入れる/切る

困ったときには

「伝の心」を取り扱う上で、操作を間違えたり、うまく動かないと思った場合の対処法を説明します。

故障かなと思ったときには

スイッチで操作ができない

- スイッチは、なんでもスイッチ USB に正しく接続されていますか？

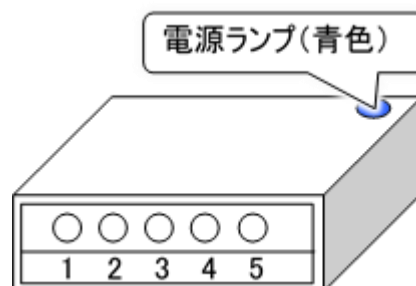
⇒なんでもスイッチ USB の1番のポートに接続します。

ケーブルを確認し、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。

- なんでもスイッチ USB はシステム装置の USB ポートに正しく接続されていますか？

⇒なんでもスイッチ USB の電源ランプ(青色)を確認してください。

ケーブルを確認し、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。



- なんでもスイッチ USB ユーティリティはタスクトレイにありますか？

⇒[スタート]→[すべてのプログラム]→[なんでもスイッチ USB]→[なんでもスイッチ USB ユーティリティ]の順に選択して、なんでもスイッチ USB ユーティリティを起動させてください。

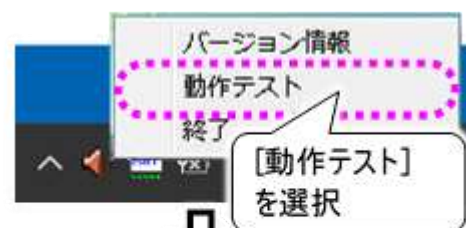


- 動作テストは問題ありませんでしたか？

⇒タスクトレイのなんでもスイッチ USB ユーティリティをマウスで右クリックして、[動作テスト]を選択してください。

スイッチ入力すると「1」が緑色に変わることを確認してください。

問題がある場合は、ケーブルを確認し、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。



- USB ケーブルを抜き差ししませんでしたか？

⇒プラグ & プレイに対応していますが、短い間隔で抜き差しをおこなうと、まれに動作しないことがあります。ゆっくりと抜いてから挿しなおすと復帰します。それでもうまく動かない時は、「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。



- システム装置側の USB ポートの故障かもしれません

⇒なんでもスイッチ USB は「伝の心」のどの USB ポートに接続しても動作可能になっています。今接続している USB ポートが故障している場合、別のポートに接続すると復帰します。

●お使いのスイッチは故障していませんか？

⇒なんでもスイッチ USB、USB ケーブル、システム装置に問題がない場合、なんでもスイッチ USB に接続されているスイッチが故障していることも考えられます。故障の判断が付かない場合は、スイッチのご購入先にご相談ください。

リモコンで機器の操作ができない

●「リモコンに問題が発生しました。接続を確認してください。」メッセージが表示されましたか？

⇒なんでもIR2 の電源ランプ(青色)を確認してください。

ケーブルを確認し、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。

●なんでも IR2 は正しく接続されていますか？

⇒なんでも IR2 の電源ランプ(青色)を確認してください。

ケーブルを確認し、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。

●リモコンの設定／登録は間違えていませんか？

⇒『伝の心リモコン登録スタートガイド』を参照して、設定や登録を確認してください。

●システム装置側の USB ポートの故障かもしれません

⇒なんでも IR2 は「伝の心」のどの USB ポートに接続しても動作可能になっています。今接続している USB ポートが故障している場合、別のポートに接続すると復帰します。

●リモコンの充電ユニットが寿命かもしれません。

⇒なんでもIR2 の充電ユニットの寿命は、使用状況にもよりますが、約 5 年です。

ご購入先にご連絡いただければ、充電ユニットの交換が可能です。(※別途有償)

※充電ユニットの交換によって、テレビ・ビデオなどの登録データ、パネルの設定等が消えることはありません。

ホームページの閲覧ができない

●インターネットの設定は間違えていませんか？

⇒ご使用のインターネットの設定を確認の上、正しい設定にして、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。

インターネットの設定方法は『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照ください。

●インターネットエクスプローラの設定は間違えていませんか？

⇒ご使用のインターネットの接続設定を確認の上、正しい設定にして、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。

インターネットの接続設定につきましては、ご契約先までお問い合わせください。

●ネットワークに接続できないことが原因かもしれません。

⇒「ネットワークに接続できない」を参照してください。

メールが送信／受信できない

●インターネットの設定は間違えていませんか？

⇒ご使用のインターネットの設定を確認の上、正しい設定にして、必要ならば「伝の心」の電源を切

故障かなと思ったときには

って、もう一度電源を入れて下さい。

インターネットの設定方法は『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照ください。

●メールアカウントの設定は間違えていませんか？

⇒ご使用のメールアカウントの設定を確認の上、正しい設定にして、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。

メールアカウントの設定方法は『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照ください。

●ネットワークに接続できないことが原因かもしれません。

⇒「ネットワークに接続できない」を参照してください。

●エラーメッセージが表示されませんでしたか？

⇒下記、対応表を参照してください。

エラーメッセージ	原因／対策
アカウント“ * * * ”読み込み時にエラーが発生しました。～	* * * はアカウント名、～はエラーの詳細です。 【原因】 アカウント設定ファイルが正しく設定されていない場合に発生します。 【対策】 「伝の心」のメール設定画面から、メールアカウントを再登録してください。
アカウントが登録されていません。	【原因】 メールアカウントが1つも作成されていません。 【対策】 『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照して、メールアカウントを登録してください。
受信に失敗しました。 アカウントの設定を確認してください。	【原因】 アカウントの設定が間違えています。 【対策】 『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照して、メールアカウント、パスワードが正しく設定されているか確認してください。
送信に失敗しました。 アカウントの設定を確認してください。	【原因】 ネットワークにつながっていない場合などが考えられます。 【対策】 「ネットワークに接続できない」を参照してください。
受信、通信に失敗しました。 回線を確認してください。	【原因】 ネットワークにつながっていない場合などが考えられます。 【対策】 「ネットワークに接続できない」を参照してください。
送信、通信に失敗しました。 回線を確認してください。	【原因】 ネットワークにつながっていない、サーバーがダウンしている場合などが考えられます。

エラーメッセージ	原因／対策
送信中、通信に失敗しました（***）。 回線を確認してください。	【対策】 まず、「ネットワークに接続できない」を参照してください。 『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照して、全ての項目が正しく設定されているか確認してください。 サーバーがダウンしているかどうかの確認は、ご契約のインターネット接続業者にお問い合わせください。 それでも解決しない場合は、ご購入先に、点検と修理をご相談ください。
受信（送信）中、接続を拒否されました（10061）。 アカウント、およびサーバーの設定を確認してください。	【原因】 サーバーの設定を間違えている等が考えられます。 【対策】 『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照して、全ての項目が正しく設定されているか確認してください。
受信（送信）サーバーに接続できませんでした（10065）。 回線とサーバーの設定を確認してください。	【原因】 ネットワークにつながっていない、サーバーの設定を間違えている等が考えられます。 【対策】 まず、「ネットワークに接続できない」を参照してください。 『伝の心メール・インターネット設定説明書』の「メールアカウント設定」を参照して、全ての項目が正しく設定されているか確認してください。
受信（送信）サーバーに接続できないか、接続したサーバーが受信（送信）サーバーではありませんでした（11004）。 回線とサーバーの設定を確認してください。	【原因】 POPサーバーからのエラー応答です。 【対策】 『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照して、メールアカウント、パスワードを正しく設定しているか確認してください。 それでも解決しない場合は、ご購入先に、点検と修理をご相談ください。
送信中、サーバーからエラー応答が返ってきました。 ***	*** は、エラー メッセージです。 【原因】 SMTP サーバーからのエラー応答です。 【対策】 『伝の心メール・インターネット設定説明書』を参照して、メールアカウント、パスワードを正しく設定しているか確認してください。 それでも解決しない場合は、ご購入先に、点検と修理をご相談ください。

エラーメッセージ	原因／対策
ダイヤルアップに失敗しました。 モデムの接続、“接続設定”の設定、またはウィンドウズの“ダイヤルアップ”を確認してください。	【原因】 電話回線が接続されていない、モデムが接続されていない、“接続設定”で有効な接続を選択していない、などが考えられます。 【対策】 「ネットワークに接続できない」を参照してください。

- エラーになって入る未送信メールが原因かもしれません
 ⇒送信できなかったメール(エラーメール)が送信を止めて入る可能性もあります。「未送信」フォルダを一度空にして、再度送信メールを作成してみてください。
 送信箱のメールの削除方法は『伝の心メール・インターネット設定説明書』の「送信箱の整理」を参照ください。

メールの移動・削除・閲覧ができない

- 移動や削除ができない場合は、メールの一時ファイル(キャッシュファイル)が壊れているかもしれません。
 ⇒メールの一時ファイル(キャッシュファイル)を再作成すると解決する場合があります。
 再作成の方法は、『伝の心メール・インターネット設定説明書』の「メールの一時ファイルの再作成」を参照してください。



注意

メールの一時ファイル(キャッシュファイル)を再作成する場合、メールが全て「未読」または「既読」となってしまいます。
 ※「未読」にするか「既読」にするかは選択可能です。

- 移動はできるが閲覧できない場合は、メールのファイルが破損している可能性があります。
 ⇒受信メールなら、送信元に再送してもらってください。
 ⇒送信メールなら、メールを再作成してみてください。

ネットワークに接続できない

- ネットワークケーブルが外れていませんか？
 ⇒ケーブルを確認し、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。
- ケーブルが断線していませんか？
 ⇒ケーブルを交換し、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。
- ネットワークの設定を間違えていませんか？
 ⇒ご使用のネットワーク環境(モデム・ルーター・ハブ等)を確認の上、正しいネットワークの設定にして、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。
 各ネットワーク機器の設定につきましては、ご購入先までお問い合わせください。

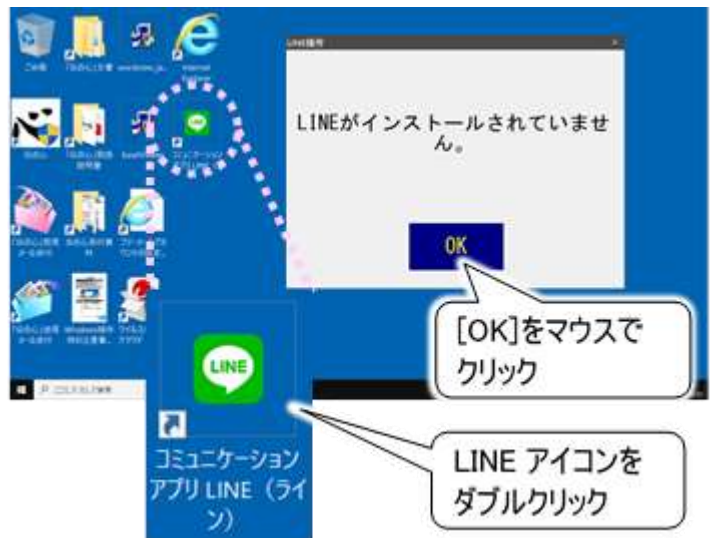
LINE が起動しない

●LINE は正しくインストールされていますか？

⇒右記メッセージが表示されて起動しない場合は、LINE が正しくインストールされていません。

⇒デスクトップに「コミュニケーションアプリ LINE (ライン)」アイコンがあるので、そこからダウンロードしてインストール可能です。

ダウンロード、インストールの方法は、デスクトップの「伝の心添付資料」フォルダの「LINE について」をご参照ください。



●ネットワークに接続できないことが原因かもしれません。

⇒「ネットワークに接続できない」を参照してください。

●LINE 起動中にアップデートが発生し LINE の再起動が必要な場合。

(右記のようなメッセージ画面が表示されます。)

⇒メッセージ画面はスイッチで直接操作できませんが、スイッチ入力のカーソルは起動中画面の「戻る」ボタンにありますので、スイッチ入力をして Windows 操作メニューに戻ることができます。

※メインメニューの[LINE]から起動した場合は、メインメニューに戻った後、[Windows 操作]を選択してください。

Windows 操作メニューに戻ったら、[基本マウス]を選択します。

確認 ボタンを[左クリック]して LINE の再起動を行ってください。

メッセージ画面と[基本マウス]の操作についての詳細は、113 ページの「メッセージ画面が操作できない」を参照ください。



音声がない／音量が大きい、または小さい

- 音量ボリュームが小さく、または大きくなっていませんか？

⇒ 音量ボリュームのあるシステム装置をご使用の場合は、音量ボリュームを調整してください。

- Windows の音量が、小さく、または大きくなっていませんか？

⇒ タスクトレイの音量をマウスでダブルクリックして、音量画面を表示させてください。

スライダーを右に移動させると、音量が大きくなります。

逆に、スライダーを左に移動させると、音量が小さくなります。

⇒ キーボードからも音量の調整ができます。詳細は、ご使用のシステム装置の取扱説明書をご覧ください。



- Windows の音量が、消音設定になっていませんか？

⇒ タスクトレイの音量をマウスでダブルクリックして、音量画面を表示させてください。

ミュートボタンをマウスでクリックすることによって、消音設定が可能です。

⇒ キーボードからも消音の調整ができます。詳細は、ご使用のシステム装置の取扱説明書をご覧ください。



印刷ができない

- プリンタケーブルが外れていませんか？

⇒ ケーブルを確認し、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。

- 電源コードが外れていませんか？

⇒ 電源コードを確認し、必要ならば「伝の心」の電源を切って、もう一度電源を入れて下さい。

- プリンターの電源は入っていますか

⇒ プリンター電源を確認してください。

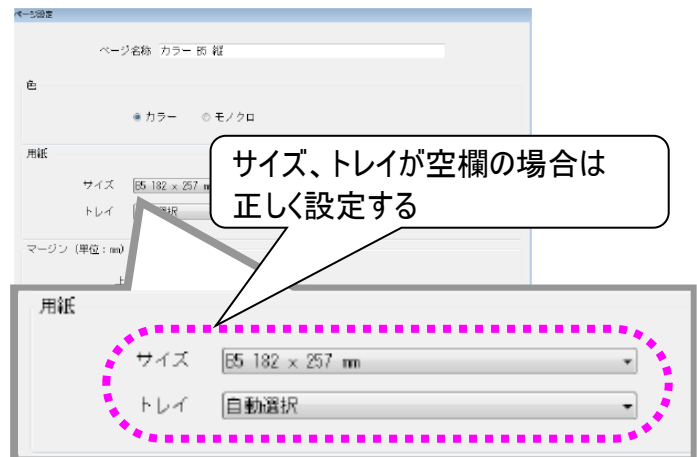
- 「伝の心」で選択されているプリンターと、接続しているプリンターは一致していますか？

⇒ 『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「印刷の設定」を参照して、プリンターを確認してください。

- プリンターの「印刷ページ設定」は正しく設定されていますか？

⇒ 「伝の心」出荷時に付属しているプリンター以外のプリンターをご使用になる場合は、「印刷ページ設定」が必要です。

⇒『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「印刷の設定」を参照して、「印刷ページ設定」を確認してください。



●プリンターに異常が発生していませんか？

⇒テストページの印刷を行うと、エラーが発生している場合はプリンター情報画面が表示され、エラーの詳細が表示されます。ご使用のプリンターの取扱説明書を参照して、対処してください。

テストページの印刷手順は下記の通りです。

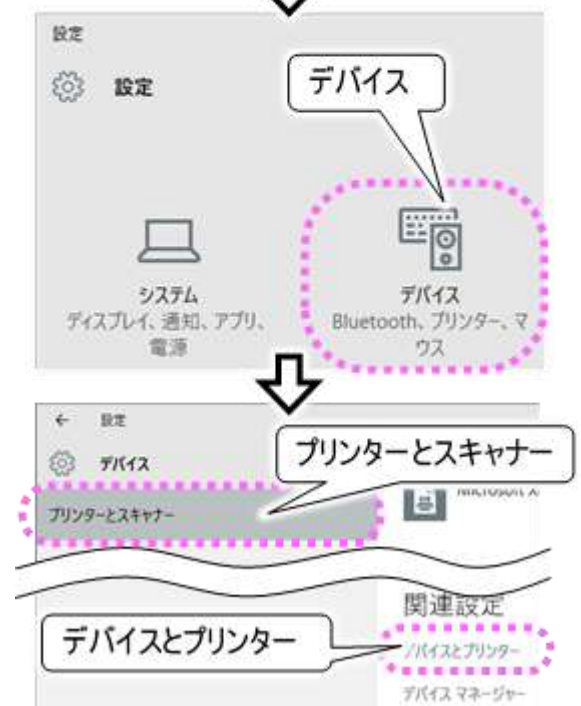
- ① [スタート]→[設定]を選択して設定画面を開きます。



- ② 設定画面で[デバイス] を選択して、デバイス画面を開きます。



- ③ デバイス画面の左メニューから[プリンターとスキャナー]を選択し、右側の設定画面の[デバイスとプリンター]をクリックしてデバイスとプリンター画面を開きます



故障かなと思ったときには

④ 使用しているプリンターを右クリックします。

⑤ メニューリストが表示されるので、[プロパティ]を選択すると、プリンターのプロパティ画面が表示されます。

⑥ [全般]タブをクリックして、テストページの印刷ボタンをマウスでクリックすると、テストページが印刷されます。



※プリンターのプロパティ画面は、「伝の心」のプリンタ設定画面の「プロパティ」ボタンをマウスでクリックすることによっても、表示されます。

印刷がかすれる／違う色になる／インクが出ない

●プリンタヘッドが目詰まりしていませんか？

⇒ご使用のプリンターの取扱説明書を参照して、プリンタヘッドのクリーニングを行ってください。

●プリンターのインクが少なくなっている又はなくなっていないですか？

⇒ご使用のプリンターの取扱説明書を参照して、インク残量を確認してください。必要ならばインクカートリッジの交換を行ってください。

文字盤で選択した文字が編集域に入力されない

●文字盤の操作をマウス操作で行っていませんか？

⇒[戻]をマウス操作で選択して、文字盤を一度終了させます。その後、スイッチ操作で再度文字盤を表示させてください。

●日本語入力システムの入力モードが「ローマ字」になっていませんか？

⇒日本語入力システムの入力モードを確認してください。

①[スタート]→[設定]を選択して、設定画面を開きます。

②設定画面の[時刻と言語]をクリックして時刻と言語画面を開きます。

③時刻と言語画面の左メニューから[言語]を選択し、右の設定画面の「日本語」をクリックすると、「日本語」の下にオプションボタンが表示されます。

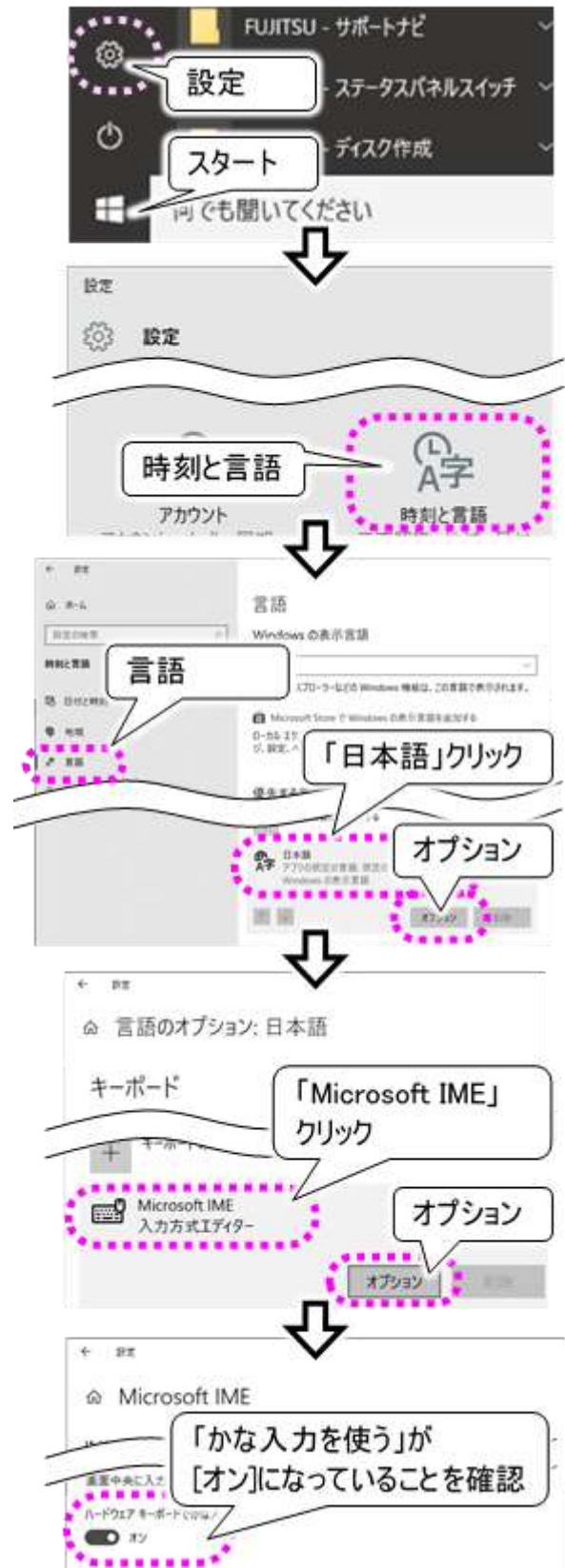
④オプションボタンをクリックして、日本語画面を表示します。

⑤日本語画面の「Microsoft IME」をクリックすると、「Microsoft IME」の下にオプションボタンが表示されるので、オプションボタンをクリックして、Microsoft IME 画面を表示します。

⑥Microsoft IME 画面の「ハードウェアキーボードでかな入力を使う」を確認してください。

⑦[オン]になっていない場合は、マウスでクリックして[オン]にしてください。

⑧設定画面は右上の[×]のマウスクリックで閉じてください。



予測入力ができない／予測候補が表示されない

●文字盤に[予]の表示はありますか？

⇒予測入力を使用する設定を行わないと、文字盤に[予]の表示がされません。

80 ページの「文書入力の設定」にて設定を行ってください。

⇒ブラウザ操作では使用できませんので、文字盤の[予]が非表示となります。

●日本語入力システムの設定を変更していませんか？

⇒日本語入力システムの予測入力を確認してください。

① 103 ページの「文字盤で選択した文字が編集域に入力されない」の①～⑤項を参照して、Microsoft IME 画面を表示します。

② Microsoft IME 画面の一番下「詳細設定を開く」をクリックします。

③ Microsoft IME の詳細設定画面が表示されるので、「予測入力」タブを選択します。

④ 予測入力の設定を確認します。

⑤ 「予測候補を表示するまでの文字数」を確認します。

この文字数分未確定文字を入力しないと、予測候補リストは自動で表示されません。



システム装置の電源が入らない

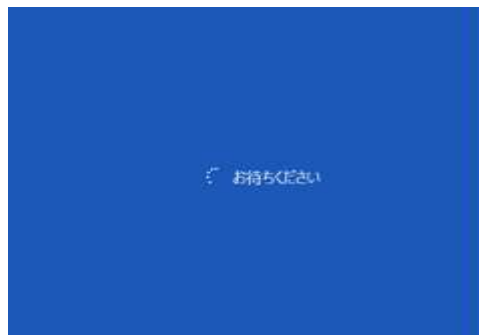
- システム装置の電源コードが外れていませんか？
⇒電源コード、電源を確認してください。
- システム装置のランプは点灯していますか？
⇒システム装置の取扱説明書を参照して、電源ボタン、電源ランプを確認してください。
- 内部電源のリセットが必要な場合があります。
⇒システム装置の取扱説明書を参照して、電源コード、AC アダプター、バッテリーを外し、1 分程度放置してください。再度電源を入れて、問題が解決しているかどうか確認してください。
- バッテリーが劣化しているかもしれません。
⇒システム装置の取扱説明書を参照して、バッテリーだけを取り外して、もう一度電源を入れて下さい。電源が入る場合は、バッテリーの交換が必要です。ご購入先に、ご相談ください。

「伝の心」が起動しない

- システム装置の電源は入っていますか？
⇒システム装置の取扱説明書を参照して、電源ボタン、電源ランプを確認してください。
- システム装置の電源投入後、メッセージが表示されてそれから先に進まない
⇒システム装置の故障が考えられます。ご購入先に、点検と修理をご相談ください。

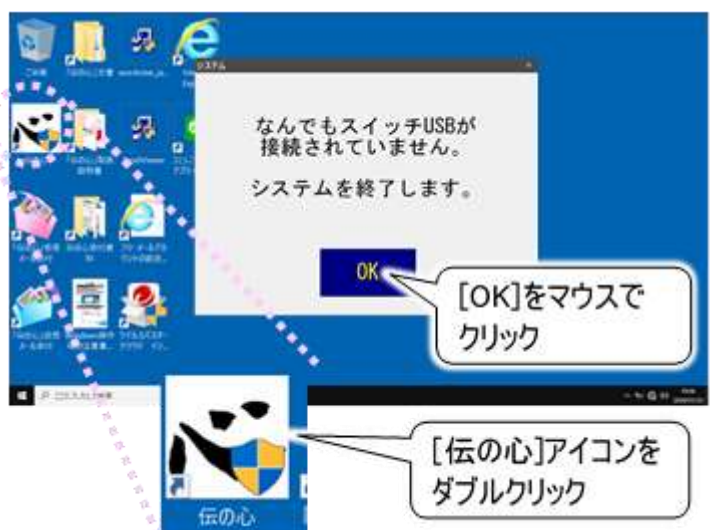
- Windows 起動画面で停止して、それから先に進まない。

⇒システム装置の故障が考えられます。
ご購入先に、点検と修理をご相談ください。



- デスクトップ画面は表示するが、右記メッセージが表示されて「伝の心」は起動しない。

⇒スイッチの接続がされていない状態で、システム装置を起動すると、「伝の心」は起動しません。
「スイッチで操作ができない」の項を参照して、スイッチの接続を確認してください。
デスクトップ画面の[伝の心]アイコンをダブルクリックして、「伝の心」を起動してください。



故障かなと思ったときには

- デスクトップ画面の[伝の心]アイコンをダブルクリックしても、「伝の心」は起動しない。(無反応)
⇒ 保守ツールを使用して、「伝の心」ソフトを再インストールしてください。

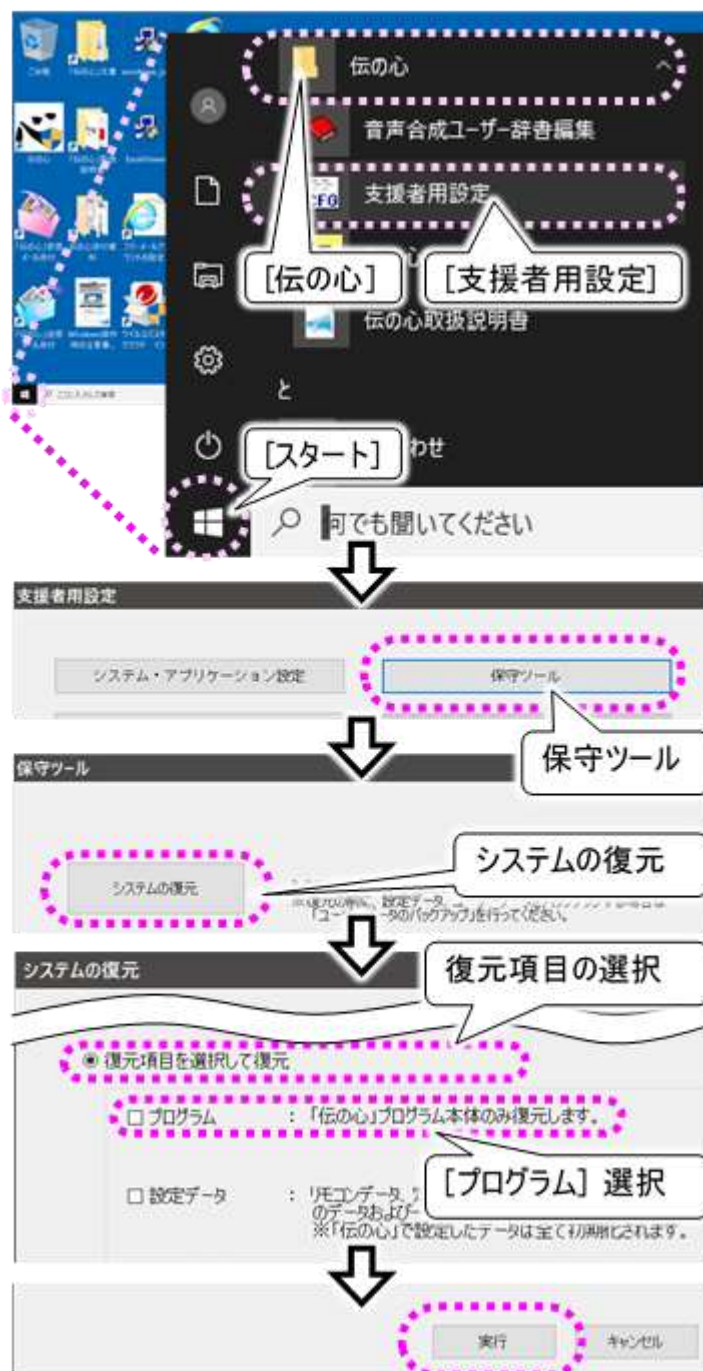
① デスクトップ画面左下のアイコン[スタート]→[伝の心]→[支援者用設定]を順にクリックして、支援者用設定画面を表示します。

② 支援者用設定画面の[保守ツール]ボタンをマウスでクリックすると、保守ツール画面が表示されます。

③ [システムの復元]ボタンをマウスでクリックすると、システムの復元画面が表示されます。

④ [復元項目を選択して復元]を選択し、[プログラム]にチェック☑を入れます。

⑤ [実行]ボタンをマウスでクリックします。



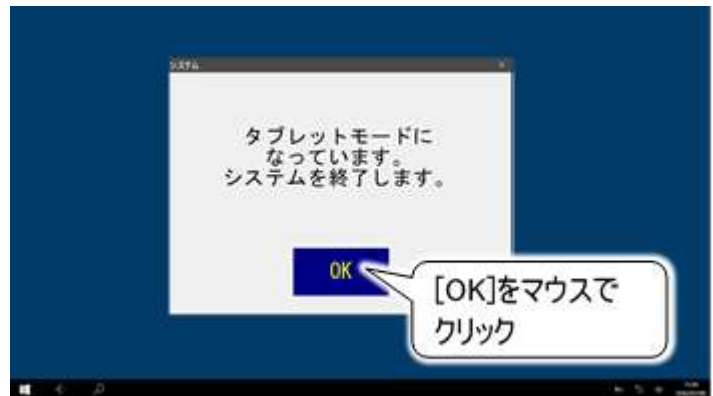
- 保守ツールを使用して、「伝の心」ソフトを再インストールしても、「伝の心」は起動しない。
⇒ 保守ツールを使用して、「伝の心」設定データを出荷時の状態に戻してみてください。
前述のシステムの復元画面で、[設定データ]にチェック☑を入れて[実行]ボタンをマウスでクリックします。



注意

「伝の心」設定データを出荷時の状態に戻す場合、作成したデータは削除されます。(元に戻すことはできません。)本機能をご使用になる前に、バックアップを取ることをお勧めします。バックアップについては、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「ユーザーデータのバックアップ」を参照ください。

- 右記メッセージが表示されて「伝の心」は起動しない。
⇒「伝の心」はタブレットモードでは起動できません。下記手順でタブレットモードをOFFにしてご使用ください。



- ① 左下のアイコン[スタート]→[設定]を順にクリックして設定画面を表示します。

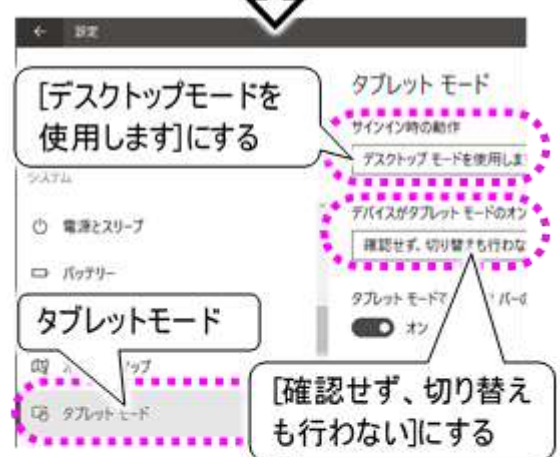


- ② 設定画面から、[システム]→[タブレットモード]の順にクリックして、右側の設定で「サインイン時の動作」の項目を[デスクトップモードを使用します]に変更します。



- ③ 同様に「デバイスがタブレットモードのオンとオフを自動的に切り替えるとき」の項目を[確認せず、切り替えも行わない]に変更します

- ④ 設定画面は右上の[×]のマウスクリックで閉じてください。



- ⑤ [スタート]→[電源]→[再起動]を順にクリックして、「伝の心」を起動しなおします。



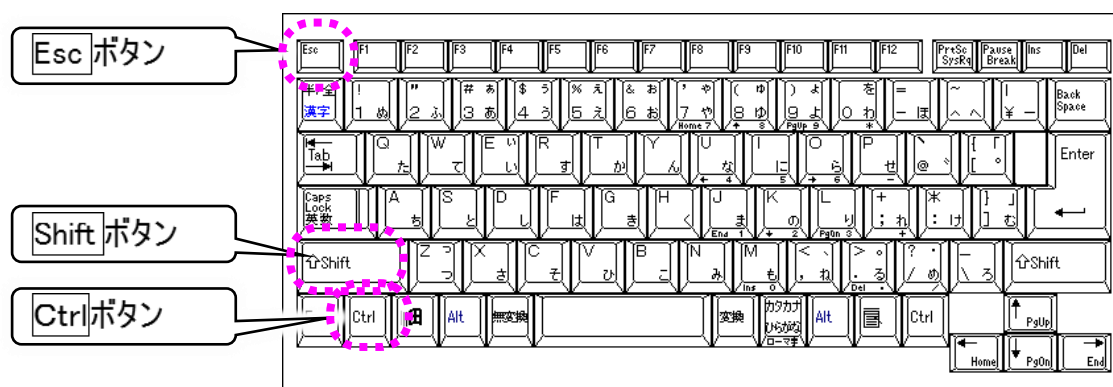
「伝の心」の操作ができなくなった

●スイッチでの入力はできていますか？

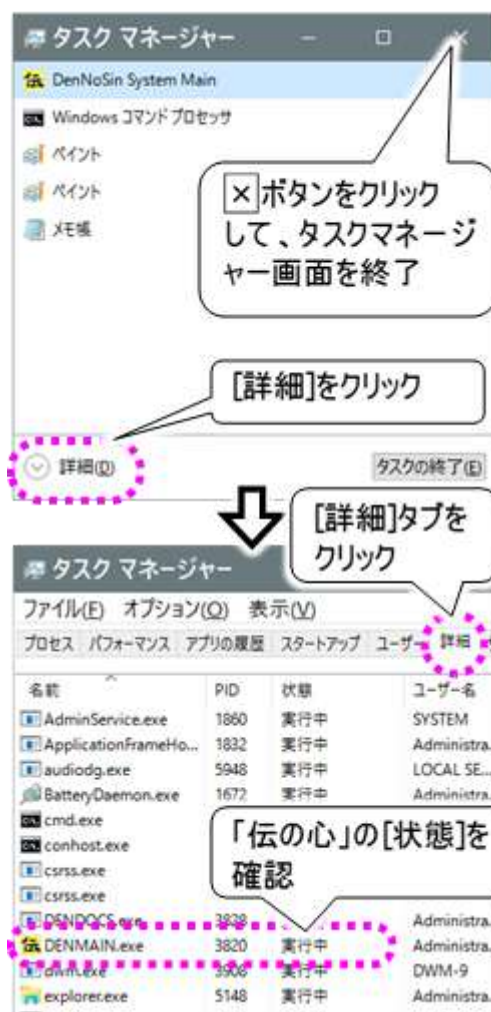
⇒94 ページの「スイッチで操作ができない」を参照して、スイッチ入力を確認してください。

●「伝の心」が正常に動作しているか確認してみましょう。

⇒キーボードの`Ctrl`と`Shift`キーを押しながら`Esc`キーを押して、タスクマネージャ画面を表示します。



[詳細]をクリックして、「伝の心」の[状態]を確認しましょう。



「伝の心」が正常に動作している場合、「伝の心」の[状態]は「実行中」と表示されます。

この状態で「伝の心」から操作（スイッチ入力不可）ができなくなった場合は、ご使用のスイッチ、ケーブルの接続不良、なんでもスイッチ USB が認識されていないなどの原因が考えられます。

タスクマネージャ画面の左上 `x` ボタンをマウスでクリックして、タスクマネージャ画面を終了させます。

●タスクマネージャ画面の「伝の心」の[状態]が「応答なし」になっていませんか？

⇒「伝の心」またはWindowsの再起動を行なう場合には、タスクマネージャ画面の「タスクの終了」ボタンをマウスでクリックすると「伝の心」が終了し、デスクトップ画面に戻ります。
（“このプログラムは応答しません。…”画面が表示された場合は「すぐに終了」ボタンをマウスでクリックすると、「伝の心」が終了します）



[スタート]→[電源]→[再起動]を選択して、「伝の心」を起動しなおします。



●タスクマネージャ画面も表示できないし、マウス操作もできない。

⇒システム装置のオペレーティングシステムに、何らかの問題が発生したと考えられます。

ハードディスクのアクセスランプが点灯していないのを確認し、電源を強制的に切断（電源ボタンを3秒以上長押し）してください。

その後、1 分程度待って、再度電源を入れてください。



注意

ハードディスクのアクセス中（アクセスランプが点灯）に電源を切断すると、ハードディスクに保存してあるデータの破損およびハードディスクが故障する場合があります。ハードディスクアクセス中は、処理が停止するまで待ってください。

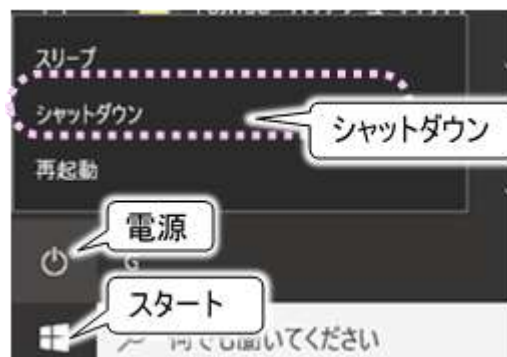
「伝の心」を終了できない

- スイッチでの入力はできていますか？

⇒94 ページの「スイッチで操作ができない」を参照して、スイッチ入力を確認してください。

- タスクマネージャ画面は表示できますか？

⇒108 ページの「「伝の心」の操作ができなくなった」を参照して、タスクマネージャ画面を表示させ、「伝の心」を終了させます。



[スタート]→[電源]→[シャットダウン]を選択して、システム装置の電源を切ります。

- タスクマネージャ画面も表示できないし、マウス操作もできない。

⇒システム装置のオペレーティングシステムに何らかの問題が考えられます。

ハードディスクのアクセスランプが点灯していないのを確認し、電源を強制的に切断（電源ボタンを3秒以上長押し）してください。

再度電源を入れる場合、1 分程度待ってから行ってください。



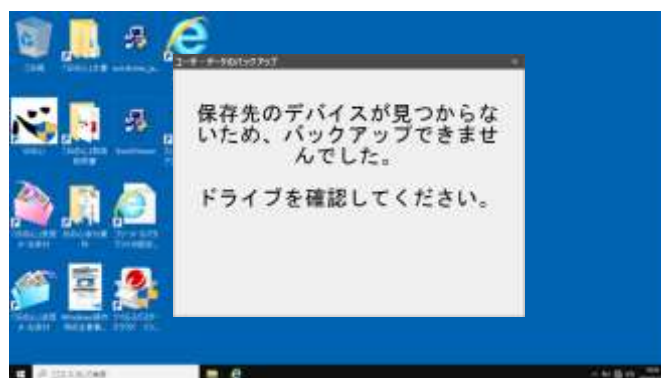
注意

ハードディスクのアクセス中（アクセスランプが点灯）に電源を切断すると、ハードディスクに保存してあるデータの破損およびハードディスクが故障する場合があります。ハードディスクアクセス中は、処理が停止するまで待ってください。

「伝の心」の終了時にメッセージがでる

- 伝の心終了時に、下記メッセージが表示されて「伝の心」が終了する。

⇒伝の心データのバックアップ用メディアが無いまたは正しく挿入されていないことを示しています。バックアップに関しては『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「バックアップの設定を行う」に記載されていますので、ご参照後バックアップ用メディアをご確認ください。



操作をまちがえてしまった時には

パネル／メニューの選択操作で、選択をまちがえてしまった

- まちがえたアイコンを選択してしまった場合は
⇒[戻る]または[終了]を選択して、前の画面に戻ります。
- まちがえた列を選択してしまった場合は
⇒しばらく待ちましょう。再度、列スキャンが始まります。

パネル／メニューの選択操作（スイッチ入力）で、マウス操作してしまった

- スキャンカーソルが消えてしまった場合は
⇒[戻る]または[終了]をマウス操作で選択して、前の画面に一度戻ります。その後、スイッチ操作で再度画面を表示させてください。
- 文字盤のマウス操作で、編集域に文字が入力されない場合は
⇒[戻]をマウス操作で選択して、文字盤を一度終了させます。その後、スイッチ操作で再度文字盤を表示させてください。
- 特に問題がなさそうな場合は
⇒速やかに、スイッチ操作に戻してください。

文書作成（編集パネル）で、間違えて文字列を切り取ってしまった

- [切取り]を選択した直後の場合は
⇒同じ列の[元に戻]を選択すると、文字列を切り取る前の状態に戻ります。
- [切取り]を選択した後、文字入力や漢字変換など文書編集をしてしまった場合は
⇒[切取り]の後行った文書編集に[コピー]や[切取り]が無かった場合は、元に戻せる場合があります。文字列を戻したい位置にカーソルを移動させ、[貼付け]を選択すると、切り取った文字列がカーソルの位置に挿入されます。

定型句／漢字入力等の候補選択でまちがえた候補を選択してしまった

- 定型句リストの選択ミス
⇒『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「定型句入力を間違えた時」または「定型句入力を中止したい時」を参照してください。再選択または選択の中止ができます。
- 漢字変換候補リストの選択ミス
⇒『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「漢字入力の基本操作」を参照してください。再選択または選択の中止ができます。

間違えて文書／メールを削除してしまった

- 文書を削除してしまった場合は
⇒デスクトップのゴミ箱にあります。『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「誤って文書を削除してしまった場合」を参照して元に戻すことができます。

操作をまちがえてしまった時には

- メールを削除してしまった場合は
⇒「メールボックス」の「ごみ箱」に格納されています。
ただし、「ごみ箱」に格納されているメールを削除してしまった場合は、元に戻せません。

間違えてフォルダを開けてしまった

- 文書画面やメール画面で選択したフォルダから移動したい
⇒リストには[上位フォルダへ]という項目があります。これをメニューの[↑][↓]等で選択して、[選択]を選択すると、一つ上のフォルダに戻ることができます。

「支援者用設定」で間違えて「伝の心を非表示にする」設定をしてしまった

- Windows 操作の「ソフト」に登録したアプリを起動したら、Windows 操作のメニューが消えて、スイッチ操作ができなくなった場合は
⇒スイッチの長押しでメニューが表示されます。長押し時間は、押し続け監視時間と同様です。また押し続け監視をしない設定になっている場合は、長押し時間は 10 秒になります。
ただし、スイッチによっては長押しができないものもありますのでご注意ください。
押し続け監視時間の設定は『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「スイッチ押し続け監視の設定」を参照ください。
⇒『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「ウィンドウズ操作の設定(ソフト項目の登録)」を参照して「伝の心を非表示にする」のチェックボックスのチェックを外してください。

保守ツールで間違えて伝の心を出荷時の状態に戻してしまった

- プログラムを出荷時の状態に戻してしまった場合は
⇒設定やユーザーデータの削除は行いませんので、特に問題ありません。
- 設定データやユーザーデータを出荷時の状態に戻してしまった場合は
⇒設定やユーザーデータは元に戻せません。
ただし、ユーザーデータのバックアップを行っていた場合は、そのバックアップデータに戻すことが可能です。詳細は『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「バックアップしたユーザーデータに戻す」を参照してください。

メッセージ画面が操作できない

「伝の心」をご使用中に、他のソフトからメッセージ画面が表示されることがあります。プリンターのエラーメッセージもそのひとつです。これらのメッセージ画面を閉じる場合は、「伝の心」の Windows 操作機能をご使用ください。

下記は、プリンターのエラーメッセージ画面を閉じる方法です。

- ①「伝の心」のメインメニューから、[応用操作]を選択するとサブメニューが表示されるので、そこから[Windows 操作]を選択します。



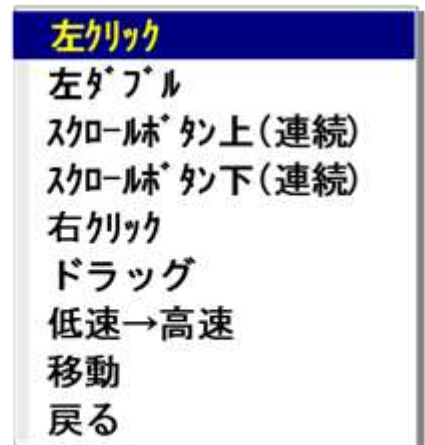
- ②Windows 操作画面がデスクトップ画面の左側に表示されるので、メニューより[基本マウス]を選択すると、マウスカーソルの位置にマウス操作盤が表示されます。



- ③『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「マウスを操作する」を参照してマウスカーソルを画面右上の×ボタンに移動させて、マウスの[左クリック]を選択すると、メッセージ画面は閉じます。



- ④印刷を中止したい場合は、[印刷中止]ボタンに移動させて、マウスの[左クリック]を選択してください。
印刷が中止されて、メッセージ画面は閉じます。



「伝の心」を再起動するには

「伝の心」で使用している OS では、稀に一時的な誤動作が発生することがあります。その場合、システム装置の再起動で問題が解決することがあります。

「伝の心」のメインメニューから、[終了]を選択するとサブメニューが表示されるので、そこから[再起動]を選択します。

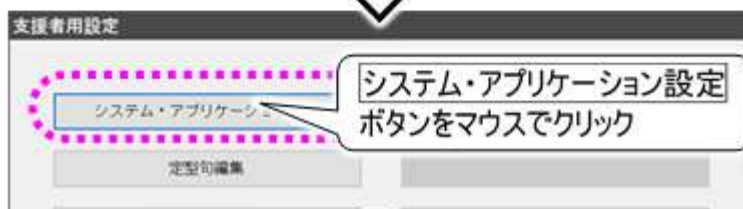
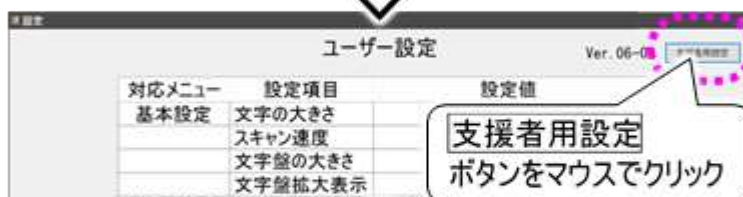


サブメニューに「再起動」がない場合は、支援者用設定より下記の手順で表示できるようにします。

① 支援者用設定は、「伝の心」のメインメニューから、[設定]を選択して表示される設定画面の右上 **支援者用設定** ボタンをマウスクリックすると、表示できます。



② 支援者用設定画面から、**システム・アプリケーション設定** ボタンをマウスでクリックすると、システム・アプリケーション設定画面が表示されるので、[再起動]にチェックを入れて**決定** ボタンをマウスでクリックしてください。



その他

日常のお手入れや補足事項について説明します。

日常のお手入れ

- 「伝の心」は汚れたら清掃を行ってください。やわらかい布で乾拭きします。乾拭きで汚れが取れないときは、中性洗剤または、水で濡らし固く絞った布で拭きます。水拭き後、乾拭きをして水気を十分に取ってください。
- 研磨剤の入った洗剤は使わないでください。装置に傷がつきます。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。すきまからしみこんで内部装置の故障の原因になります。
- 「伝の心」の設置場所、又はその周辺は定期的に清掃して下さい。
- 機械内部などは、本書で説明している部分以外の清掃は保守メンテナンス員にご相談ください。

リモコンについて

- リモコンユニット(なんでも IR2)の赤外線は先端から30° 程度の範囲に懐中電灯の明かりのように照射します。操作する機器の受光部がこの範囲に収まるように設置してください。
- 機器によって受光感度が異なります。仕様上は7mまで届くようになっておりますが、反応しない場合は距離等を調節してみてください。
- 充電ユニット交換をあらわす症状が出ていなくても、充電機能が劣化してくると赤外線の到達距離が短くなります。ご自身の判断にて交換依頼をお願い致します。(※充電ユニットの交換はお客様自身で交換できない仕様になっており、別途有償となっております。)
- 赤外線リモコンは、屋外光や光度の高い照明器具などにより誤動作や操作不能の原因になる場合がありますので、リモコン操作・学習をする際は室内の環境にご注意ください。

※ 充電ユニットの交換によって、テレビ・ビデオなどの登録データ、パネルの設定等が消えることはありません。

読み上げについて

- 「伝の心」の読み上げ機能は、音声合成技術を使用しています。
- 対象の文章や単語によっては読み上げが正しくできない場合があります。
- 人名、地名、固有名詞、英文字などで正しく読み上げができない場合があります。
- 単語の「読み」と「アクセント位置」を修正することはできますが、音質の変更や韻律調整はできません。単語の「読み」と「アクセント位置」の修正は、『伝の心取扱説明書(電子マニュアル)』の「音声合成ユーザー辞書について」をご参照ください。
- 音声合成は肉声と同等ではありません。
- 対象の文章や単語によっては、読み上げ速度の変更や声の高さの変更を行っても調整されない、または音質が悪くなる場合があります。

USBメモリについて

- 「伝の心」のユーザーデータをバックアップする用途に用いるために、お客様が用意した USB メモリを使用することができます。(支援者用設定にて変更可能です)ご購入時の状態では、一週間毎に「伝の心」のユーザーデータをシステム装置のバックアップフォルダにコピーする仕様になっております。
- 「伝の心」のユーザーデータをバックアップするタイミングは「伝の心」終了時です。USB メモリにバックアップする設定に変更した場合、「伝の心」終了時には、USB メモリの抜き差しを行わないでください。データが破損する恐れがあります。
- SD カード等をシステム装置に接続されたり、システム装置に接続した USB メモリのドライブレターを変更したりすると、USB メモリにバックアップできなくなる事がありますのでご注意ください。
- USB メモリの寿命は、ご使用の USB メモリによって異なります。また使用環境によってはその寿命は短くなる事もあります。記録されたデータの破壊、消失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 免責事項

- USB メモリに記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がご購入された USB メモリに関する保証は、いかなる場合も弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 記憶されたデータについて

- USB メモリのデータのバックアップを必ず他のメディア(フロッピーディスクや MO ディスクなど)に作成してください。記録されたデータの破壊、消失については、故障や損害の内容、原因に関わらず弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ ご使用上の注意事項

- ご使用になられる USB メモリの注意事項、使用方法、また本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、安全上の注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- OS が表示するメモリ容量は、実際のメモリ容量と異なる場合があります。
- USB メモリを廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

その他

「伝の心」をご購入時の状態に戻す

「伝の心」は、システム装置、意思伝達ソフトウェア、周辺機器で構成されております。

意思伝達ソフトウェアの復元により、「伝の心」のソフトウェアをご購入時の状態に戻すことはできますが、システム装置や周辺機器の設定はご購入時の状態に戻すことはできません。

「伝の心」では、「伝の心」システム全てをご購入時の状態に戻すための、システムリカバリーディスクは同梱致しておりません。システムリカバリーの場合、お客様の大切な設定情報、保存ファイル(文章)やメール情報などが全て削除されてしまうからです。

「伝の心」システム全てをご購入時の状態に戻す場合は、ご購入先にお問い合わせください。

専門員(販売会社)がご訪問するか、または、工場に引き取りをさせていただき、作業を行わせて頂きます。

保守について

「伝の心」の保守については、ご購入先にお問い合わせください。

●対象商品:「伝の心」および、その付属品一式

有償部品について

消耗品以外に、破損、寿命等により部品交換する場合は、下記の部品を有償にて提供致します。

自分で部品交換、修理はしないでください。故障の際は、必ずご購入先にご連絡下さい。

システム装置の内部部品の交換の目安は、1日8時間、1ヵ月25日使用時、約5年です。使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

また、液晶ディスプレイは、明るさが工場出荷時の約1/2に低下したときを寿命としています。長時間連続で使用すると、寿命が早くなりますのでご注意ください。

詳細は、各装置の取扱説明書に記載されていますので、併せてご確認ください。

●システム装置: バッテリー

ハードディスク

DVDドライブ/FDD(「伝の心」の型式によっては無い機種もあります。)

キーボード・マウス

ファン

ACアダプター

メインボード

液晶ディスプレイ

●なんでも IR2: 充電ユニット

意思伝達装置 伝の心
取扱説明書-簡易版-

第11版 2020年 1月

株式会社 日立ケーイーシステムズ

PC-DEN2AS-11

無断転載を禁止します
落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。